

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

図 面 リ ス ト							
意 匠 図		構 造 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト	S-01	構造特記仕様書1	E-01	電気設備工事特記仕様書1	M-01	機械設備工事特記仕様書1
A-01	特記仕様書1	S-02	構造特記仕様書2	E-02	電気設備工事特記仕様書2	M-02	機械設備工事特記仕様書2
A-02	特記仕様書2	S-03	構造特記仕様書3	E-03	電気設備工事特記仕様書3	M-03	空調換気設備 凡例・機器仕様
A-03	特記仕様書3	S-04	構造特記仕様書4	E-04	電気設備配置図	M-04	空調設備平面図
A-04	特記仕様書4	S-05	構造特記仕様書5	E-05	分電盤結線図・照明器具姿図	M-05	換気設備平面図
A-05	特記仕様書5	S-06	構造特記仕様書6	E-06	幹線・弱電設備図	M-06	給排水衛生設備 凡例・機器仕様
A-06	特記仕様書6	S-07	基礎伏図・基礎リスト・地中梁リスト	E-07	電灯設備図	M-07	給排水衛生設備平面図
A-07	特記仕様書7	S-08	梁 伏 図	E-08	コンセント設備図	M-08	給排水衛生設備1階平面詳細図
A-08	特記仕様書8	S-09	部 材 リ ス ト			M-09	給排水衛生設備2階平面詳細図
A-09	敷 地 求 積 図	S-10	鉄 骨 詳 細 図 1				
A-10	附 近 見 取 図 ・ 配 置 図	S-11	鉄 骨 詳 細 図 2				
A-11	法 規 チ ェ ッ ク 図	S-12	軸 組 図 1				
A-12	仕 上 表	S-13	軸 組 図 2				
A-13	平 面 図	S-14	柱 状 図				
A-14	立 面 図 ・ 断 面 図						
A-15	1 階 平 面 詳 細 図						
A-16	2 階 平 面 詳 細 図						
A-17	矩 計 詳 細 図						
A-18	階 段 断 面 詳 細 図						
A-19	1 階 展 開 図 1						
A-20	1 階 展 開 図 2						
A-21	2 階 展 開 図 1						
A-22	2 階 展 開 図 2						
A-23	天 井 伏 図						
A-24	建 具 案 内 図						
A-25	建 具 表						
A-26	部 分 詳 細 図 1						
A-27	部 分 詳 細 図 2						
A-28	部 分 詳 細 図 3						
A-29	部 分 詳 細 図 4						
A-30	部 分 詳 細 図 5						
A-31	部 分 詳 細 図 6						
A-32	外 構 図						
A-33	防 球 ネット詳細図						
A-34	仮 設 計 画 図						

工事特記仕様書

I. 工事名

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市垂水 地内

2. 敷地面積

29,761.73㎡

3. 工事内容

新築工事

棟名称

南が丘地区放課後児童クラブ

構造

鉄骨造 2階建

建築面積

119.24㎡

延べ面積

238.00㎡

工事項目

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成31年版）(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」平成31年版）による。

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
①一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 <div>1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版）</div> <div>2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成31年版）</div> <div>3) 津市公共建築物等木材利用方針</div>
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 <div>※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。</div> <div>※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。</div> <div>※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。</div> <div>※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。</div> <div>※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。</div> <div>※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。</div> <div>※ 工事車両進入口は中学校の出入口と兼ねているため、常時誘導員を配置し、車両出入りの際には通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。</div> <div>※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</div> <div>※ 現場着手は原則7月21日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。</div> <div>※ 夏休み中等の学校休校日であっても、隣接の放課後児童クラブや部活動等の団体が周囲で活動する場合があるため、安全に十分注意すること。</div> <div>※ 有事の際に緊急車両が工事ヤードを横断して運動場に進入できるよう、通路を確保した仮設計画とすること。</div> <div>※ 8月19日～21日（予定）は運動場で行われる夏祭りがあるため休工とし、夏祭り関係車両が工事ヤード内を通行できるよう配慮すること。</div> <div>※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。</div> <div>※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</div>

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

※ 高等学校の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。

○本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法		
工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (AS舗装・コンクリート)	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの（・無・）
・特別管理産業廃棄物・有（ ） 処理方法（ ）
・石綿含有成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
3.飛散されない様にする。こと。
4.保護具及び作業着を着用すること。
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

○再資源化を図るもの ○コンクリート塊
○アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

④建設副産物情報交換システムの利用

⑤三重県産業廃棄物税

6.電気保安技術者
(1.3.3)

7.技能士
(1.5.2)

⑧建築材料等

⑨化学物質の濃度測定
(1.5.9)

⑩特別な材料の工法

⑪騒音・振動の防止

⑫工事写真
(1.2.4)

⑬完成図等
(1.7.1)
(1.7.2)
(1.7.3)

⑭完成写真

⑮設備工事との取合い

⑯設計GL

⑰養生その他

⑱事故の発生時

・配置する

職種別に可能なものについては積極的に活用すること

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（○図示(図面番号：A-13)）・（ ）
測定方法（○パッシブ法・アクティブ法）
測定時期・（ ）
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

○作成する（○完成図 ○保全に関する資料 ・（ ））
○完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲
○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図
○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

○図示のベンチマーク(B.M) mm
(現状地盤はB.M mm)

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑰消防関係の手続き

⑱労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

⑲不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

1) 消火に係る消防法用設備等設置届出書の作成
○本工事 ○建築工事 ○電気設備工事 ○機械設備工事
・別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2)調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3)是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

訂正

月

日

・

・

・

設計・監理

株式会社 東海建築設計

作成

承認

担当

名称

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

設計No.

原図：A 2
図面No.

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号
一級建築士 第128604号 山岡 寛

製図

縮尺

特記仕様書 1

整理No.

A - O 1

⑥

コンクリート工事

①

コンクリートの使用骨材による種類及び強度
(6.2.1)
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.10.1)
(6.10.2)
(6.11.1)
(6.11.3)
(表6.2.2)
(表6.10.1)

②

コンクリートの種類
(6.2.1)
(表6.2.1)

③

コンクリートの仕上り
(6.2.5)
(表6.2.4)
(表6.2.5)

④

セメント
(6.3.1)
(表6.3.1)

⑤

骨材
(6.3.1)

⑥

コンクリートの材料
(6.3.1)
(6.3.1)
(表6.3.2)

⑦

打継ぎ
(6.6.4)

⑧

養生
(6.7.2)

⑨

型枠
(6.6.4)
(6.8.1)
(6.8.2)
(表6.8.1)
(6.8.4)

10

寒中コンクリート
(6.11.1)

⑪

暑中コンクリート
(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ
①21 (N/mm²)+S	基礎		①18 (cm)
①21 (N/mm²)	土間、立上、増打		①18 (cm)
①18 (N/mm²)+S	デッキスラブ		①18 (cm)
①18 (N/mm²)	捨てコン		①15 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

類別 ① I 類 Ⅱ 類

・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類

・ A種 ① B種 ② C種

仕上りの平たんさ

① a種 ② b種 ③ c種

種類 ① 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種 ② ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・ 適用箇所 図示 (図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分

① AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制)

・ A(安全と認められる骨材を使用)

なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち合いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

・ 特殊な骨材の使用

・ フェロニッケルスラグ細骨材

・ 銅スラグ細骨材

・ 電気炉酸化スラグ骨材

・ 再生骨材 H

混和材料 ① 図示 (図面番号:)

混和剤の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)

・ ()

混和材の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)

・ ()

構造体強度補正值 (S) ① 標準仕様書[表6.3.2] ② ()

位置 ①標準仕様書 [6.6.4] (1) ② 図示 (図面番号:)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿润養生期間 ()

材料 ①複合合板 (厚さ(mm) ②12 ③ ())

打増し厚さ ① 図示(図面番号: C-07)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

・ 図示(図面番号:)

・ 断熱材の兼用

・ MCR工法用シート

スリーブの材種、規格等

・ 標準仕様書[表6.8.1] ① 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()

適用期間 ()

・ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

構造体強度補正值 (S)

① 6 N/mm² ② ()

12. マスコンクリート
(6.13.1)
(6.13.2)
(表6.13.1)

13. 無筋コンクリート
(6.14.1)

14. 流動化コンクリート
(6.15.1)

適用箇所 ① 図示 (図面番号:)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 中庸熱ポルトランドセメント

・ 低熱ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

・ フライアッシュセメントB種

・ シリカセメント

スランブ ① 15cm ② ()

混和剤の種類 ① 標準仕様書[6.13.2] (2) (7) ② ()

混和材の種類 ① 標準仕様書[6.13.2] (2) (4) ② ()

構造体強度補正值 (S) ① 標準仕様書[表16.3.1] ② ()

コンクリートの種類 ① 普通コンクリート ② ()

適用箇所 ① 標準仕様書[6.14.1] ② 上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度 ① 18 (N/mm²) ② () (N/mm²)

スランブ ① 15cm ② 18cm

適用箇所

・ 図示(図面番号:)

① 配置する

(株) 日本鉄骨評価センター又は(株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ J ① R ② M ③ H ④ S

種類、形状及び寸法 ① 図示 (図面番号: C-09)

種類

① トルシア形高力ボルト (S10T)

・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

・ ()

高力ボルトのねじの呼び

① 図示 (図面番号: C-09)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

① 図示 (図面番号: C-09)

すべり試験の試験方法 ① ()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・ 回転量 () °

ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び

① 図示 (図面番号: C-11)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

摩擦面の処理

・ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)

・ りん酸塩処理

すべり試験の試験方法 ① ()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

種類

構造用 ① SNR400B ② (ABR490)

建方用 ① SS400 ② ()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・ A種 ① B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

・ 標準仕様書[表7.2.3]

・ 図示 (図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・ 図示 (図面番号:)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

⑧ 溶接材料
(7.2.5)

⑨ ターンバックル
(7.2.6)

⑩ デッキプレート
(7.2.7)
(7.7.8)

11. スタッド
(7.2.8)

⑪ 柱底均しモルタル
(7.2.9)
(7.10.3)
(表7.10.2)

13. 材料試験等
(7.2.10)

⑭ ねじの孔径
(7.3.8)

⑮ 仮組
(7.3.10)

⑯ 溶接作業における技能資格者
(7.6.3)

⑰ 溶接部の開先
(7.6.4)

⑱ 溶接施工
(7.6.7)

⑲ 溶接部の試験
(7.6.12)

⑳ 錆止め塗装
(7.8.2)
(7.8.4)

材料

① 標準仕様書[7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等

① 図示 (図面番号: C-09)

建築用ターンバックル胴 ① 割枠式 ② ()

建築用ターンバックルボルト ① 羽子板ボルト ② ()

材質、形状及び寸法 ① 図示 (図面番号: C-06)

溶接方法 ① 図示 (図面番号: C-06)

種類等 ① 図示 (図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

① A種 (50)mm ② B種 ()mm

無収縮モルタルの材料及び調査

① 標準仕様書[7.2.9] (2) ② ()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・ JIS G 0901により行う

普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)

・ ねじの呼び径±10mm ① ()

① 行わない ② 行う

仮組を行う範囲 ① 図示 (図面番号:)

溶接作業の技量付加試験

① 行わない ② 行う

開先の形状

・ 図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブの切除

① 適用及び切断範囲 ② 図示 (図面番号:)

切断面の仕上げ

① 標準仕様書[7.6.7 (h) (b)] ② 図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブに代わるその他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。

2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ① 図示 (図面番号:)

スカラップの形状 ① 図示 (図面番号:)

試験の種類

溶接部の外観試験方法 ① () ② ()

溶接区分	AOQL (%)	検査水準	備考
現場溶接			・ 全数試験
工場溶接	① 2.5 ② 4.0	① 6	

耐火被覆材の接着する面への塗装

塗装範囲 ① 図示 (図面番号:)

種別

・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] () 種

・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] () 種

21. 耐火被覆
(7.9.2)
(7.9.3)

② 2. 軽量形鋼
(7.11.2)

8
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1. 補強コンクリートブロック造
(8.2.2)
(8.2.3)
(8.2.5)
(8.2.8)
(表8.2.1)

2. コンクリートブロック塼壁及び塼
(8.3.2)
(8.3.3)
(8.3.4)
(8.3.7)
(表8.3.1)

3. ALCパネル
(8.4.2)
(8.4.3)
(8.4.4)
(表8.4.2)
(8.4.5)
(表8.4.3)

4. 押出成形セメント板
(8.5.2)
(8.5.3)
(8.5.4)
(表8.5.1)
(8.5.5)
(表8.5.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

塗装範囲 ① 図示 (図面番号:)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)

・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] () 種

部位	種類	材料	工法	耐火性能

接合部 (ボルト接合の場合)

① 普通ボルト接合 ② ()

種類

・ 空洞ブロック16

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法

・ 図示 (図面番号:)

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

モルタルの調査

・ 標準仕様書[8.2.3] ① ()

モルタル又はコンクリートの充填範囲 ① 図示 (図面番号:)

ブロックの種類

・ 標準仕様書[表8.3.1]

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

・ 図示 (図面番号:)

モルタルの調査

・ 標準仕様書[8.2.3] ① ()

化粧

・ 有り ① 無し

塼の厚さ H≤2.0m ① 120mm ② ()

H>2.0m ① 150mm ② ()

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

区分	単位 荷重 (N/mm²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・ 外壁 パネル	① ()	① 100 ② ()	① ()	① ()	・ A種 ・ B種	① () 時間 ② 無し
・ 間仕切 壁パネル	① ()	① 100 ② ()	① ()	① ()	・ C種 ・ E種 ・ D種	① () 時間 ② 無し
・ 屋根 パネル	① ()	① 100 ② ()	① ()	① ()	・ F種	① () 時間 ② 無し
・ 床 パネル	① ()	① 100 ② 120 ③ 150	① ()	① ()	・ F種	① () 時間 ② 無し

パネル幅を300mm以下とする部分 ① 適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法 ① 適用あり

パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm) ① ()

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm) ① ()

伸縮目地への耐火目地材の充填 ① 適用する (材料:)

種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・ 外壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル	① ()	① ()	・ A種 ・ B種
・ 間仕切壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	① ()	① ()	・ B種 ・ C種

パネル幅を300mm以下とする部分 ① 適用あり

パネル相互の目地幅 (mm)

・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ① ()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ① 15 ② ()

目地及び隙間の処理 ① ()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法 ① 適用あり


間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・ パネル開口の限度 ① 図示 (図面番号:)

訂正

月	日			

 街に緑を

設計・監理
株式会社 東海建築設計

作成

承認

担当

名称
南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

設計No.

原因: A 2
図面No.

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号
一級建築士 第128604号 山岡 寛

製図

特記仕様書 3

縮尺

整理No.

A - O 3

9

防水工事

1. アスファルト防水

(表9.2.3) ~ (表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8]

厚さ・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8]

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8]

厚さ・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8]

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)

・フラットヤーンクロス(70g/㎡)

押え金物

・アルミ製 L30×15×2.0

断熱材

・屋根保護防水断熱工法

種類() 厚さ() mm

・屋根露出防水断熱工法

種類() 厚さ() mm

屋根保護防水

(表9.2.3) ~ (表9.2.6)

立ち上がり部の保護コンクリート

乾式保護材

立ち上がり部保護れんが

(表9.2.7)

脱気装置

・設置数量

屋根露出防水における仕上塗料

(表9.2.8)

屋内外防水密着工法における保護層

E-1の工程3

防水層の下地モルタル塗り

立上りのコンクリート打放し仕上げの種別

(9.2.4)

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置

(9.2.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

床タイル張り

立上り部の保護方法

屋上排水溝

2. 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

(表9.3.1) ~ (表9.3.3)

改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3]

厚さ・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3]

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3]

押え金物の材質、形状、寸法

・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)

厚さ・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3]

仕上塗料

脱気装置

断熱材

防水湿用シートの設置

種別

施工箇所

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(9.4.4)

(表9.4.1)

(表9.4.2)

(表9.4.3)

ルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3]

厚さ・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3]

絶縁用シート

・発砲ポリエチレンシート

固定金具

断熱材

仕上塗料

防水湿用シートの設置

S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法

屋内保護密着工法

目地処理

増張り

PC入隅部

機械的固定工法

4. 塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

脱気装置

防水層の工程数及び各工程の使用量

保護層

仕上塗料

適用部位

防水層の種類

防水層の下地

壁及び天井部の仕上げ

下地処理

5. ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1)

(9.6.3)

(9.6.4)

(表9.6.1)

(表9.6.2)

⑥シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

(9.7.5)

1. 共通

(10.1.3)

(10.1.5)

2. 天然石

(10.2.1)

(表10.2.2)

使用部位

種類(名称)

等級

寸法(mm)

表面仕上げ

工法

形状

ジェットバーナー仕上面

3. テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

寸法による区分

表面仕上

テラゾブロック

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

形状

仕上げ面

寸法(mm)

表面仕上

4. その他の材料

(10.2.3)

取付用モルタル

目地用モルタル

石裏面処理材

裏打ち処理材

ドレンパイプ

充填材料

5. 外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

(10.3.2)

(10.3.3)

受け金物の材質、形状、寸法

アンカーの材質及び寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

ドレンパイプの材質

石材の厚さ

石裏面処理

裏打ち処理

下地ごしらえ

目地

伸縮調整目地

位置

シーリング材の目地寸法

6. 内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

(10.4.3)

受け金物の材質、形状、寸法

アンカーの材質及び寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

石材の厚さ

下地ごしらえ

目地

伸縮調整目地

位置

シーリング材の目地寸法

7. 乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

金物の種類、形状、寸法

取り付け工法

アンカーの材質及び寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

石材の厚さ

たば用穴の位置

石裏面処理

裏打ち処理

風圧力に対応した工法

目地

シーリング材

8. 床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

石材の厚さ

石裏面処理

目地

伸縮調整目地

位置

シーリング材の目地寸法

9. アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.7.1)

(10.7.2)

取付け金物

吊金物及び化粧リヨリルト

吊金物

吊りボルト

アンカーの材質及び寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

取付工法

石材の厚さ

石裏面処理

裏打ち処理

目地

10. 笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.1)

(10.7.3)

取付け金物

アンカーの材質及び寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

取付工法

石材の厚さ

石裏面処理

取付け代

石裏の補強用モルタル

目地

伸縮調整目地

位置

シーリング材の目地寸法

石材の厚さ

11. 隔て板

(10.7.4)

1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

②タイル張り

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.2.3)

(11.3.2)

(11.3.4)

(表11.3.2)

位置

タイルの種類・工法

施工箇所

工法

種類

形状寸法

耐滑り性

うわぐすり

役物

標準・特注色の別

耐凍害性の有無

・役物

・試験張りを行う

・見本焼きを行う

・既モルタル調査

セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理

有機系接着剤あと張り工事

シーリング材

打継、ひび割れ誘発目地

伸縮、その他目地

訂正

月日

設計・監理

作成

承認

担当

名称

設計No.

原因

株

社

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

製図

縮尺

整理No.

図面No.

街に緑を

株式会社 東海建築設計

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号

一級建築士 第128604号 山岡 寛

特記仕様書 4

A-O4

21

排水工事

③地業の材料
(21.2.1)

④埋め戻し土
(21.2.1)

5.施工
(21.2.2)

6.街きよ
緑石、側溝
(21.3.1)
(21.3.2)

○再生クラッシャラン
・砂の粒度試験

○B種 ・A種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

遠心力鉄筋コンクリート管
基床の厚さ、種類 ・図示（図面番号： ）
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類 ・図示（図面番号： ）
継手 ・接着剤 ・ゴム輪

コンクリート縁石、側溝
形状、寸法 ・図示（図面番号： ）
地業
厚さ ・ 100mm ・図示（図面番号： ）

22

舗装工事

1.路床
(22.2.2)
(22.2.3)
(表22.2.1)
(22.2.4)
(22.2.5)

②路盤
(22.3.2)
(表22.3.1)
(22.3.3)

③アスファルト
舗装
(22.4.2)～
(22.4.6)
(表22.4.1)～
(表22.4.6)

4.コンクリート
舗装
(22.5.2)～
(22.5.6)

5.カラー舗装
(22.6.2)
(22.6.3)

6.透水性アス
ファルト舗装
(22.7.2)
(表22.7.1)

路床の材料（厚さは図示（図面番号： ））
・遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂
・凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・（ ）
・フィルター層 ・砂
路床安定処理 ・行う
添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号
・消石灰（ ）号
添加量（ ）kg/m²（目標CBR ・5以上 ・（ ））
盛土に用いる材料
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土
C種の場合：建設発生土受入量（ ）m³
片道の運搬距離（ ）km
試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験
・路床締固め度の試験
・現場CBR試験

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料
・アスファルト舗装	・（ ）・（ ）	・再生クラッシャラン
・カラー舗装	・（ ）・（ ）	・クラッシャラン
・透水性アスファルト舗装	・（ ）・（ ）	鉄鋼スラグ
・インターロッキング ブロック舗装	・（ ）・（ ）	・クラッシャラン ・（ ）
・（ ）	・（ ）・（ ）	

舗装の構成及び厚さ ○ A-5-15 ・図示（図面番号： ）
・ A-3-10 ・（ ）
表層の種類
○ 密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
・（ ）
基層の種類
・粗粒度アスファルト混合物(20) ・（ ）
試験 ・アスファルト混合材等の抽出試験

舗装の構成及び厚さ ・図示（図面番号： ）
構造 ・標準仕様書〔表22.5.1〕 ・（ ）
早強セメント ・使用する
注入目地材料 ・低弾性タイプ ・高弾性タイプ
目地 ・種類（ ） ・間隔（ ）
・標準仕様書〔表22.5.3〕

種類
・加熱系 構成及び厚さ（ ）
混合物 ・アスファルト ・石油樹脂系（顔料の添加量： ）
添加材 ・着色骨材 ・自然石
・常温系
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装

材料 ・ストレートアスファルト
・改質アスファルト（・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ・（ ）型）
厚さ(mm) ・（ ） ・図示（図面番号： ）

7.ブロック系舗装
(22.8.2)
(22.8.3)

8.砂利敷き
(22.9.2)

23

植栽工事

舗装

種類

寸法(mm)

厚さ(mm)

備考

・コンクリート
平板舗装

・普通平板
・透水平板
・（ ）

・300角
・（ ）

・60
・（ ）

目地
・砂 ・モルタル
表面加工
・研ぎ出し
・洗い出し
・たたき出し

・インター
ロッキング
ブロック舗装

・普通ブロック
・透水性ブロック

車道部
・80
・（ ）
歩道部
・60
・（ ）

表面加工
・標準品
・（ ）
曲げ強度
・（ ）

・舗石舗装

・小舗石
・花こう岩
・（ ）

・80・100

施工方法
・うるこ張り
・（ ）
基層
・コンクリート舗装
・アスファルト舗装

・通路部

・建物周囲

・A種

・B種

・（ ）

・B種

・A種

・（ ）

1.植栽地の確認
(23.1.3)

2.植栽基盤
(23.2.2)
(23.2.3)
(表23.2.2)

3.植樹
(23.3.2)
(23.3.3)

4.新植樹木の
枯補償
(23.3.4)

5.移植樹木の
枯損処理
(23.3.6)

6.芝(23.4.2)
(23.4.3)

7.屋上緑化
(23.5.2)
(23.5.3)
(23.5.4)

・土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・行う
・電気伝導度類(EC)の試験 ・行う
（ ）の試験 ・行う

植栽基盤整備工法
・樹木 （ ・A種 ・（ ））
・芝及び地被類 （ ・B種 ・（ ））
有効土層 面積 ・図示（図面番号： ）
厚さ ・図示（図面番号： ）
排水設備 ・設ける
（ ・暗きよ ・開きよ ・排水層 ・縦穴排水 ・（ ））
埋込み用土 ・現場発生の良質土 ・客土
土壌改良材 ・（ ）

樹木の種類 ・図示(図面番号：)
寸法 ・図示(図面番号：)
株立数 ・図示(図面番号：)
刈込み ・あり ・なし
支柱材
・丸太(防腐処理方法 ・加圧式防腐処理方法 ・（ ））
・（ ）
支柱形式 ・鳥居形 ・ハツ掛け系 ・（ ）
幹巻き用材料 ・幹巻き用テープ ・わら ・こも

引渡しの日から ・1年 ・（ ）

引渡しの日から ・1年 ・（ ）

種類 ・コウライシンバ ・ノシバ ・（ ）

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示(図面番号：)
排水層 ・軽量骨材(層の厚さ：) ・板状成形品
植込み用土 ・改良土 ・人工軽量土
樹木の材種 図示(図面番号：)
寸法 図示(図面番号：)
株立数 図示(図面番号：)
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・図示(図面番号：)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・図示(図面番号：)
支柱 ・図示(図面番号：)
かん水装置 ・図示(図面番号：)

24

外構工事

1.旗竿

2.フェンス

材種 ・アルミニウム製 ・（ ）
形式 テーパー付き ・ロープ式 ・ハンドル式
脚部 ・埋込式 ・ベース式
高さ(m) ・5 ・6 ・7

・ネットフェンス ・網材種（・ビニル被覆鉄線 ・（ ））
・メッシュフェンス
網材種（・樹脂皮膜 ・工場塗装 ・（ ））
・格子フェンス
網材種（・樹脂皮膜 ・工場塗装 ・（ ））

月 日

・

・

・

設計・監理

街に緑を

株式会社 東海建築設計

作成

承認

担当

名称

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

設計No.

原図：A 2
図面No.

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号
一級建築士 第128604号 山岡 寛

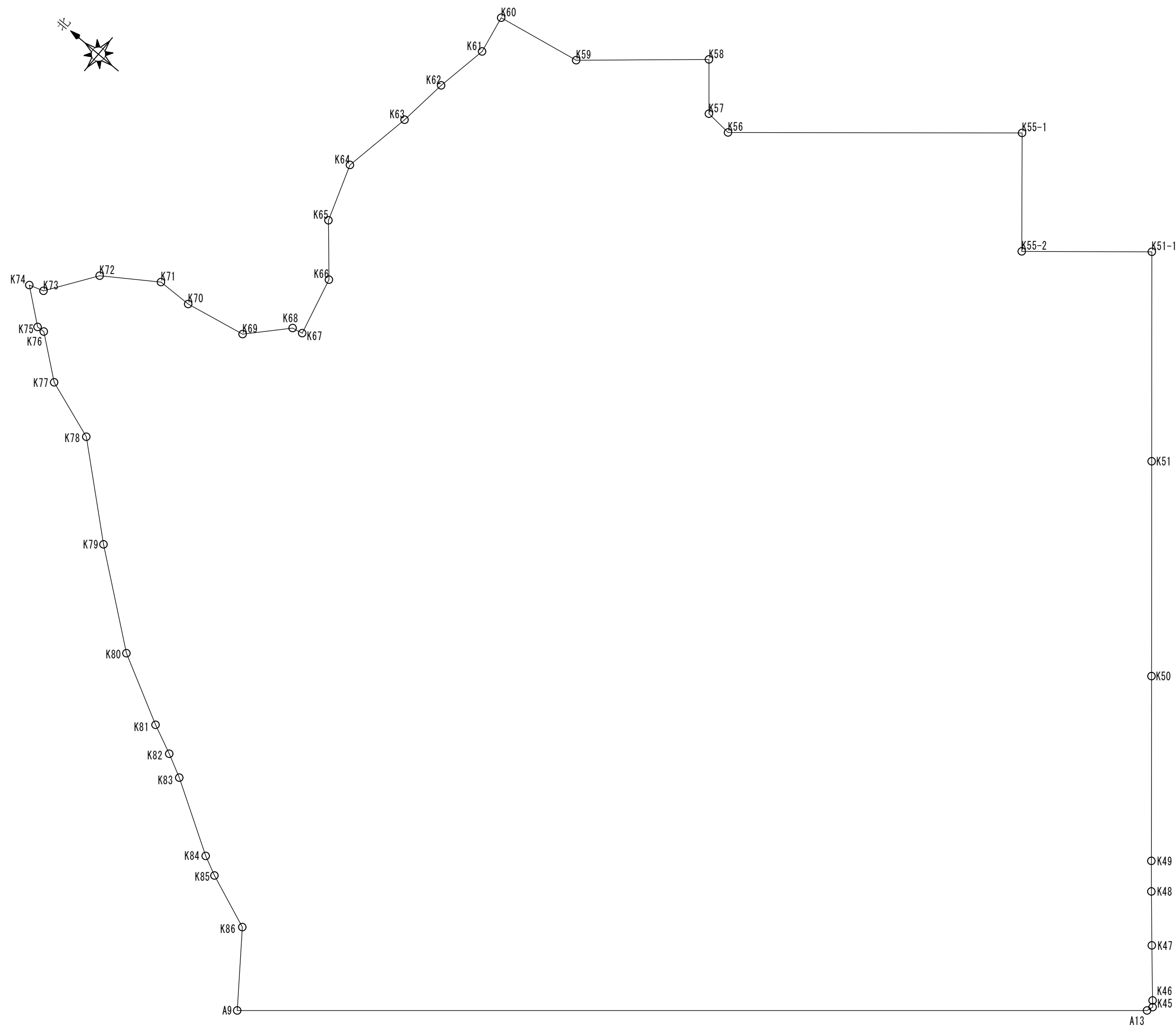
製図

特記仕様書 8

縮尺

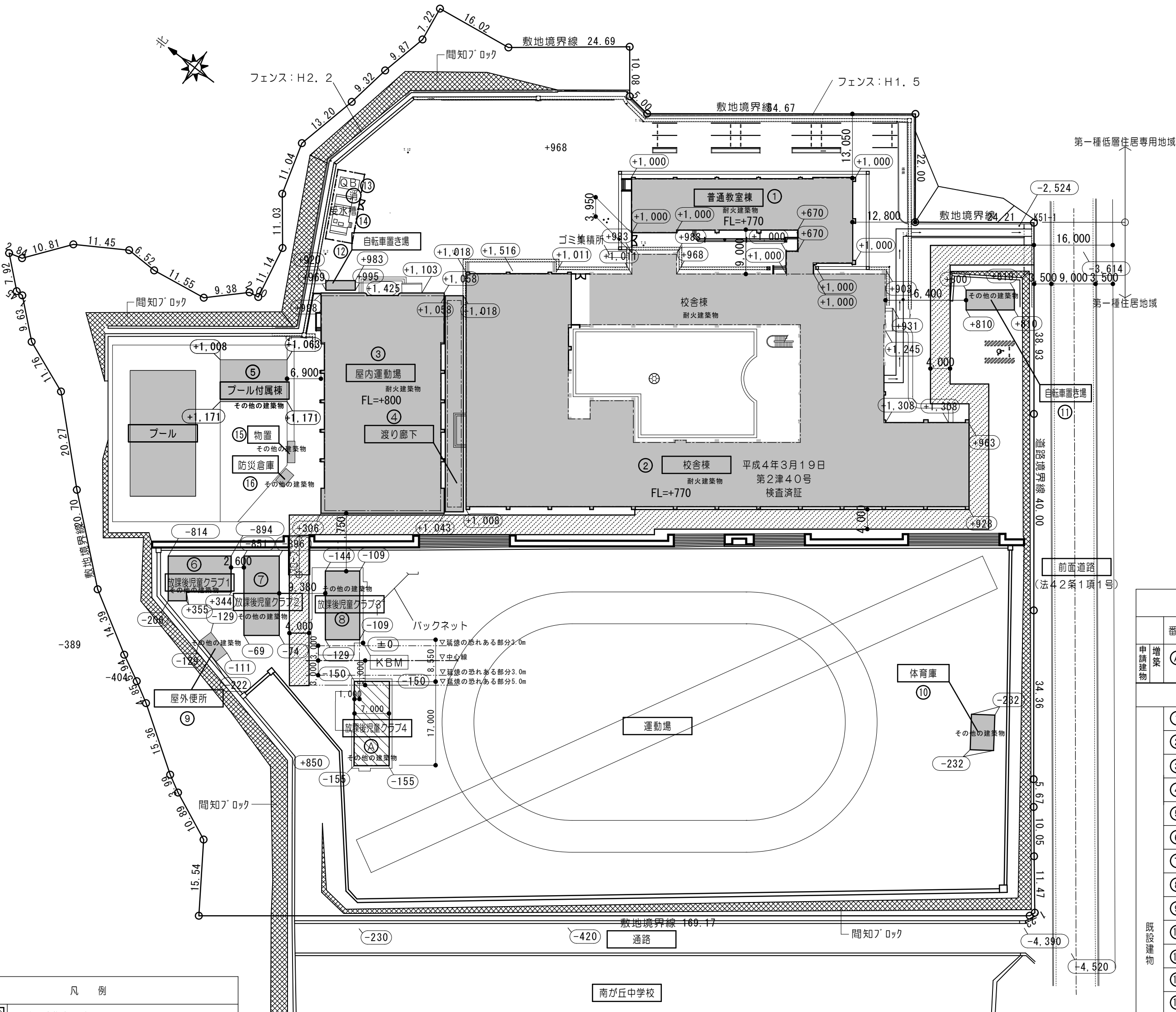
整理No.

A－08



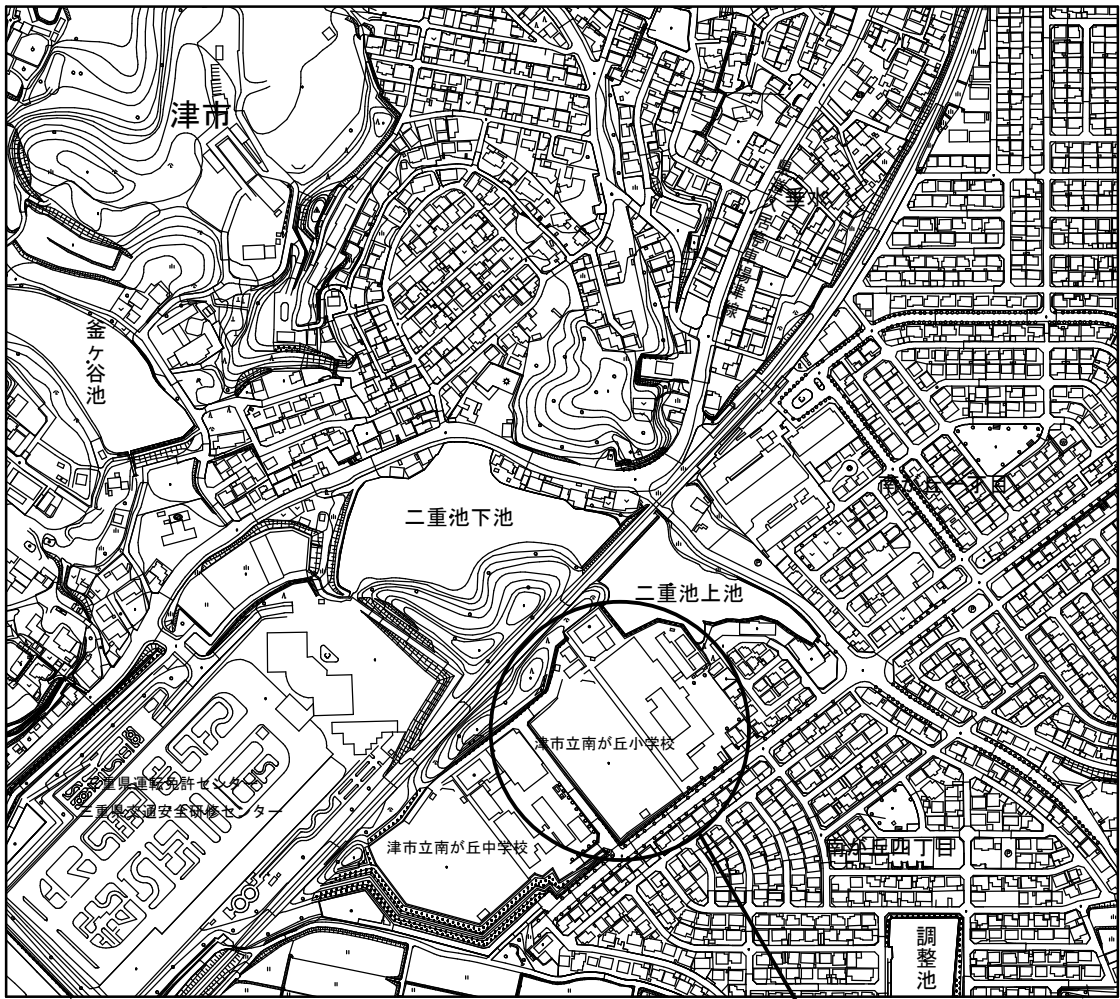
敷地求積図 1/700

求 積 表					
	No.	x	y	$Y_{n+1}-Y_{n-1}$	$X_n \times (Y_{n+1}-Y_{n-1})$
1	K45	4292. 868	5661. 982	2. 312	9925. 1108160
2	K46	4293. 804	5663. 155	9. 005	38665. 7050200
3	K47	4299. 974	5670. 987	15. 763	67780. 4901620
4	K48	4306. 146	5678. 918	12. 424	53499. 5579040
5	K49	4309. 591	5683. 411	31. 773	136928. 6348430
6	K50	4330. 484	5710. 691	59. 043	255684. 7668120
7	K51	4354. 797	5742. 454	62. 677	272945. 6115690
8	K51-1	4378. 459	5773. 368	16. 279	71276. 9340610
9	K55-2	4397. 739	5758. 733	2. 873	12634. 7041470
10	K55-1	4411. 060	5776. 241	-15. 688	-69200. 7092800
11	K56	4454. 504	5743. 045	-32. 565	-145060. 9227600
12	K57	4459. 464	5743. 676	8. 634	38503. 0121760
13	K58	4465. 589	5751. 679	-7. 129	-31835. 1839810
14	K59	4485. 099	5736. 547	-17. 347	-77803. 0123530
15	K60	4500. 965	5734. 332	-9. 363	-42142. 5352950
16	K61	4499. 966	5727. 184	-16. 773	-75477. 9297180
17	K62	4502. 166	5717. 559	-18. 826	-84757. 7771160
18	K63	4503. 672	5708. 358	-22. 066	-99378. 0263520
19	K64	4506. 625	5695. 493	-23. 462	-105734. 4357500
20	K65	4503. 538	5684. 896	-19. 297	-86904. 7727860
21	K66	4496. 759	5676. 196	-19. 634	-88289. 3662060
22	K67	4494. 639	5665. 262	-11. 251	-50569. 1833890
23	K68	4496. 612	5664. 945	-6. 866	-30873. 7379920
24	K69	4503. 329	5658. 396	-8. 277	-37274. 0541330
25	K70	4514. 751	5656. 668	-1. 561	-7047. 5263110
26	K71	4521. 265	5656. 835	-5. 823	-26327. 3260950
27	K72	4531. 020	5650. 845	-14. 572	-66026. 0234400
28	K73	4537. 593	5642. 263	-9. 343	-42394. 7313990
29	K74	4540. 325	5641. 502	-5. 994	-2214. 7080500
30	K75	4534. 388	5636. 269	-5. 212	-23633. 2302560
31	K76	4532. 939	5636. 290	-6. 310	-28602. 8450900
32	K77	4525. 682	5629. 959	-10. 730	-48560. 5678600
33	K78	4514. 778	5625. 560	-18. 327	-82742. 3364060
34	K79	4500. 056	5611. 632	-27. 422	-123400. 5356320
35	K80	4484. 364	5598. 138	-20. 784	-93203. 0213760
36	K81	4471. 954	5590. 848	-9. 999	-44715. 0680460
37	K82	4466. 669	5588. 139	-5. 109	-22820. 2119210
38	K83	4462. 459	5585. 739	-10. 972	-48962. 1001480
39	K84	4449. 709	5577. 167	-10. 478	-46624. 0509020
40	K85	4446. 208	5575. 261	-6. 347	-28220. 0821760
41	K86	4436. 264	5570. 820	-17. 333	-76893. 7639120
42	A9	4427. 587	5557. 928	90. 023	398584. 6645010
43	A13	4293. 320	5660. 843	104. 054	446737. 1192800
倍面積					59523. 4648400
面 積					29761. 7324200



凡 例	
	計画建物を示す
	既存建物・既存施設を示す
	敷地内通路 1.5mを示す
	KBK位置を示す
	KBKからのレベルを示す
	4m通路を示す

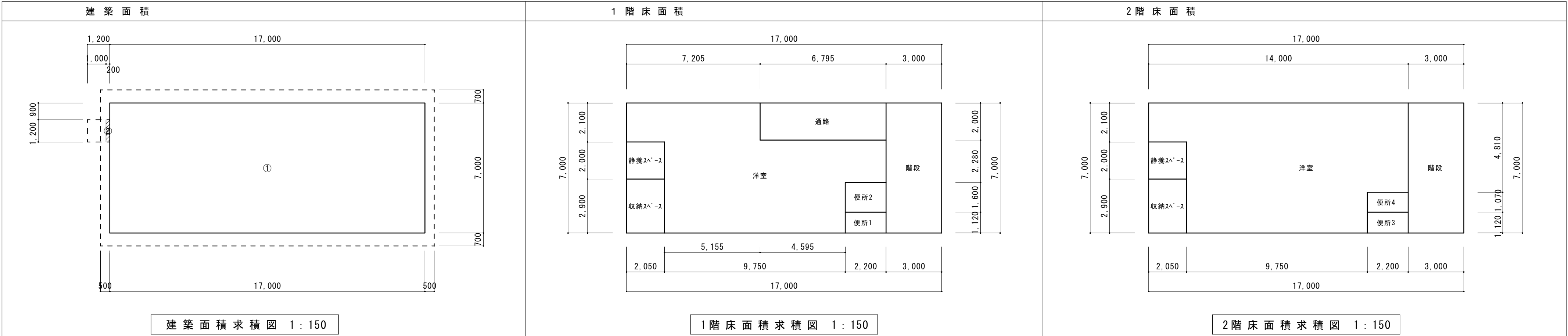
配置図 1/700



付 近 見 取 図

申請地
津市里水2538番地の1


面 積 表											
	番号	棟 名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	床面積 (㎡)					構 造	
					1階	2階	3階	PH1階	PH2階		
申請建物	増築	①	放課後児童クラブ4	119.24	238.00	119.00	119.00	—	—	—	S造
小 計			119.24	238.00	119.00	119.00	—	—	—		
既設建物	①	普通教室棟	581.38	1,130.88	559.98	559.98	10.92	—	—	RC造	
	②	校舎棟	3,503.12	6,934.46	3,317.14	1,983.55	1,569.17	32.30	32.30	RC造	
	③	屋内運動場	1,149.43	1,115.13	1,046.77	68.36	—	—	—	RC造	
	④	渡り廊下	117.60	117.60	117.60	—	—	—	—	S造	
	⑤	プール付属棟	111.22	111.22	111.22	—	—	—	—	RC造	
	⑥	放課後児童クラブ1	98.00	98.00	98.00	—	—	—	—	S造	
	⑦	放課後児童クラブ2	116.00	116.00	116.00	—	—	—	—	S造	
	⑧	放課後児童クラブ3	114.30	98.00	98.00	—	—	—	—	S造	
	⑨	屋外便所	14.00	14.00	14.00	—	—	—	—	S造	
	⑩	体育庫	32.00	32.00	32.00	—	—	—	—	CB造	
	⑪	自転車置き場	39.00	39.00	39.00	—	—	—	—	CB造	
	⑫	自転車置き場	12.00	12.00	12.00	—	—	—	—	S造	
	⑬	キュービクル	6.61	6.61	6.61	—	—	—	—	S造	
	⑭	受水槽（ポンプ室）	6.00	6.00	6.00	—	—	—	—	S造	
		⑮	物 置	6.60	6.60	6.60	—	—	—	S造	
	⑯	地区防災倉庫	6.88	6.88	6.88	—	—	—	S造		
小 計			5,914.14	9,844.38	5,587.80	2,611.89	1,580.09	32.30	32.30		
合 計			6,033.38	10,082.38	5,706.80	2,730.89	1,580.09	32.30	32.30		

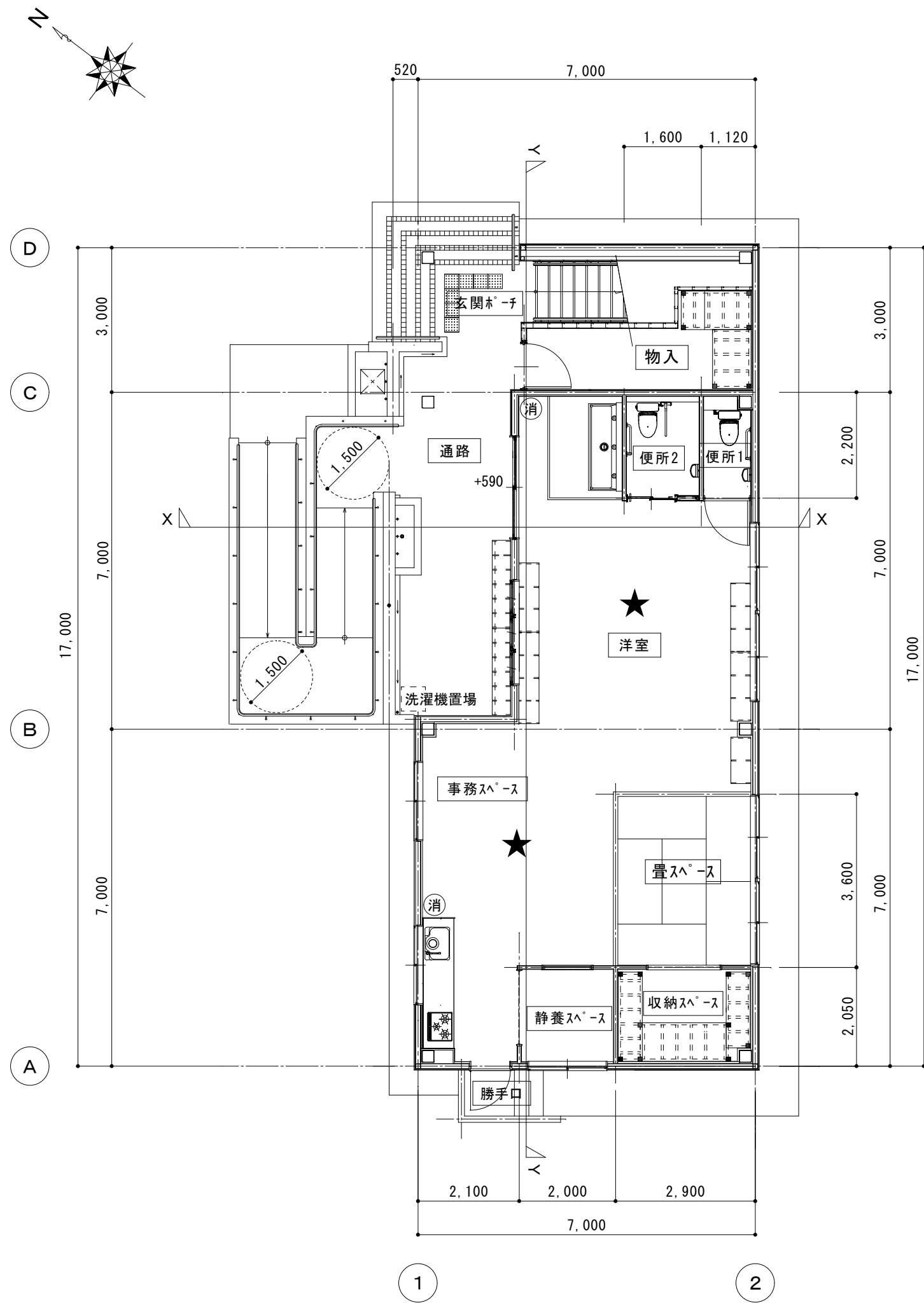


外 部 仕 上 表					
屋根	カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.8 ハゼ 締め折板葺き 山高166程度 換気見切面戸 内部面：無機質高充填断熱材 t=4.0 裏張（不燃材） 上裏：DP塗 鼻隠しハ-ネル：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工 H=400 ケラハ-包み：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工	樋	軒樋：硬質塩ビ製 角型（前高型）W150（カ-）SUS製受け金物（勝手口部 W120） 竖樋：硬質塩ビ製 VP75φ（カ-）SUS製受け金物	断熱材	壁・天井：グラスウール t=100 24Kg/m³
			玄関ポーチ 勝手口ポーチ 犬走り	外部通路	天井：ケイカル板 t=8.0 EP塗 天井裏：グラスウール t=100 24Kg/m³
勝手口庇	カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.8 ハゼ 締め折板葺き 山高90程度 水止面戸、エ-ロン面戸 壁隙水切：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工 鼻隠しハ-ネル：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工 H=350 ケラハ-包み：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工	スロープ	平坦部：モルタル金コ-仕上 t=30 手摺：ステンレス手摺 傾斜部：スロー-タイプ 150×150	その他	建具：アルミカー、強化ガラス飛散防止フィルム張り、ステンレス網戸 外部 手洗い場・足洗い場：コンクリート下地、50角モ-イクタイル張り
			床下防湿		
外壁	窯業系サイ-ィング張り t=16 横張り（塗装品） 通気工法 コーナ-部同質役物使用 断熱材：グラスウール t=100 24Kg/m³		土間コンクリート t=120 金コ-仕上 ホ-リエチレンフィルム敷込 t=0.15		
巾木	モルタル金コ-仕上 水切：カ-ガ-ルハ-リウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工				

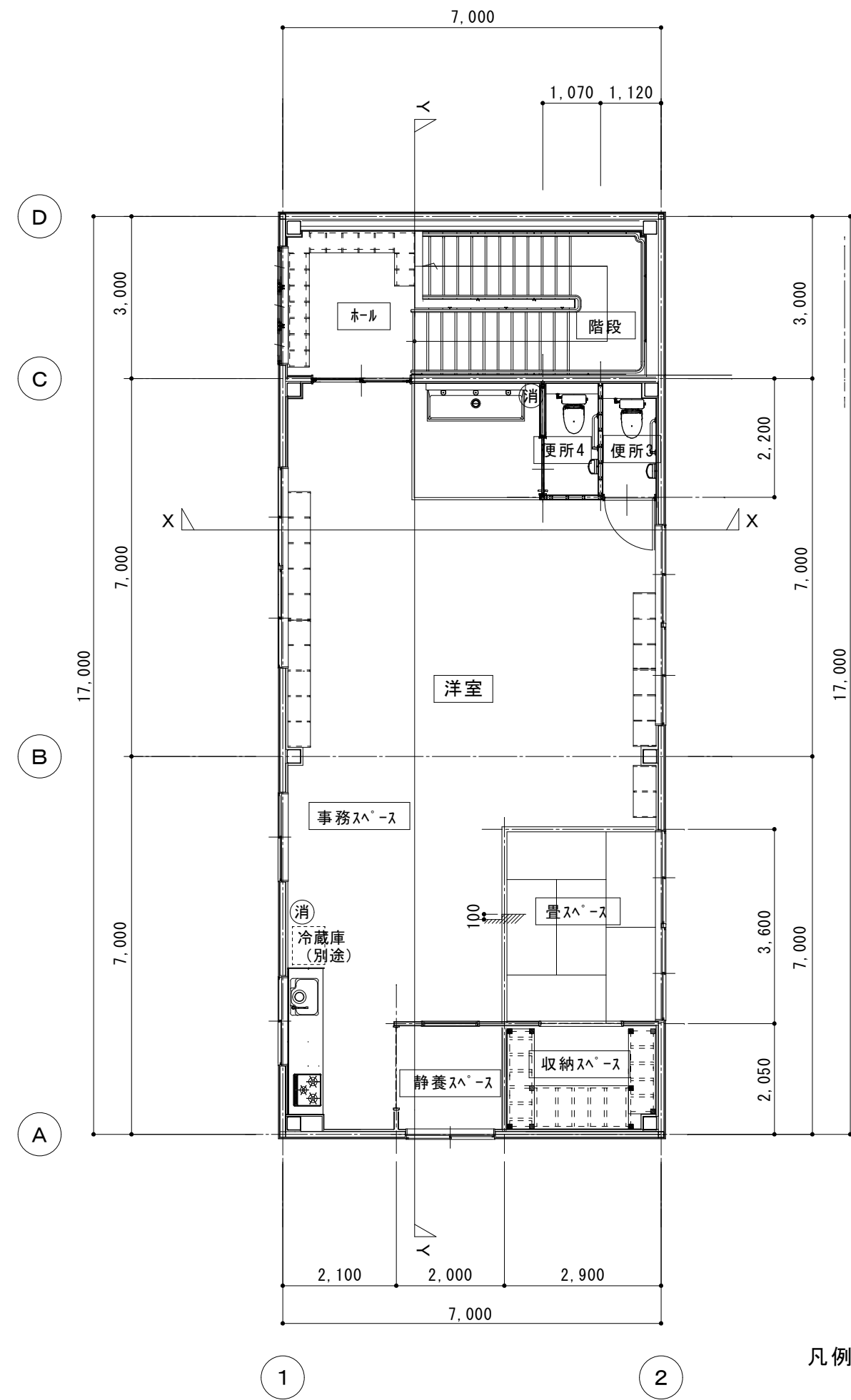
内 部 仕 上 表									
1 階	室名	GLよりの高さ	床	幅木	壁	天井	回り縁	天井高	備考
	洋室	+600	複合フローリング 張り t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	木製巾木 H=100 ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級） 【腰壁】 杉羽目板 t=12 CL塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5 下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650 フローリング ⇄ ビ-ニル床シート 見切はSUS製金物押え 天井点検口（7ℓミ枠450角）
	キッチンペ-ス 手洗流し廻り	+600	ビ-ニル床シート t=2.5 乾式二重床（断熱材 t=30）	ソフト巾木 H=100	タ-ミン不燃化粧板 t=3.0	下地 シ-ジ-ィング 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650 フローリング ⇄ ビ-ニル床シート 見切はSUS製金物押え 手洗流し面台：SUS t=1.2 折曲げ加工
	畳スペ-ス	+700	畳 t=55 乾式二重床（断熱材 t=30）	畳寄せ（桧）	ビ-ニルクロス貼（AA級） 【腰壁】 杉羽目板 t=12 CL塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5 下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,550
	収納スペ-ス	+700	複合フローリング 張り t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級）	下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400
	静養スペ-ス	+600	複合フローリング 張り t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級）	下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400
	便所 1. 2	+600	ビ-ニル床シート t=2.5 乾式二重床（断熱材 t=30）	ソフト巾木 H=100	タ-ミン不燃化粧板 t=3.0	下地 シ-ジ-ィング 石膏ホ-ド t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400 面台：ホ-ストフォーム t=20
	物入	+600	モルタル金コ-仕上 t=30	――	ケイカル板 t=8.0 EP塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5	段裏表し SOP塗		
2 階	階段		防滑性ビ-ニル床シート t=2.5 下地 モルタル金鍍 t=28	――	ケイカル板 t=8.0 EP塗 【手摺取付部分】 ケイカル板 t=8.0 EP塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5 下地 合板 t=12	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650
	階段ケ-ル		防滑性ビ-ニル床シート t=2.5 下地 モルタル金鍍 t=30	ソフト巾木 H=100	ケイカル板 t=8.0 EP塗	下地 合板 t=12	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650
	洋室		複合フローリング 張り t=12 発泡プラスチック系断熱材 t=33	木製巾木 H=100 ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級） 【腰壁】 杉羽目板 t=12 CL塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5 下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650 フローリング ⇄ ビ-ニル床シート 見切はSUS製金物押え 天井点検口（7ℓミ枠450角）
	キッチンペ-ス 手洗流し廻り		ビ-ニル床シート t=2.5 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ソフト巾木 H=100	タ-ミン不燃化粧板 t=3.0	下地 シ-ジ-ィング 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,650 フローリング ⇄ ビ-ニル床シート 見切はSUS製金物押え 手洗流し面台：SUS t=1.2 折曲げ加工
	畳スペース		畳 t=55 乾式二重床（断熱材 t=30）	畳寄せ（桧）	ビ-ニルクロス貼（AA級） 【腰壁】 杉羽目板 t=12 CL塗	下地 石膏ホ-ド t=12.5 下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,550
	収納スペ-ス		複合フローリング 張り t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級）	下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400
	静養スペ-ス		複合フローリング 張り t=12 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ソフト巾木 H=100	ビ-ニルクロス貼（AA級）	下地 石膏ホ-ド t=12.5	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400
	便所 3. 4		ビ-ニル床シート t=2.5 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ソフト巾木 H=100	タ-ミン不燃化粧板 t=3.0	下地 シ-ジ-ィング 石膏ホ-ド t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧石膏ホ-ド 張り t=9.5	塩ビ見切	H=2,400 面台：ホ-ストフォーム t=20

特記事項					認定番号		記号	
1. 特記なき限り、天井廻り縁は塩ビ既製品とする。					カ-ガ-ルハ-リウム鋼板		EP	
2. 特記なき限り、ビ-ニル床シートは、溶接止めとする。					窯業系防火サイ-ィング 不燃下地		SOP	
3. 特記なき限り、天井点検口はアルミ枠とし、天井と同仕上げとする。					ケイカル板		DP	
4. 消火器 ABC10型 （付加設置）					石膏ホ-ド 厚12.5		VE	
5. 土間下に防湿シート敷					石膏ホ-ド 厚9.5		OS	
6. カーテン・カーベットの設置の場合は不燃・防災物品とする。（付加設置）					シ-ジ-ィング PB 厚12.5		CL	
					シ-ジ-ィング PB 厚9.5			
					ビ-ニルクロス/不燃下地			
					抗菌タ-ミン化粧板 厚3.0			
					ロールスクリーン			

訂 正	月 日				 街に緑を 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	設計No.	原 図：A 2	
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛			製図	縮尺	整理No.	図面No. A - 1 2
						南が丘地区放課後児童クラブ新築工事 仕 上 表						




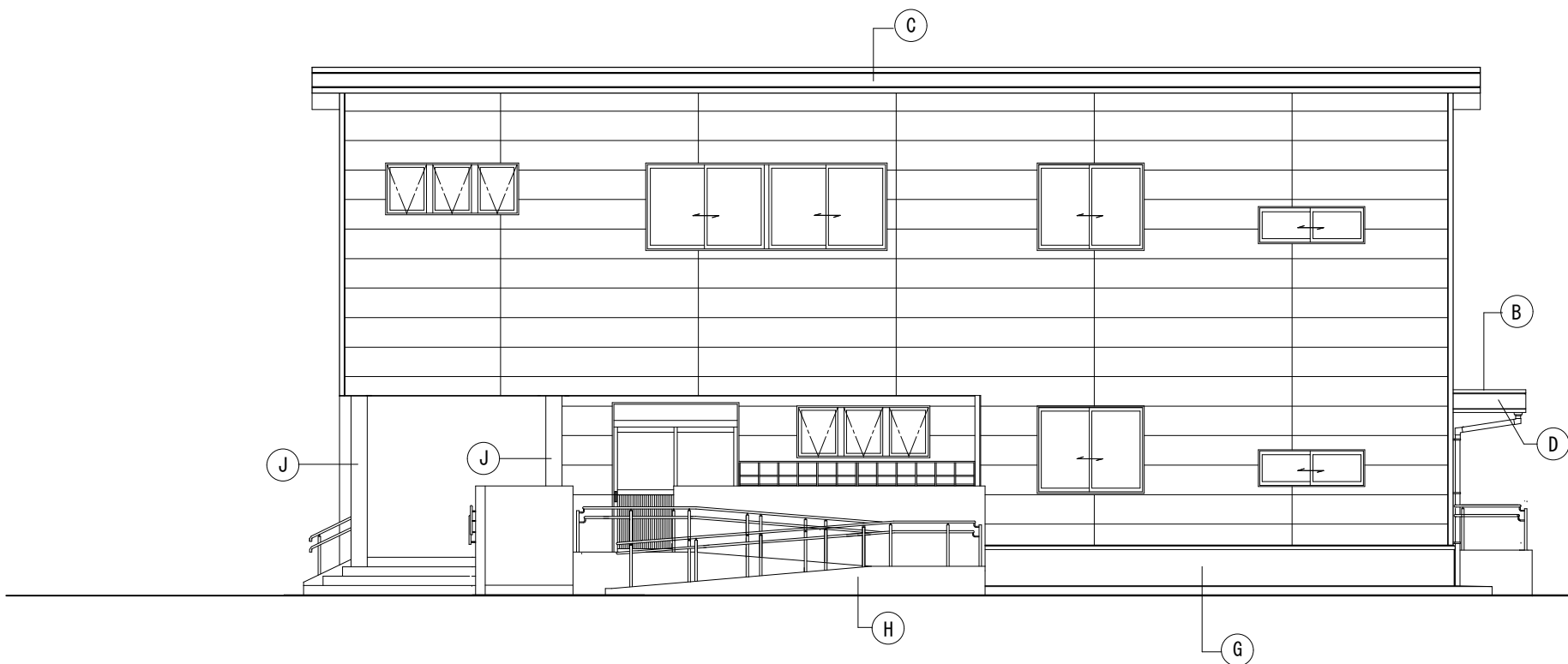
1 階 平 面 図 1:100



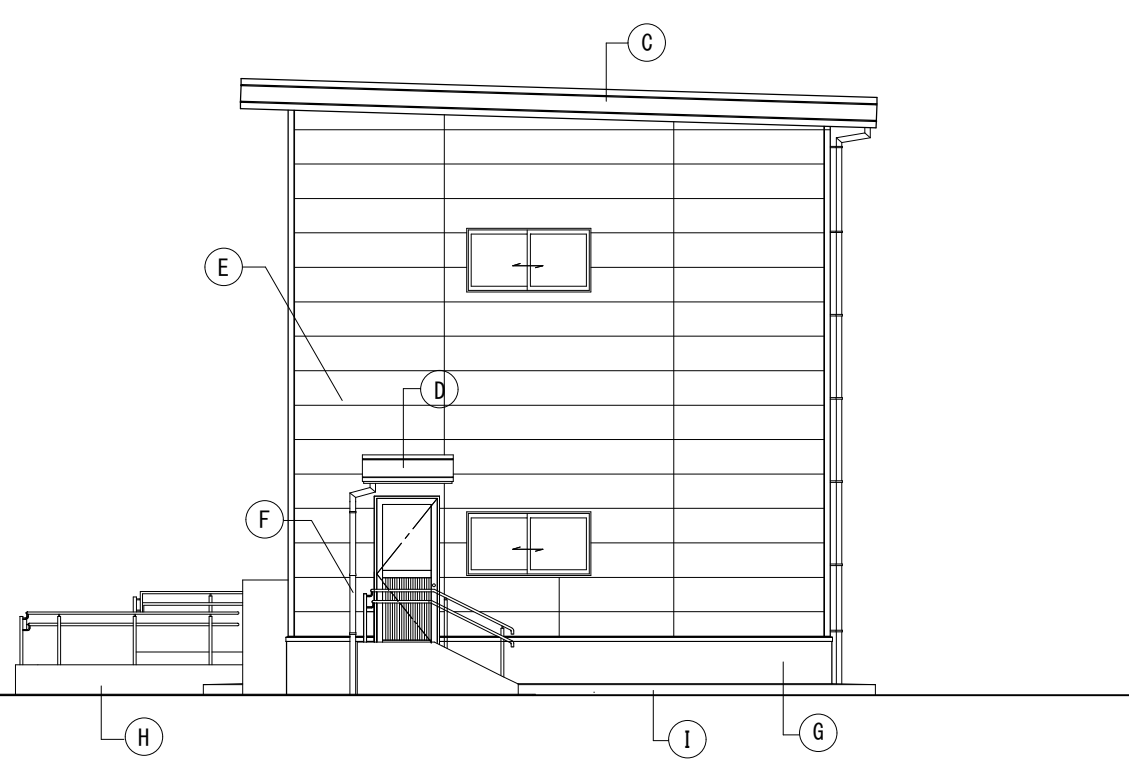
2 階 平 面 図 1:100

- 凡例
- ★ : 室内環境測定箇所を示す
 - Ⓐ : 消火器 ABC10型 設置スタンド 共

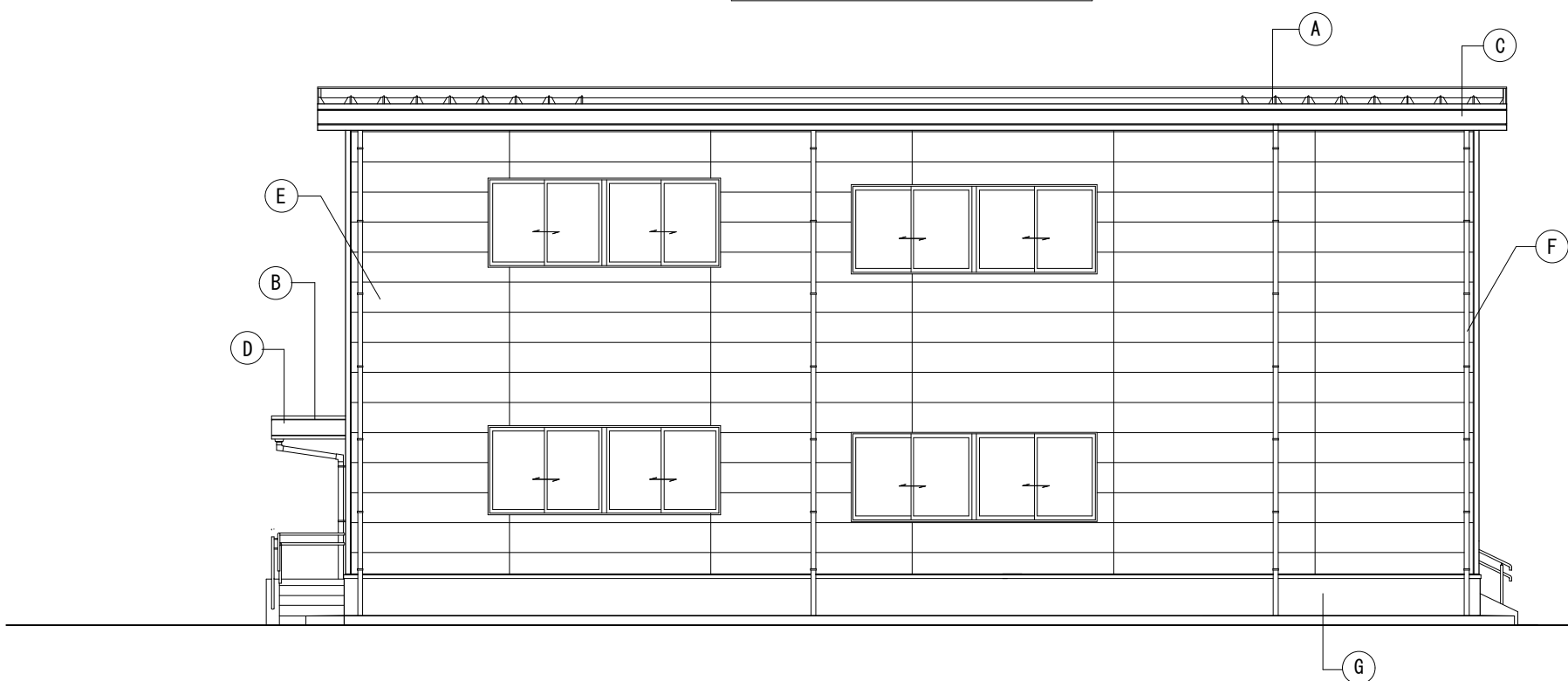
訂正	月 日				 街に緑を	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図 : A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	平面図	縮尺 1 : 100	
							一級建築士 第128604号 山岡 貴					整理No.	A - 1 3



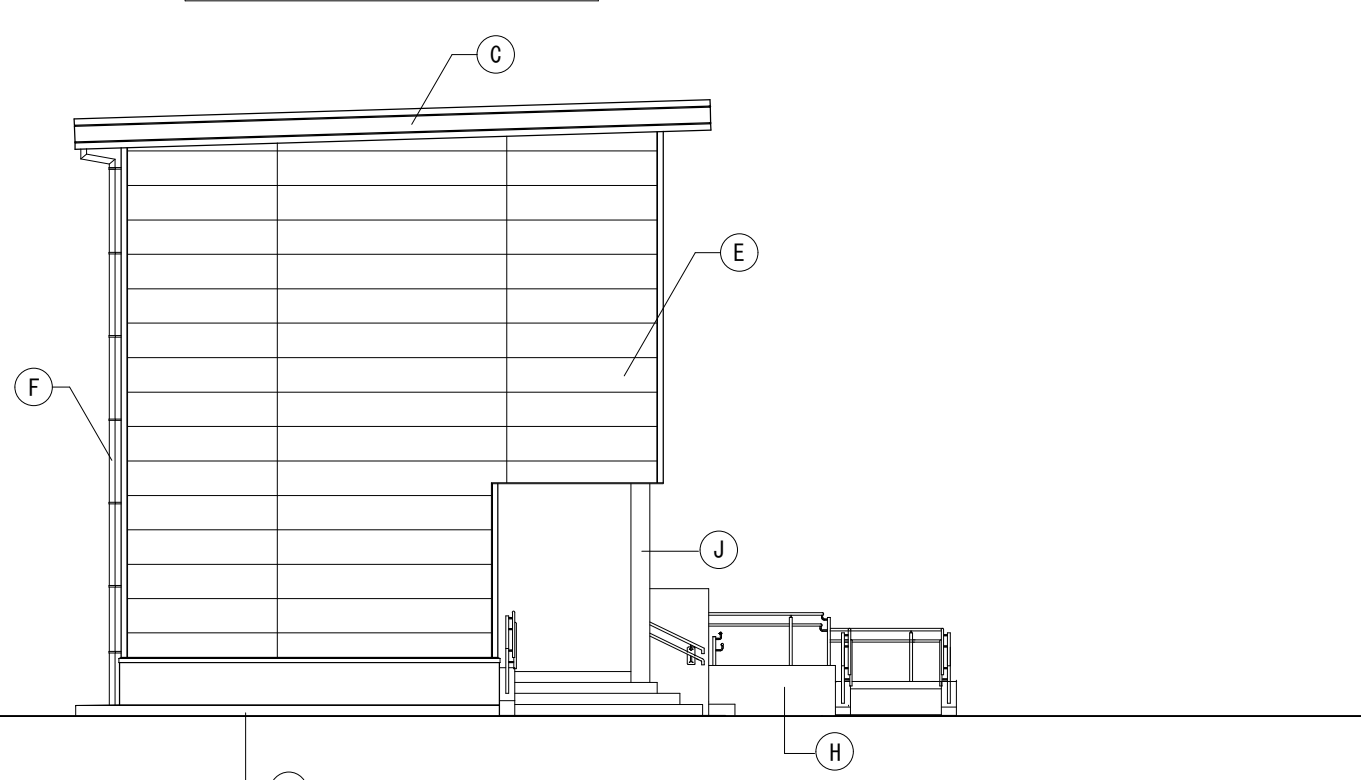
西立面図 1:100



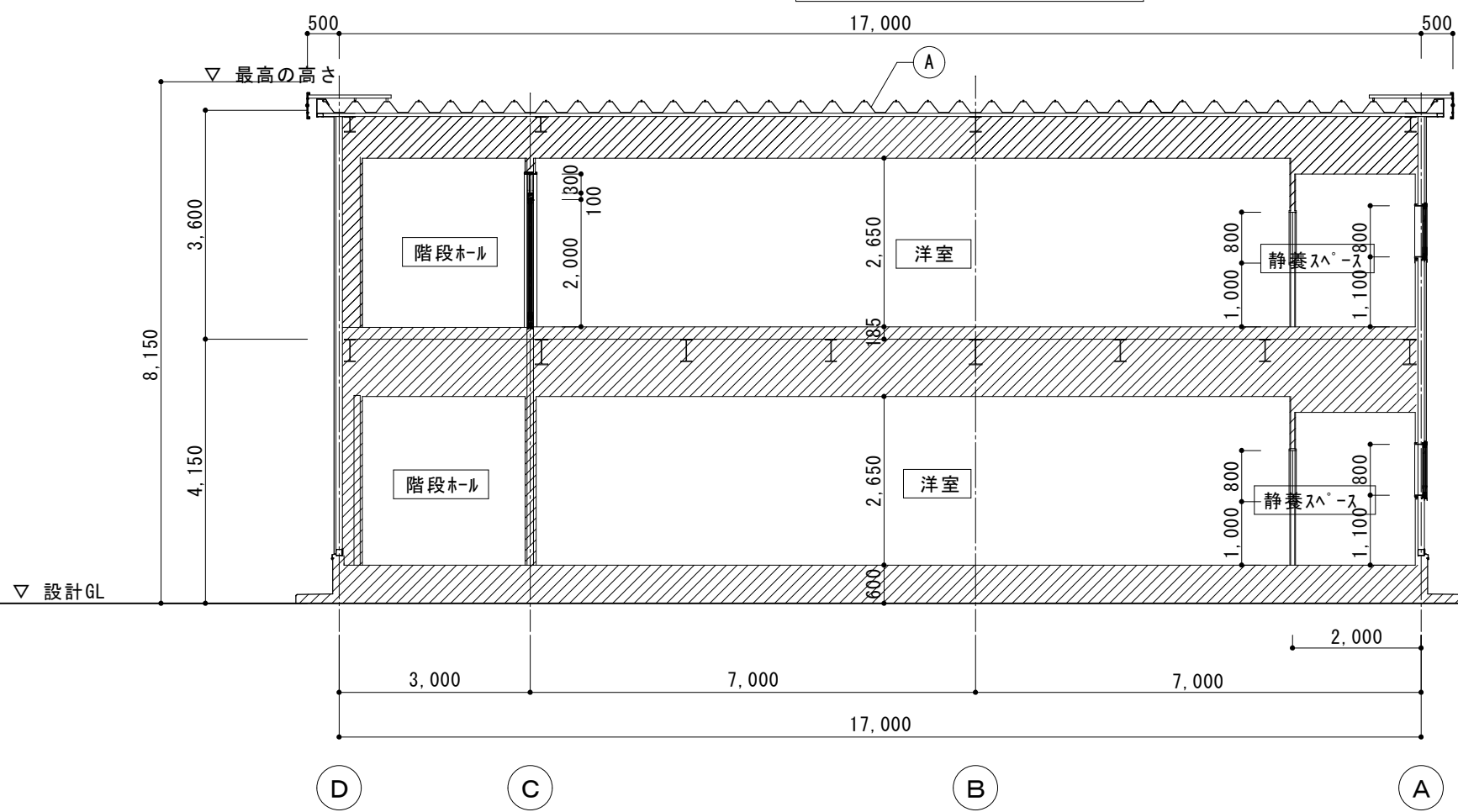
南立面図 1:100



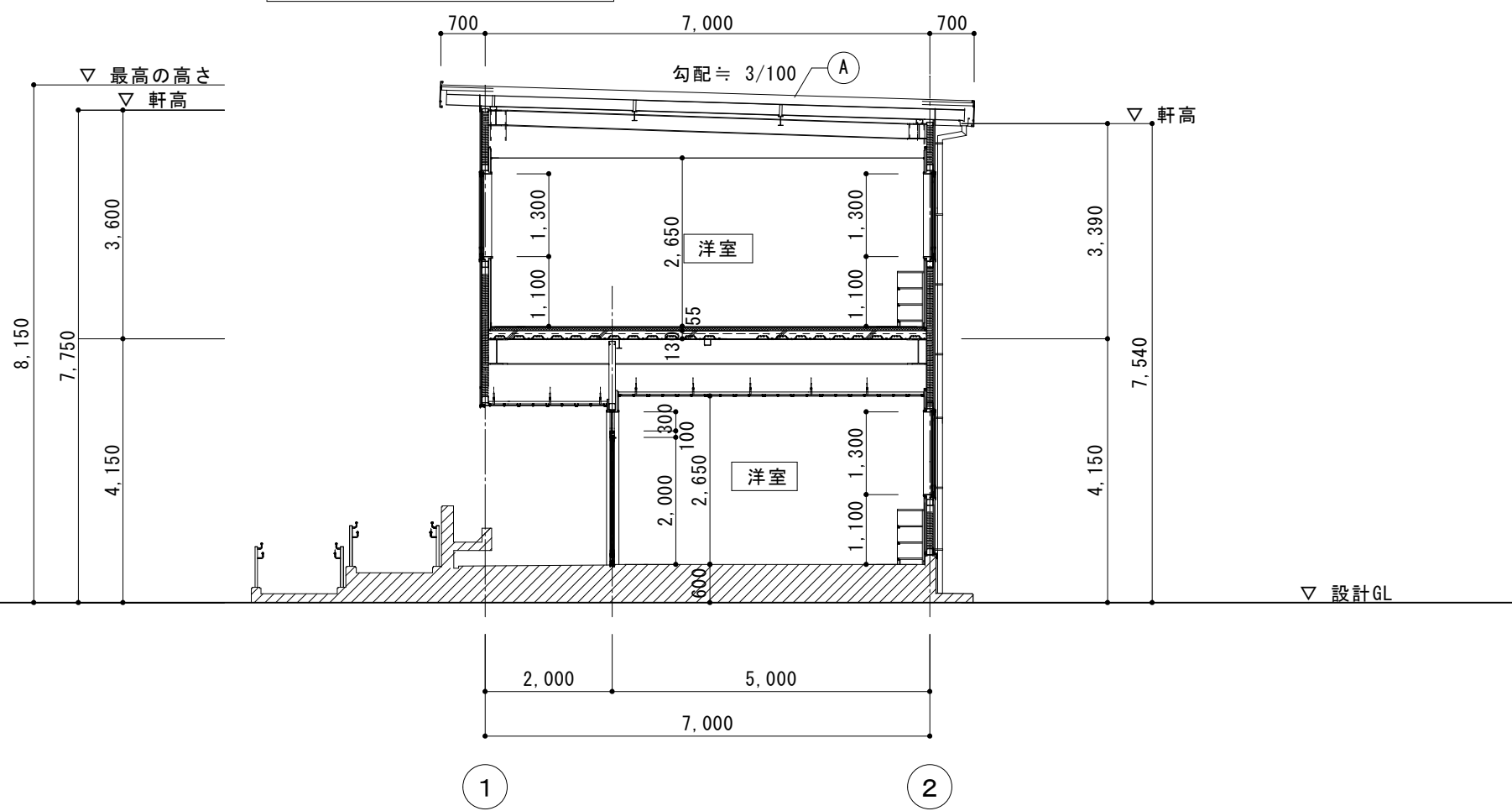
東立面図 1:100



北立面図 1:100




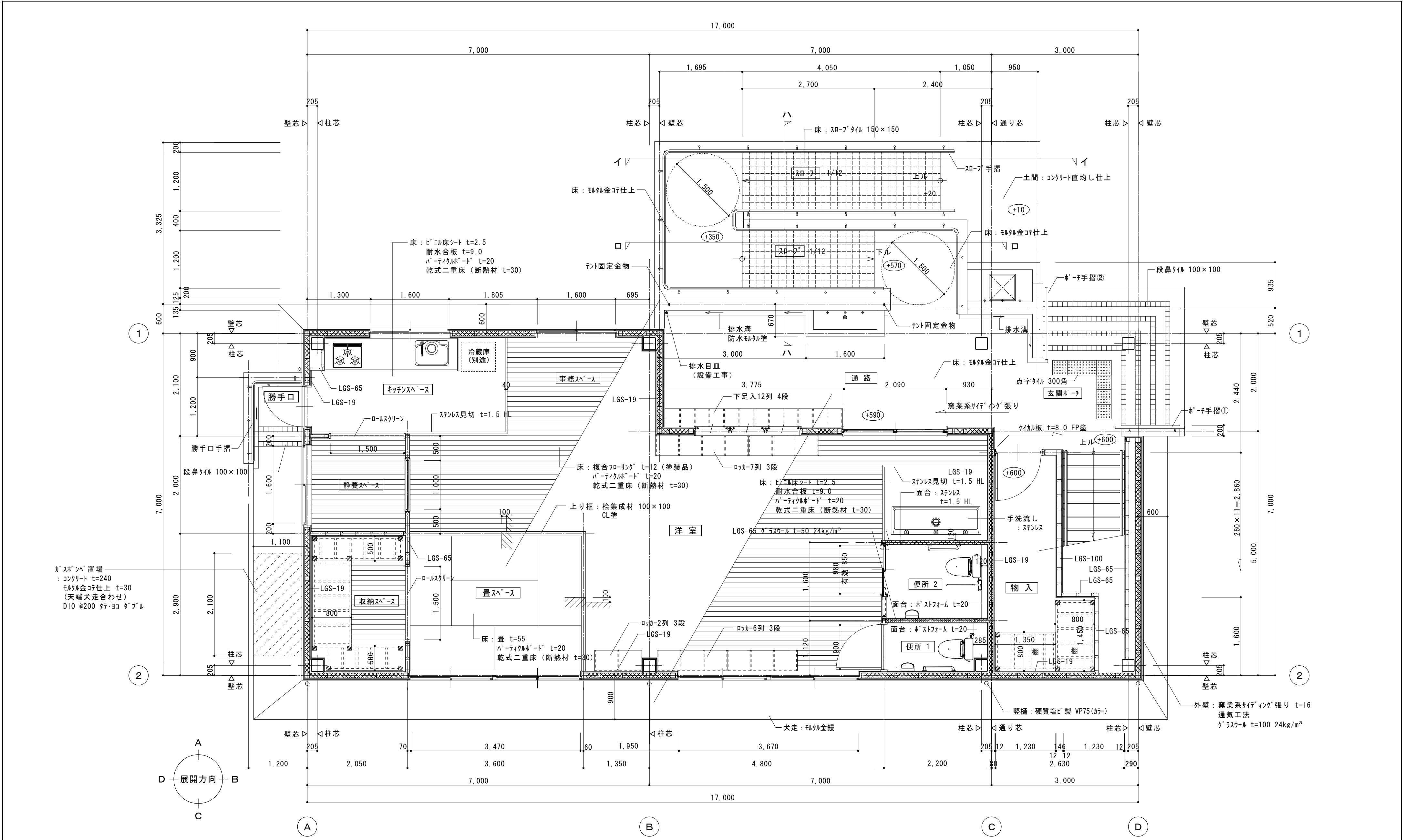
Y-Y断面図 1:100




X-X断面図 1:100

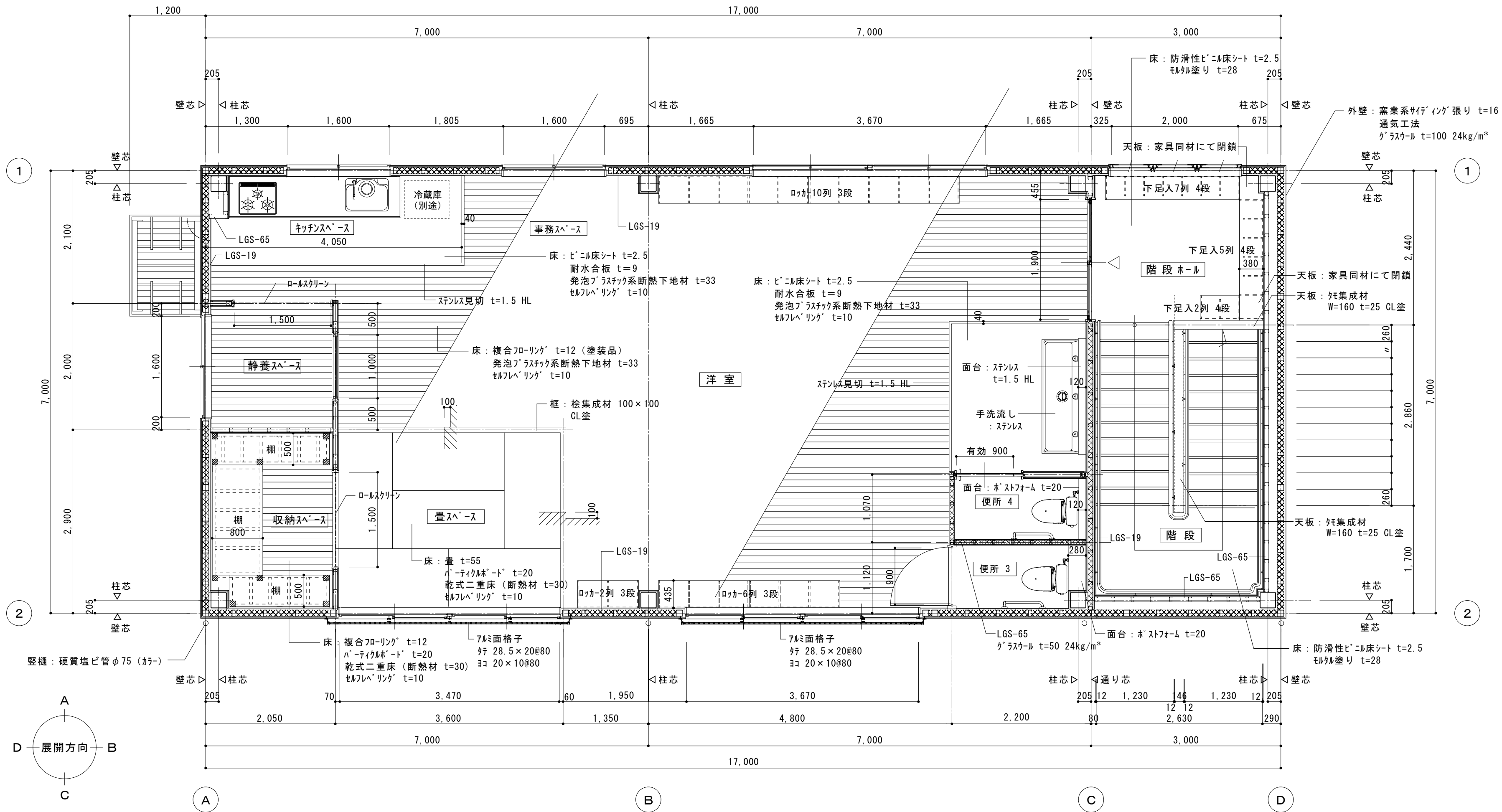
■ 凡 例	
(A)	屋根：カーガルバリウム鋼板 t=0.8 ハレ 締め折板葺き 山高166程度 内部面のみ無機質高充填断熱材 t=4.0 裏貼（不燃材）
(B)	屋根：カーガルバリウム鋼板 t=0.8 ハレ 締め折板葺き 山高90程度
(C)	鼻隠しバネル：カーガルバリウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工 H=400
(D)	鼻隠しバネル：カーガルバリウム鋼板 t=0.5 折り曲げ加工 H=350
(E)	外壁：窯業系サイディング張り t=16 横張り（塗装品） 通気工法
(F)	縦樋：硬質塩ビ製 VP75φ（カー） SUS製受け金物
(G)	巾木：モルタル金コシ仕上 t=25
(H)	モルタル金コシ仕上 t=25
(I)	犬走：モルタル金コシ仕上 t=30
(J)	鉄骨柱：DP塗

訂 正	月 日			 街に緑を 設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2
					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛			製図	立 面 図 ・ 断 面 図	縮 尺 1:100	図面No.
										整理No.	A - 1 4




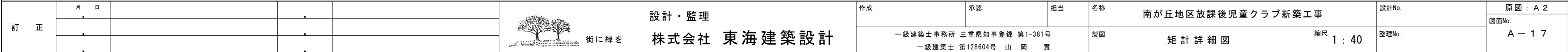
1階平面詳細図 1:50

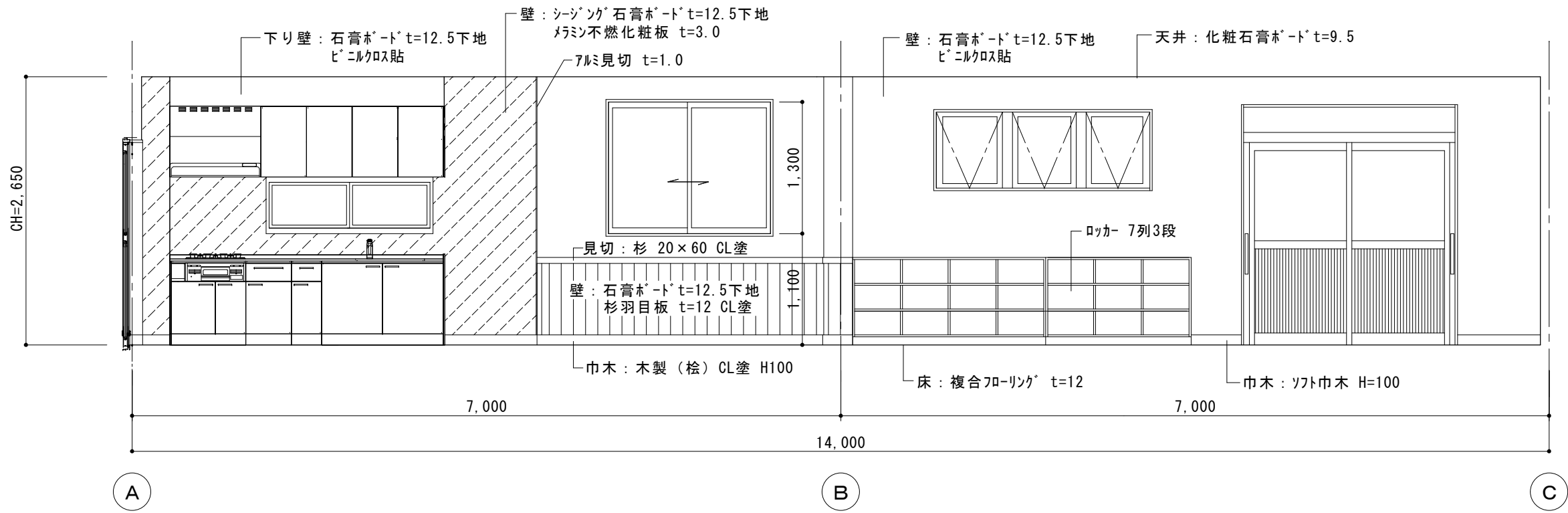
訂正	月	日				 街に緑を 設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図: A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	1階平面詳細図	縮尺	図面No.
							一級建築士 第128604号 山岡 寛					整理No.	A-15



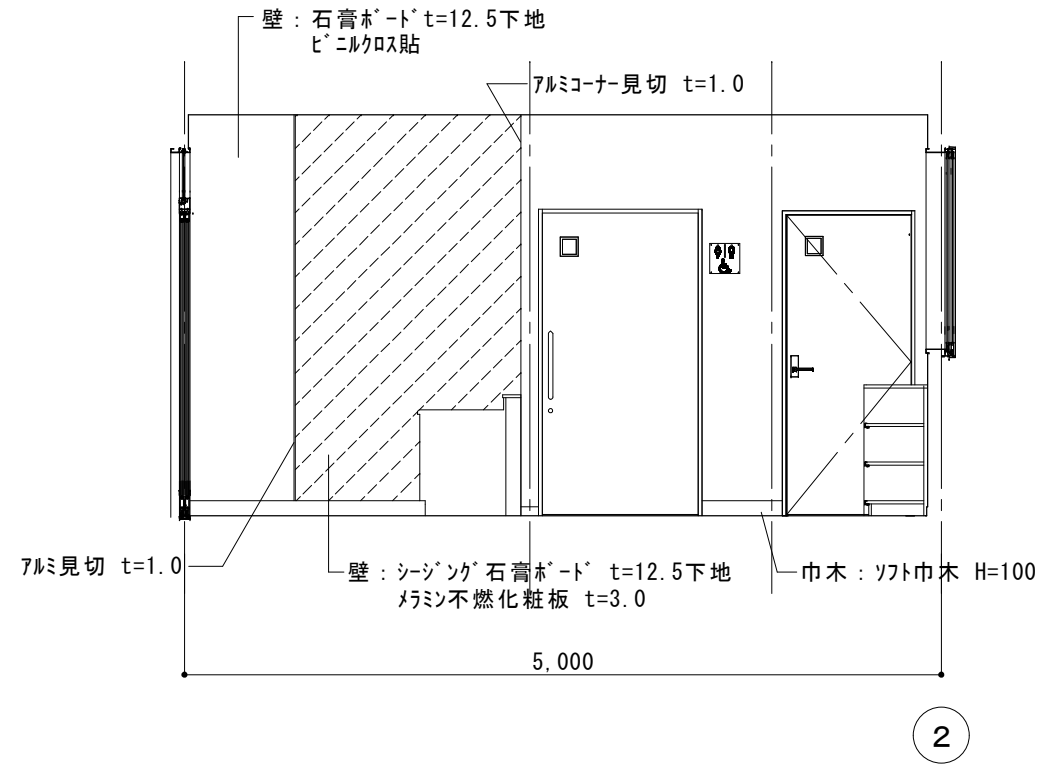
2 階 平 面 詳 細 図 1 : 50

訂 正	月 日				 街に緑を	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図：A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	2 階 平 面 詳 細 図	縮尺	図面No.
							一級建築士 第128604号 山 岡 寛				1 : 50	整理No.	A - 1 6

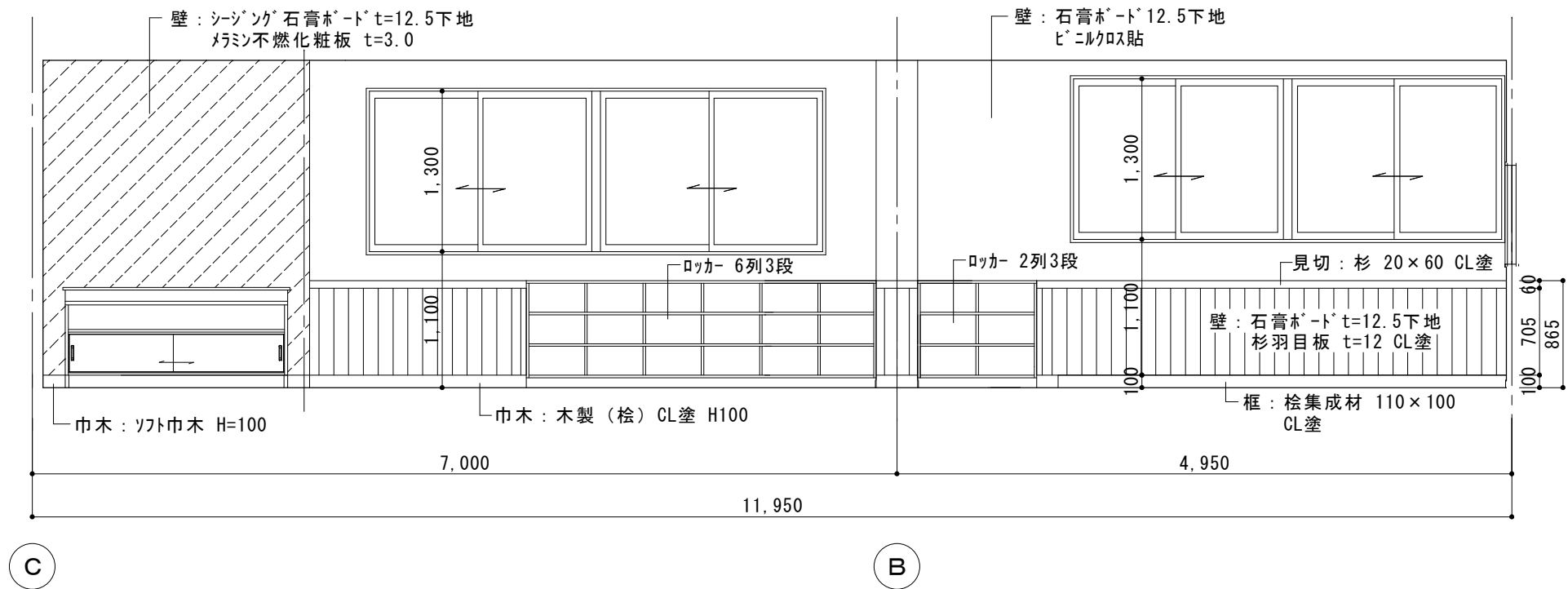




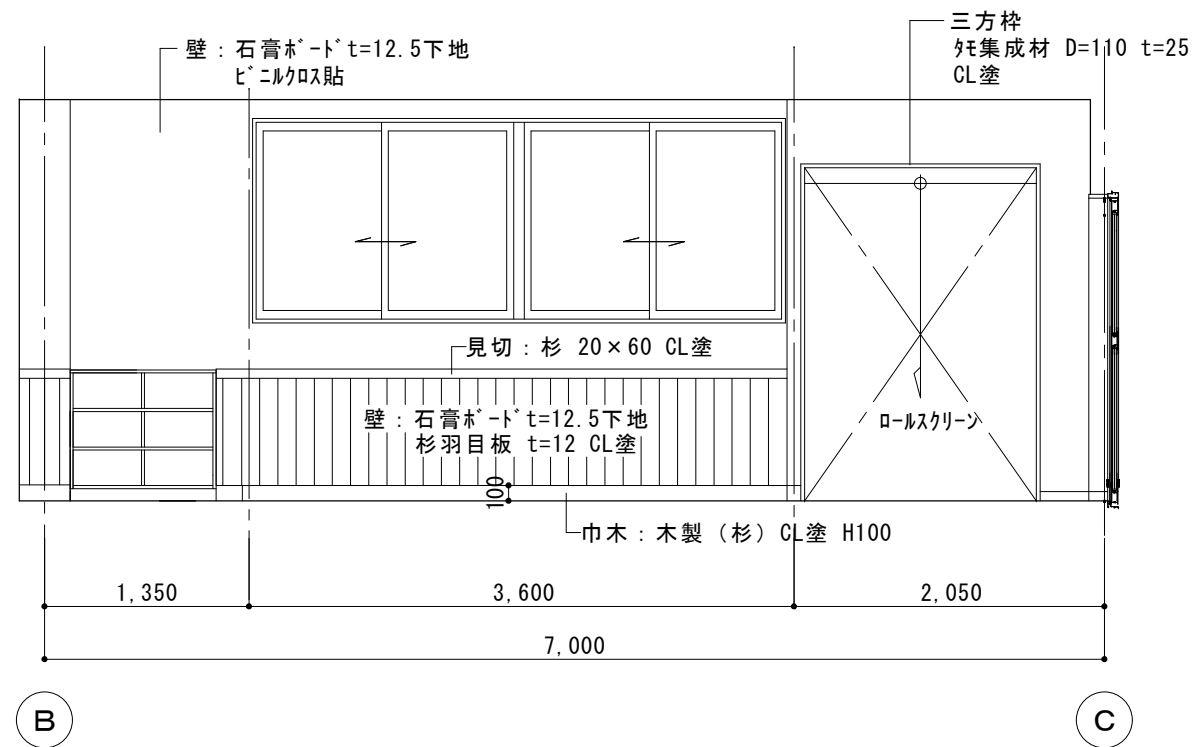
洋室、キッチン・バス、事務スペース、畳スペース



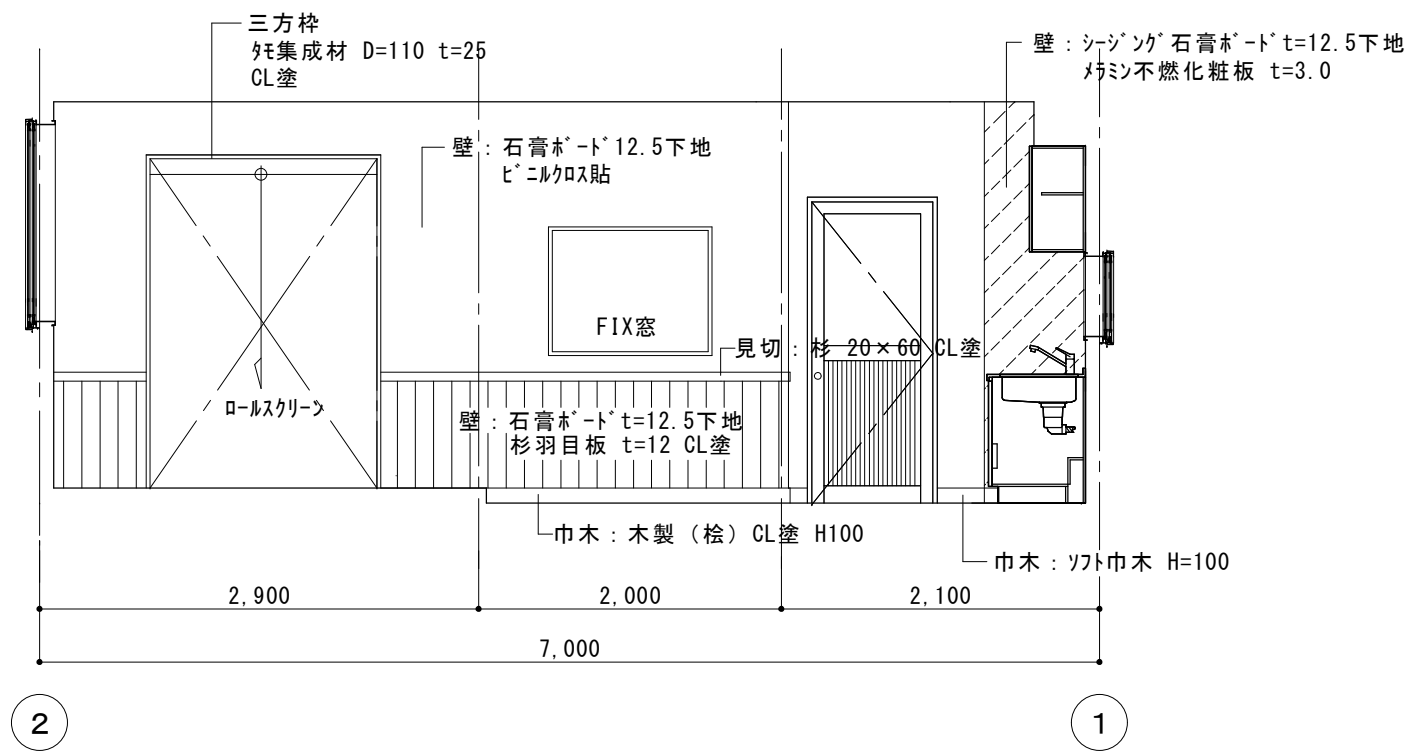
B



C




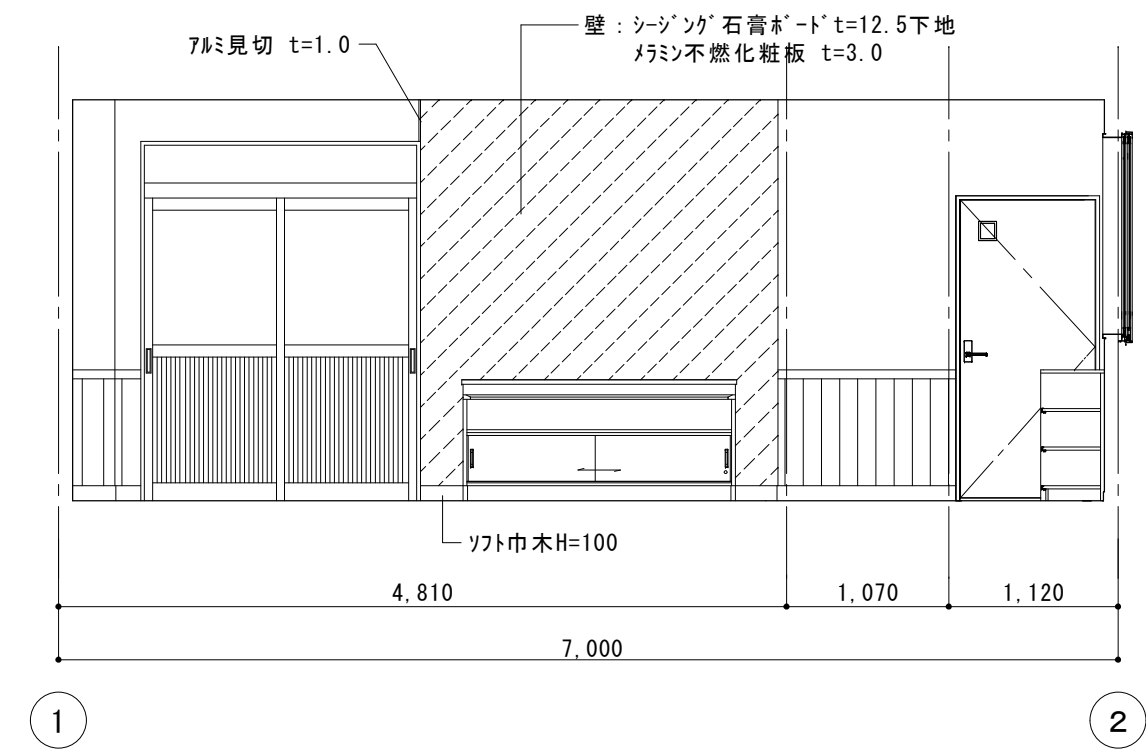
C



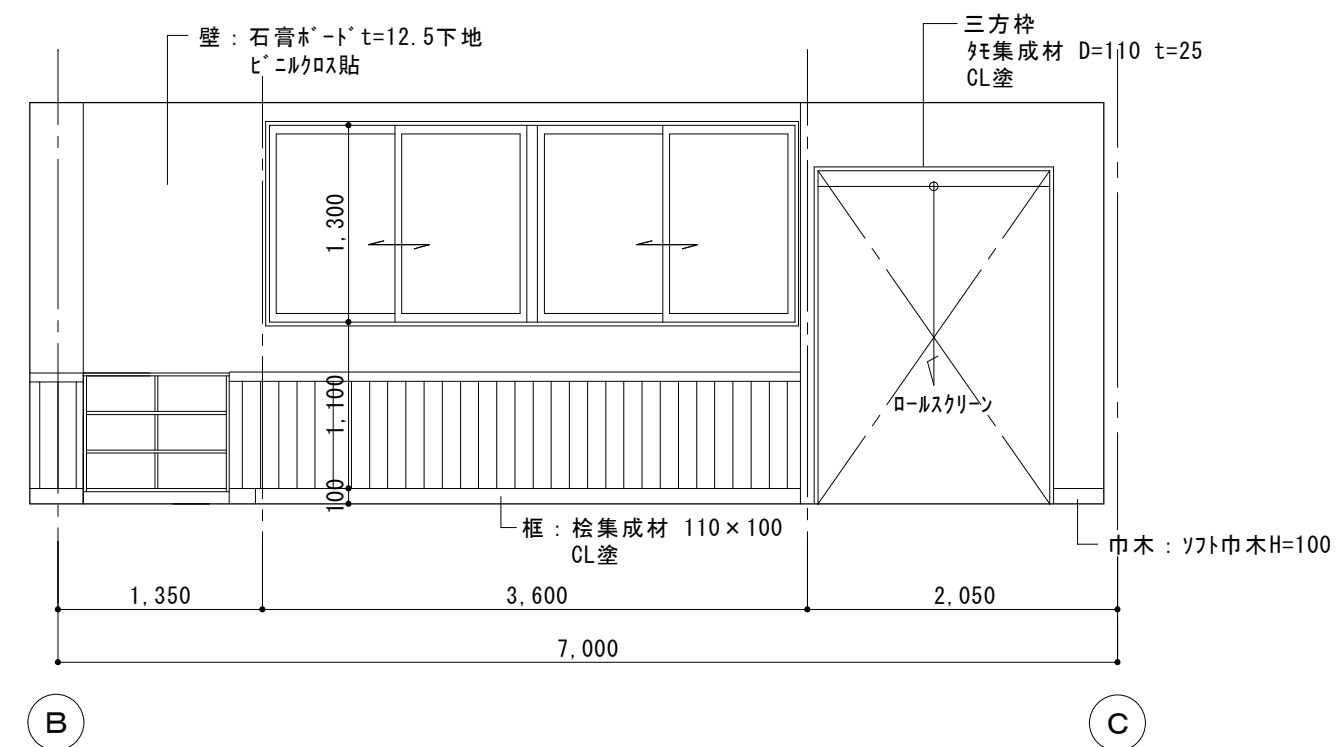
D

洋室、キッチン・バス、事務スペース、畳スペース

訂 正	月	日			 街に緑を	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2		
								一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛			製図	1 階 展 開 図 1	縮尺 1 : 50	整理No.	図面No. A - 1 9




B

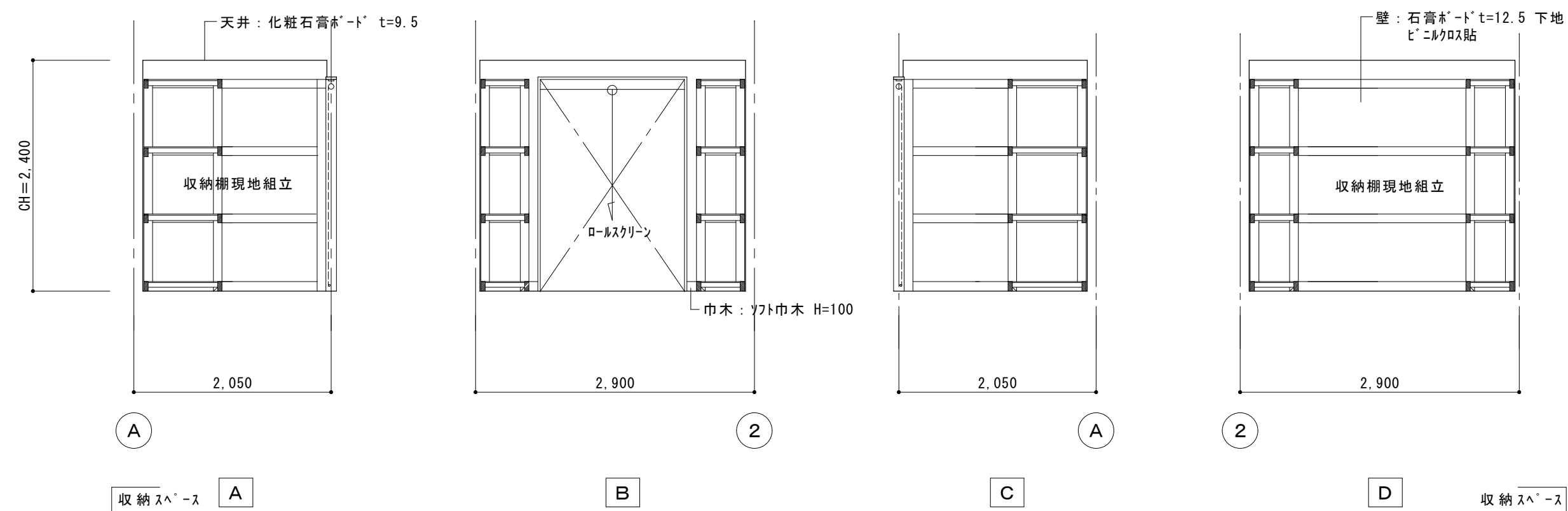
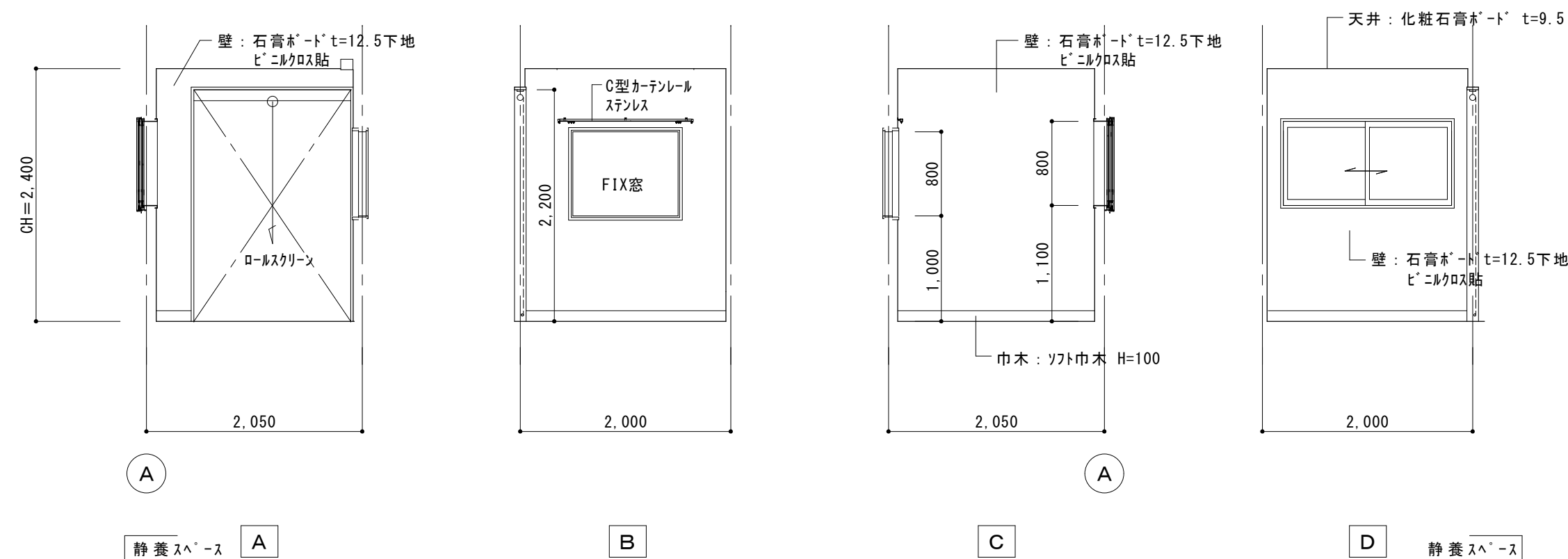
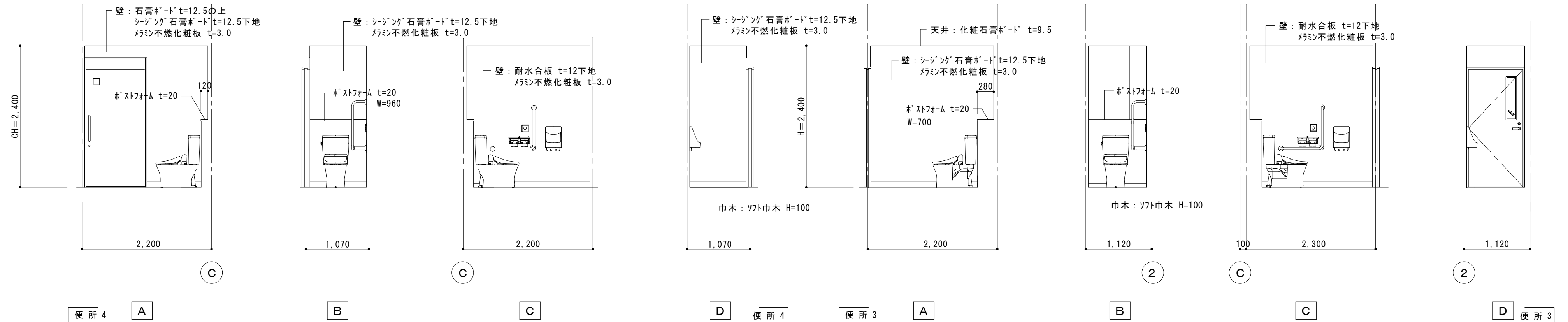



C

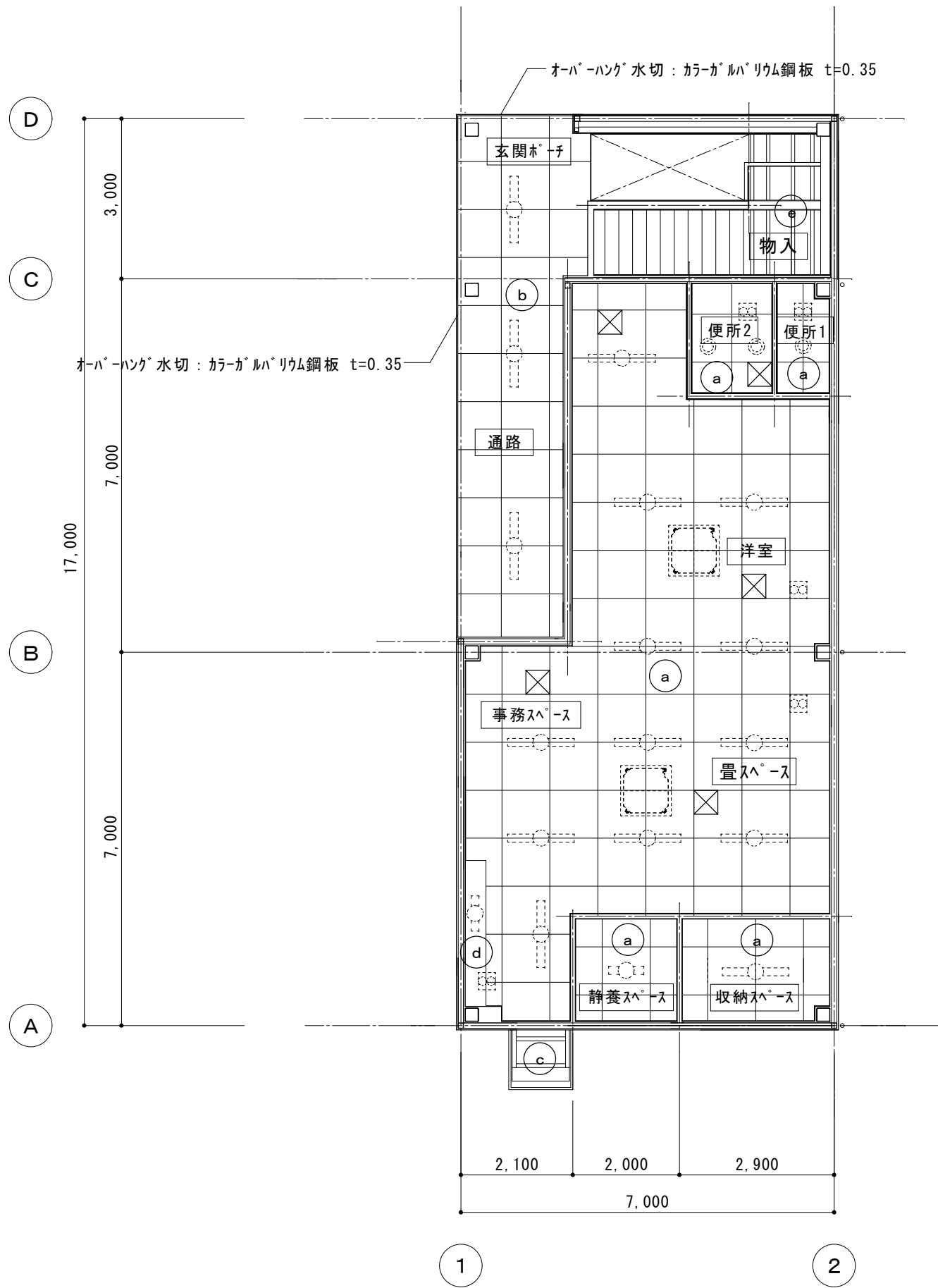


洋室. キッチンｽﾍﾟｰｽ. 事務ｽﾍﾟｰｽ. 畳ｽﾍﾟｰｽ

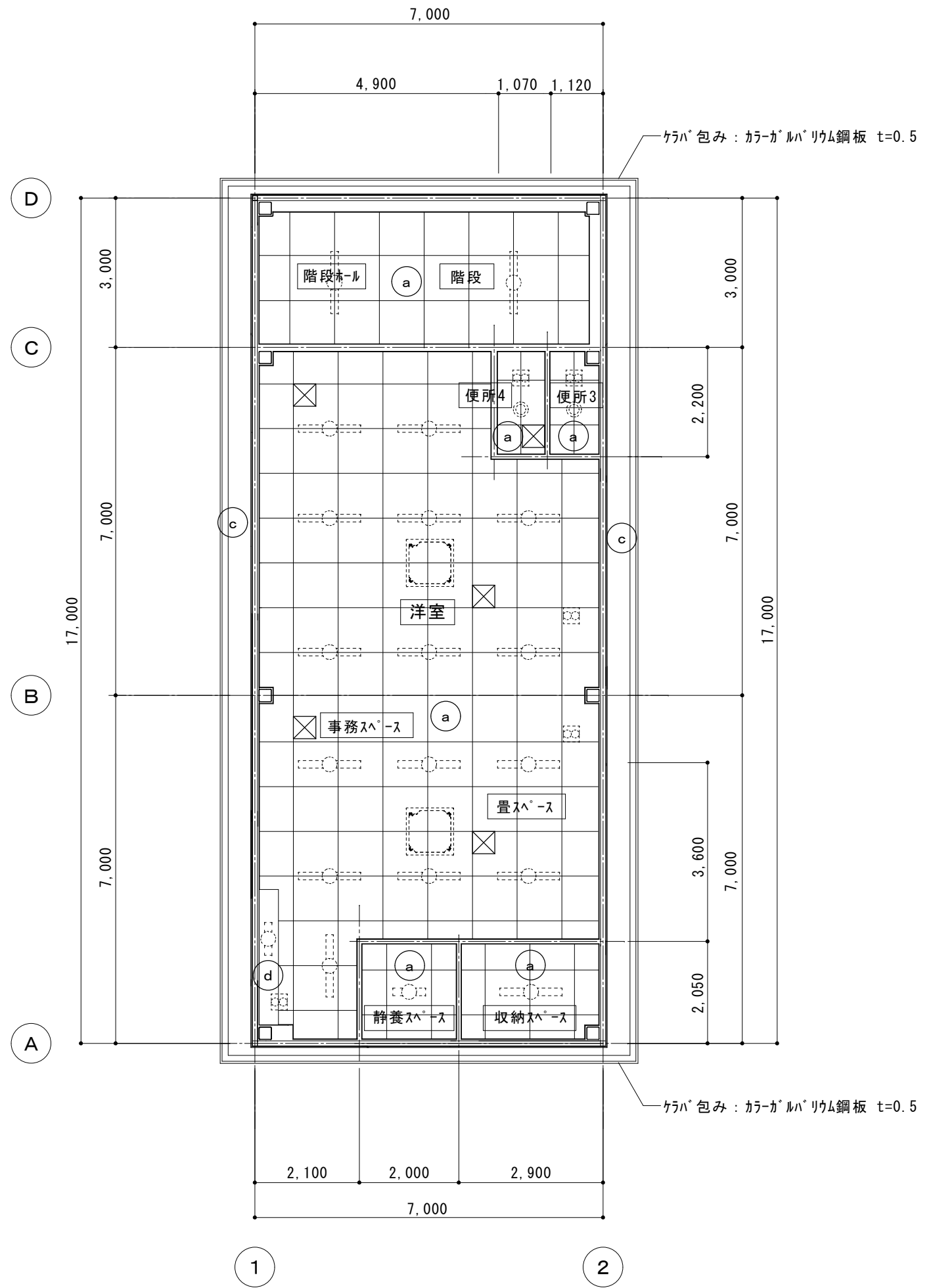
訂 正	月 日			 設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原因 : A 2	
					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	2 階展開図 1	縮尺 1 : 50	整理No.	A - 2 1
					一級建築士 第128604号 山 岡 寛							



訂 正	月 日			 街に緑を 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称 南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図：A 2	
										図面No.	A - 2 2
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛	製図 2 階展開図 2	縮尺 1 : 50	整理No.		

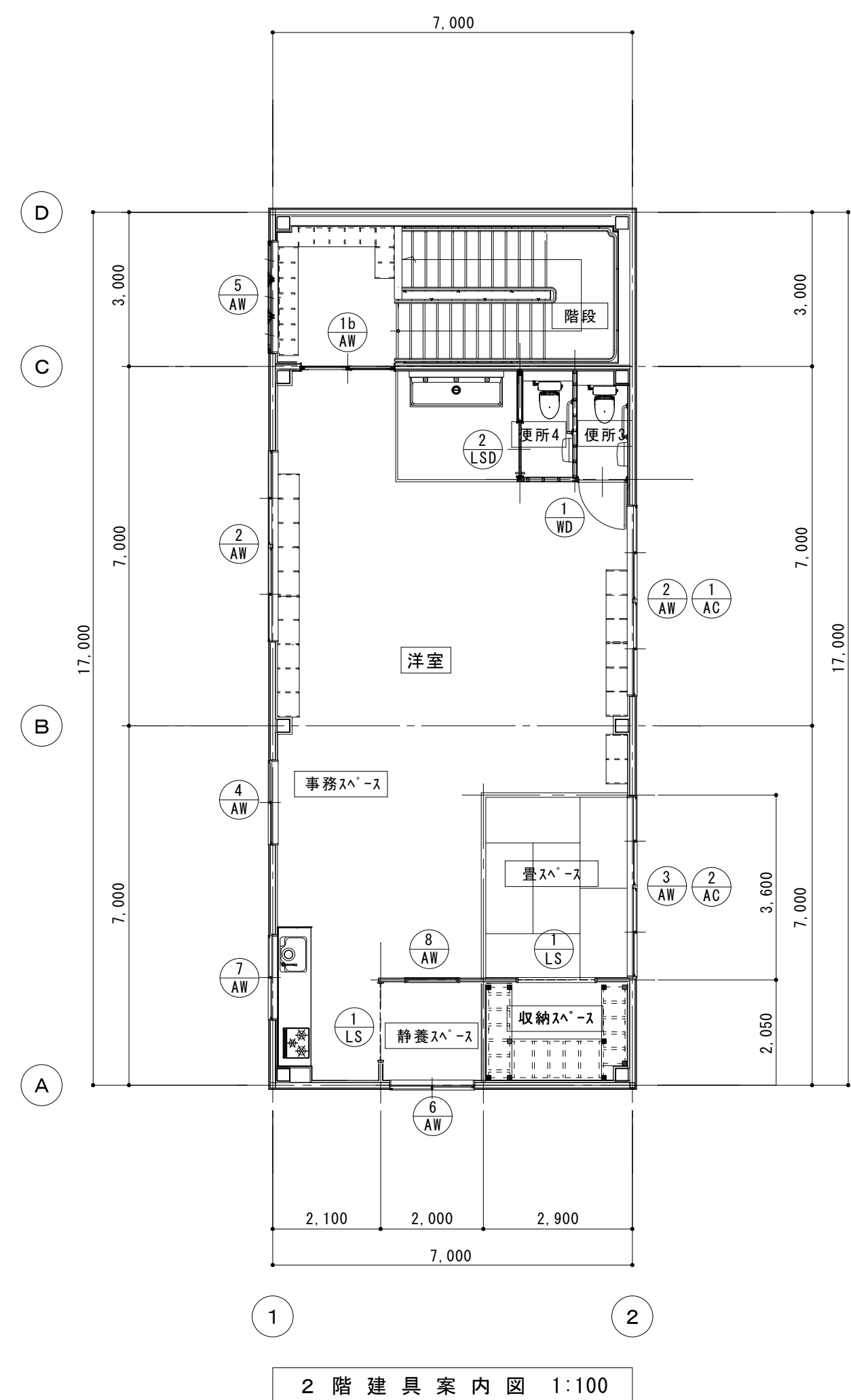


1 階 天 井 伏 図 1:100

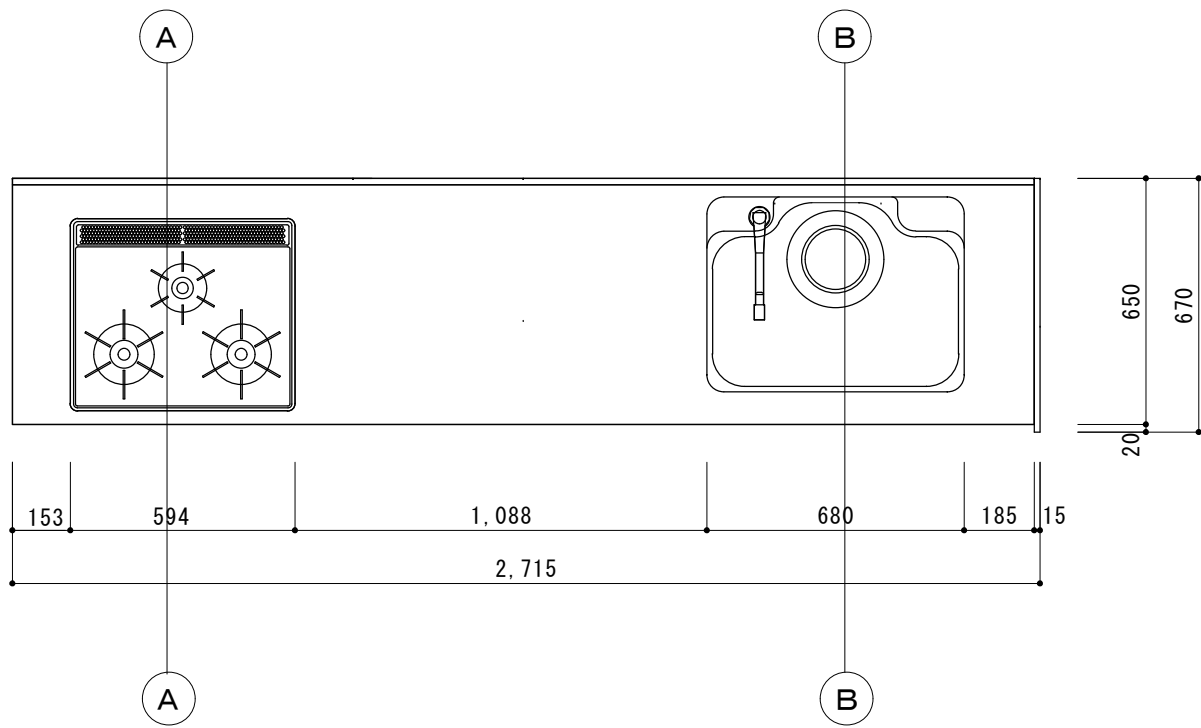


2 階 天 井 伏 図 1:100

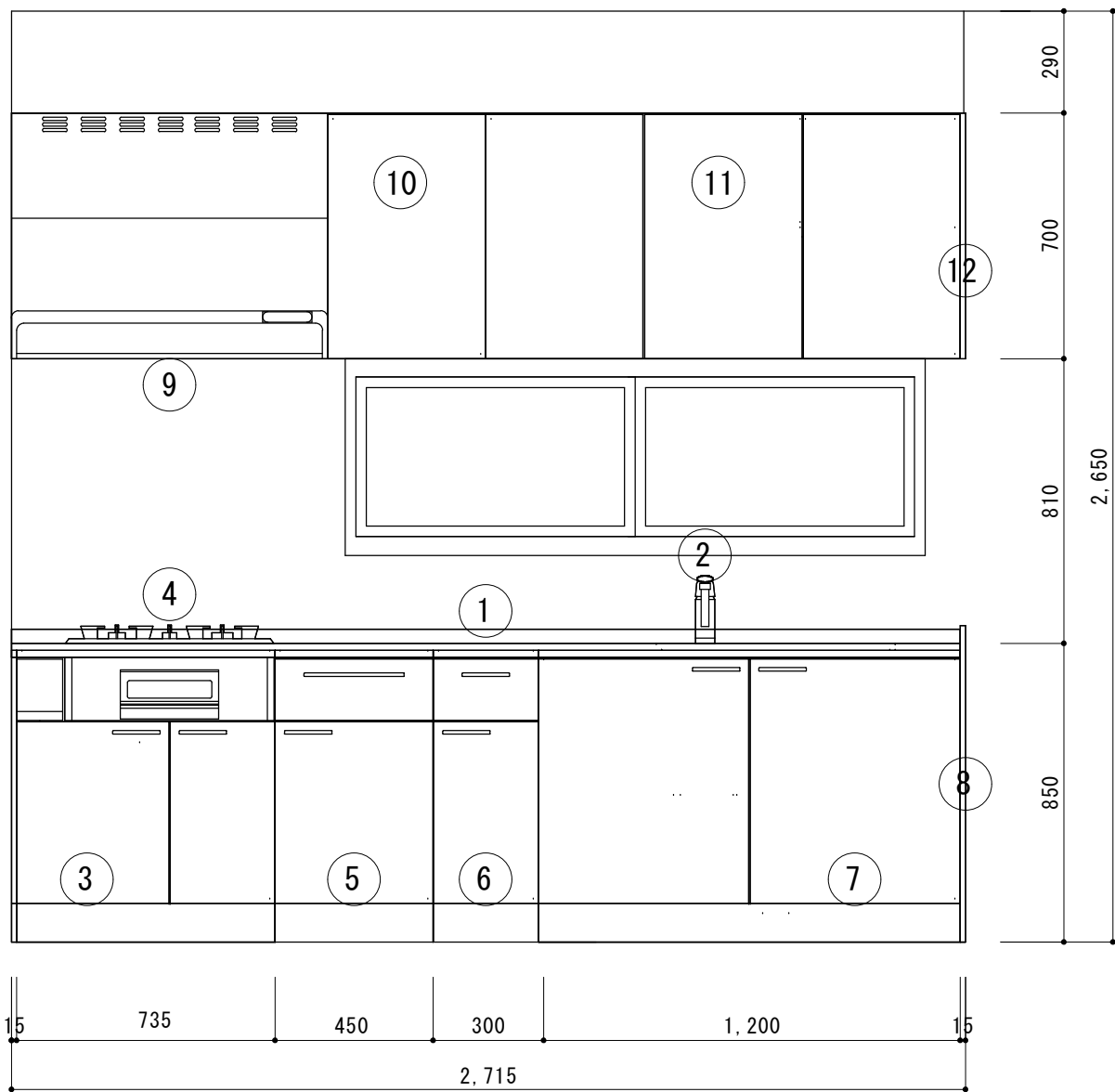
天 井 仕 上 リ ス ト	
符 号	仕 上 げ
(a)	化粧石膏ボード 900×900 t=9.5貼
(b)	ケイカル板 t=8.0 EP塗 目透貼
(c)	折板上裏・鉄骨 DP塗
(d)	レンジフード・吊戸棚
(e)	階段上裏 SOP塗
☒	天井点検口 (アルミ製450×450) 取付位置は打合せによる。



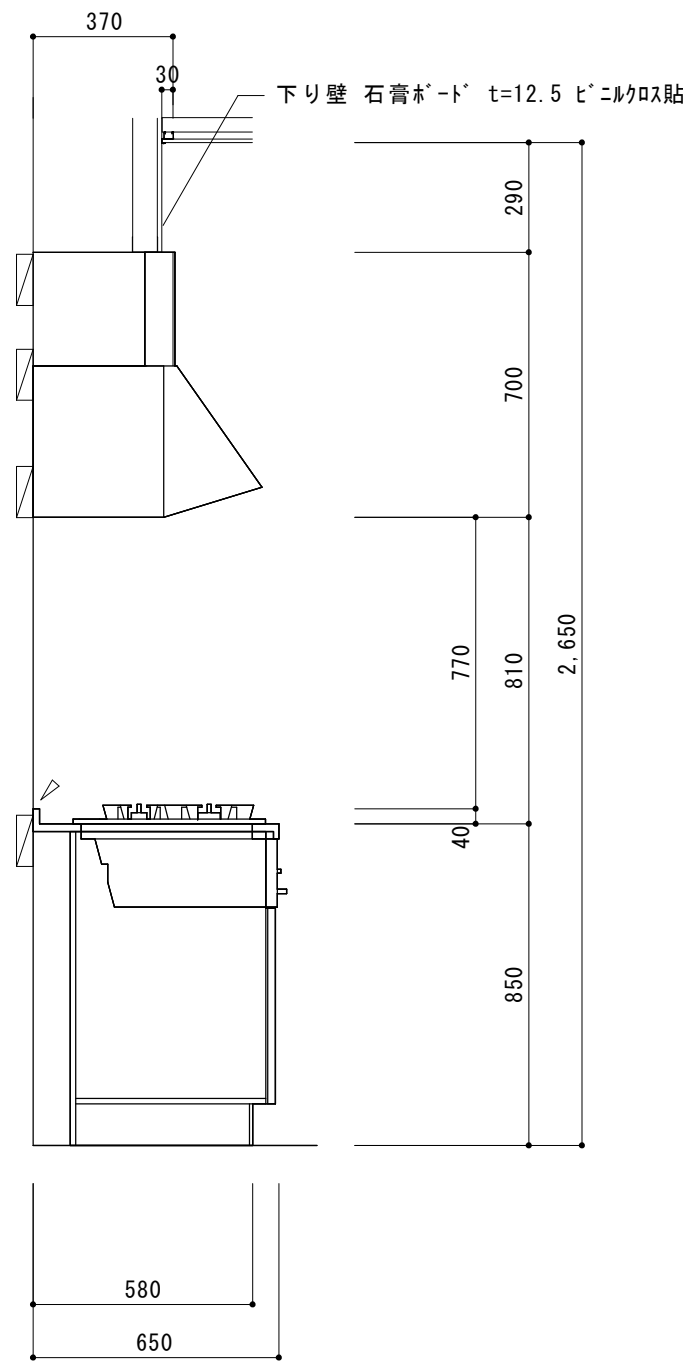
符号・型式	<div>1aAW</div> アルミ引違い戸 FIX ラン付	<div>1bAW</div> アルミ引違い戸 FIX ラン付	<div>2AW</div> アルミ引違い窓（連窓）	<div>3AW</div> アルミ引違い窓（連窓）	<div>4AW</div> アルミ引違い窓	<div>5AW</div> アルミ内倒し排煙窓（45° 開放）	<div>6AW</div> アルミ引違い窓
姿図・寸法	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>
見込・数量	701	701	703	702	702	702	702
場 所	1階洋室	2階洋室	洋室	畳スペース	事務スペース	1階洋室・2階階段ホール	静養スペース
仕 上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
硝 子	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム
金 物	引き棒 L=400 シリコン錠（内部サムターン）ステンレスフラットレール アルミハネ厚 t=3.0 付属金物一式	シリコン錠（内部サムターン）ステンレスフラットレール アルミハネ厚 t=3.0 付属金物一式	クレセント 他付属金物一式	クレセント 他付属金物一式	クレセント 他付属金物一式	オペレーター装置（ワンタッチ開閉・クランク閉鎖）壁面納り操作パネル 他付属金物一式	クレセント 他付属金物一式
備 考	アルミ額縁 プラインド 25mm		アルミ額縁 ステンレス網戸 プラインド 25mm	アルミ額縁 ステンレス網戸 プラインド 25mm	アルミ額縁 ステンレス網戸 プラインド 25mm	アルミ額縁 ステンレス網戸 プラインド 25mm	アルミ額縁 ステンレス網戸 プラインド 25mm
符号・型式	<div>7AW</div> アルミ引違い窓	<div>8AW</div> アルミFIX窓	<div>1AD</div> アルミ片開きドア		<div>1LSD</div> 鋼製片開き軽量ドア	<div>2LSD</div> 鋼製片引軽量ドア（LGS内蔵タイプ）	<div>3LSD</div> 鋼製2連動片引軽量ドア（LGS内蔵タイプ）
姿図・寸法	<div></div>	<div></div>	<div></div>		<div></div>	<div></div>	<div></div>
見込・数量	702	702	701		枠 110 扉 401	枠 137 扉 401	枠 137 扉 401
場 所	キッチン	静養スペース	勝手口		物入	便所 4	便所 2
仕 上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー		枠 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 扉 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装）芯材 ポーランドコア芯	枠 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 扉 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装）芯材 ポーランドコア芯	枠 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 扉 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装）芯材 ポーランドコア芯
硝 子	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム（遮光）	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム	強化ガラス=5.0mm（透明）飛散防止フィルム		型板ガラス t=4.0（ガラス）	型板ガラス t=4.0（ガラス）	型板ガラス t=4.0（ガラス）
金 物	クレセント 他付属金物一式	他付属金物一式	シリコン錠（握玉）内側手動開放 ステンレス丁番ドアチェック 下枠ステンレス 他付属金物一式		レバーハンドル シリコン錠 切窓 アルミ押出型材 ビットドレッシング 沓刷 ステンレス（ヘアライン仕上）他付属金物一式	ステンレス引手 樹脂製サムターン（非常開錠装置付）沓刷 ステンレス（ヘアライン仕上）他付属金物一式	ステンレス引手 樹脂製サムターン（非常開錠装置付）沓刷 ステンレス（ヘアライン仕上）他付属金物一式
備 考	アルミ額縁 ステンレス網戸				戸当（エチレンプロピレンゴム）	戸当（エチレンプロピレンゴム）	戸当（エチレンプロピレンゴム）
符号・型式	<div>1WD</div> 木製フラッシュドア		<div>1LS</div> ロールスクリーン				
姿図・寸法	<div></div>		<div></div>				
見込・数量	扉 362			4			
場 所	便所 1.3		静養スペース、収納スペース				
仕 上	ホリ合板フラッシュ		ホリパネル（標準品）				
硝 子	型ガラス t=4.0						
金 物	レバーハンドル錠（非常開錠装置付き表示錠）SUS丁番3枚吊りドアチェック ステンレス沓擦		ワンタッチピン式				
備 考			防火加工				
符号・型式	<div>1AC</div> アルミ面格子	<div>2AC</div> アルミ面格子					
姿図・寸法	<div></div>	<div></div>					
見込・数量	301	301					
場 所	2階洋室	2階畳スペース					
仕 上	アルミカラー	アルミカラー					
硝 子							
金 物	取付金物一式	取付金物一式					
備 考	縦アルミ角 28.5×20 @80 横 20×10@80	縦アルミ角 28.5×20 @80 横 20×10@80					



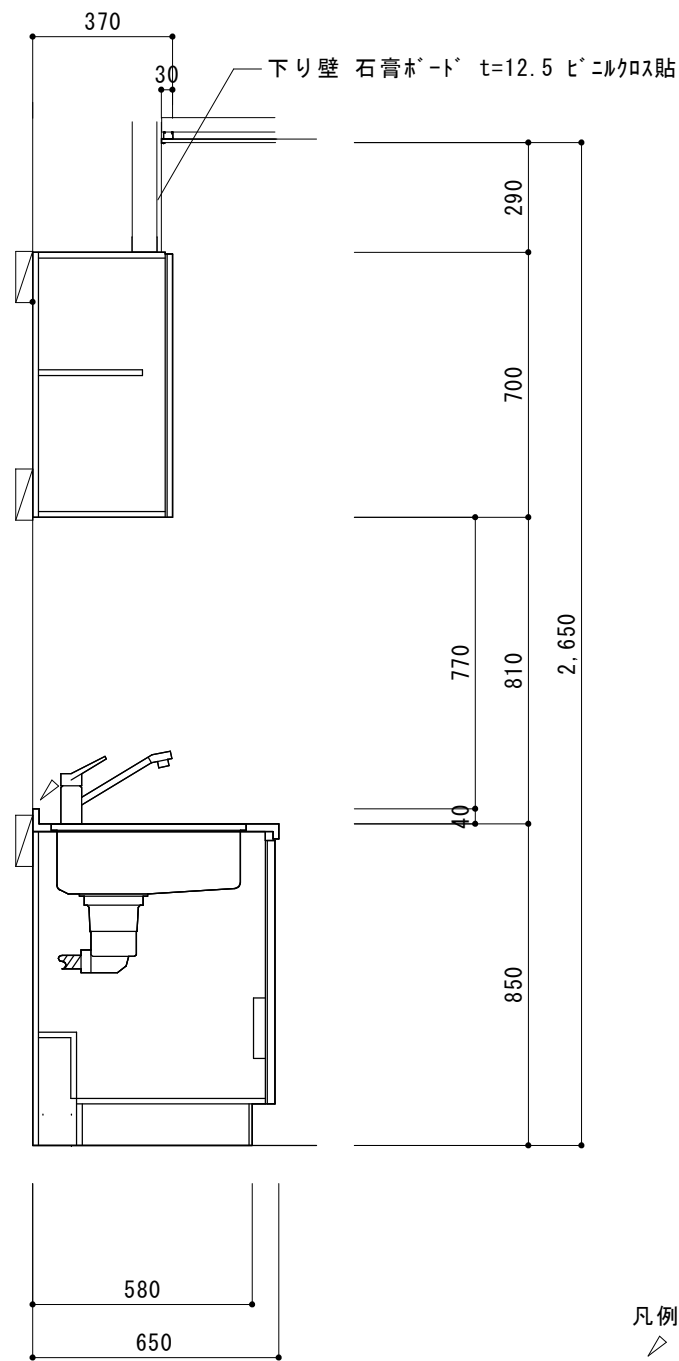
流し台・コンロ台 平面図 1:20



流し台・コンロ台 姿図 1:20



A-A 断面詳細図 1:20



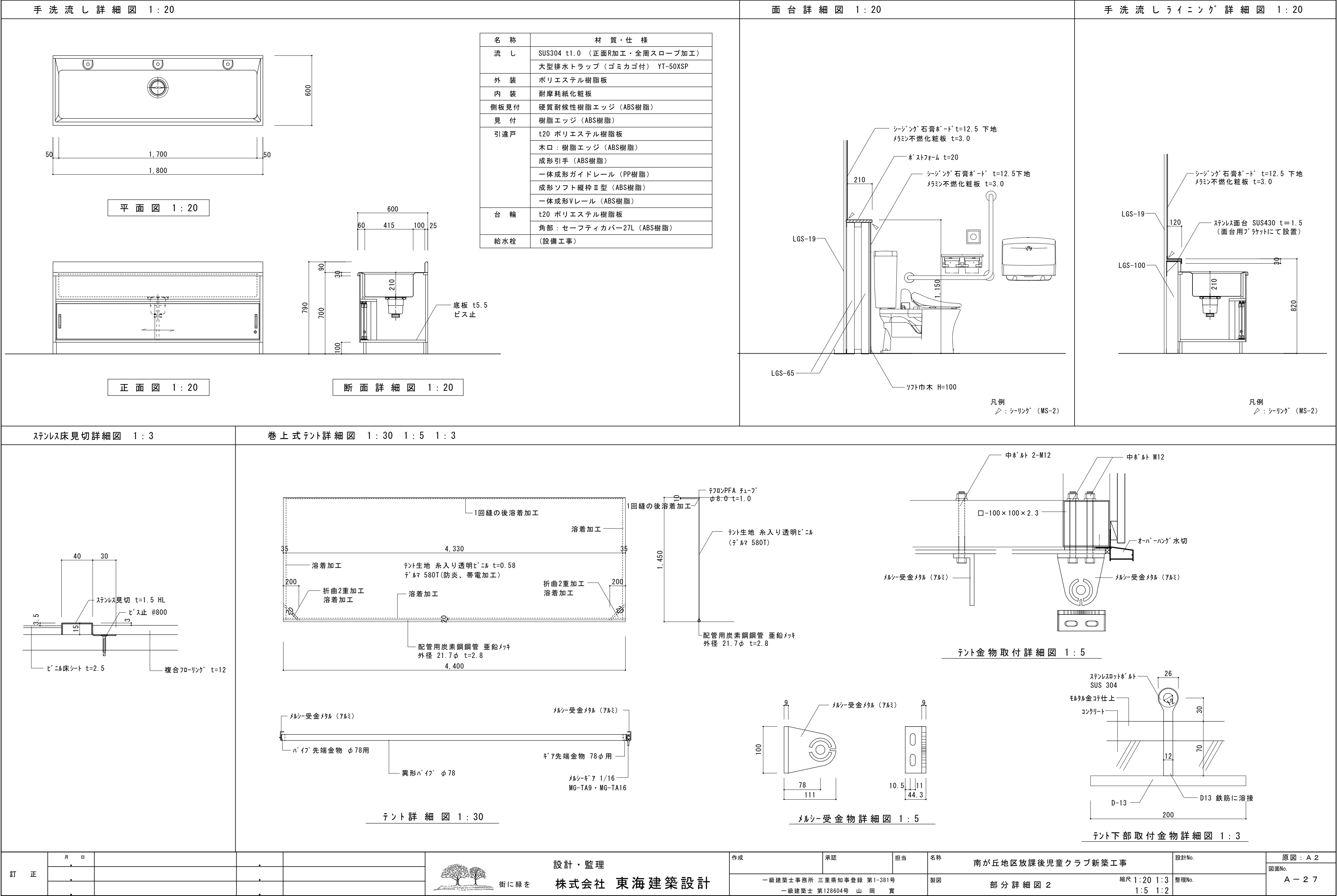
B-B 断面詳細図 1:20

凡例
／：シーリング（SR-1）

■商品概要 参考図 クリナップ シンシア 同等品

商品シリーズ	ラクエラ	
扉シリーズ	シンシア	
扉カラー	メイン色	トーンホワイト
キャビネットカラー	ホワイト	
取手種類	バー取手	
W・D・H	270cm／65cm／85cm	
トップカラー	ステンレス／コイニングドット柄	
シンク種類	ステンレスシンク（小）TUシンク／ステンス	
天井高さ	2,650mm	
開放防止部材	あり	
水栓金具	シングルレバー水栓	
引出し仕様		
調理器	ホーロートップコンロ グリル：水無片面焼き	
レンジフード	W=90cm／深型レンジフード シロッコファン	
吊戸	H=700mm	
カウンタートップ		
ガラスタイプ		

No	機能名	詳細
①	ステンレスシンク（TUシンク）	D65cm 1型ワークトップ
②	シングルレバー水栓（一般地）	水栓金具
③	開き扉・コンロ横引出前板ブラック	D65cm コンキャビネット（3口コンロ用）
④	3口コンロ 水無片面焼（フラックフェイス・フラックホーロー）	W=60 ホーロートップコンロ ガス接続口 15A（Rc 1/2）過熱防止センサー
⑤	開き扉：1段引出し	D65cm ベースキャビネット
⑥	開き扉：1段引出し	D65cm ベースキャビネット
⑦	開き扉	D65cm ベースキャビネット
⑧	ベースキャビネット用	D65cm サイド化粧板
⑨	深型シロッコファン（シルバー）	レンジフード
⑩	不燃仕様（片側）・取手レス仕様	（開放防止部品付）ミドル吊戸棚
⑪	取手レス仕様	（開放防止部品付）ミドル吊戸棚
⑫	ミドル吊戸棚	サイド化粧板



ステンレス床見切詳細図 1:3

ステンレス見切 t=1.5 HL
ビス止 @800
ビニル床シート t=2.5
複合フローリング t=12

巻上式テント詳細図 1:30 1:5 1:3

テント生地 糸入り透明ビニル t=0.58
テールマ 580T (防炎・帯電加工)

テント生地 糸入り透明ビニル (テールマ 580T)
配管用炭素鋼鋼管 亜鉛メッキ
外径 21.7φ t=2.8

テント詳細図 1:30

テント金物取付詳細図 1:5

中ボルト 2-M12
中ボルト M12
□-100×100×2.3
オーバーハング 水切
メルシー受金メタル (アルミ)

メルシー受金物詳細図 1:5

メルシー受金メタル (アルミ)

テント下部取付金物詳細図 1:3

ステンレスロッドボルト SUS 304
モルタル金コ仕上
コンクリート
D-13
D13 鉄筋に溶接

訂正

月	日			
.
.
.

街に緑を

設計・監理
株式会社 東海建築設計

作成

承認

担当

名称
南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

設計No.

原図: A 2


一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号
一級建築士 第128604号 山岡 寛

製図
部分詳細図 2

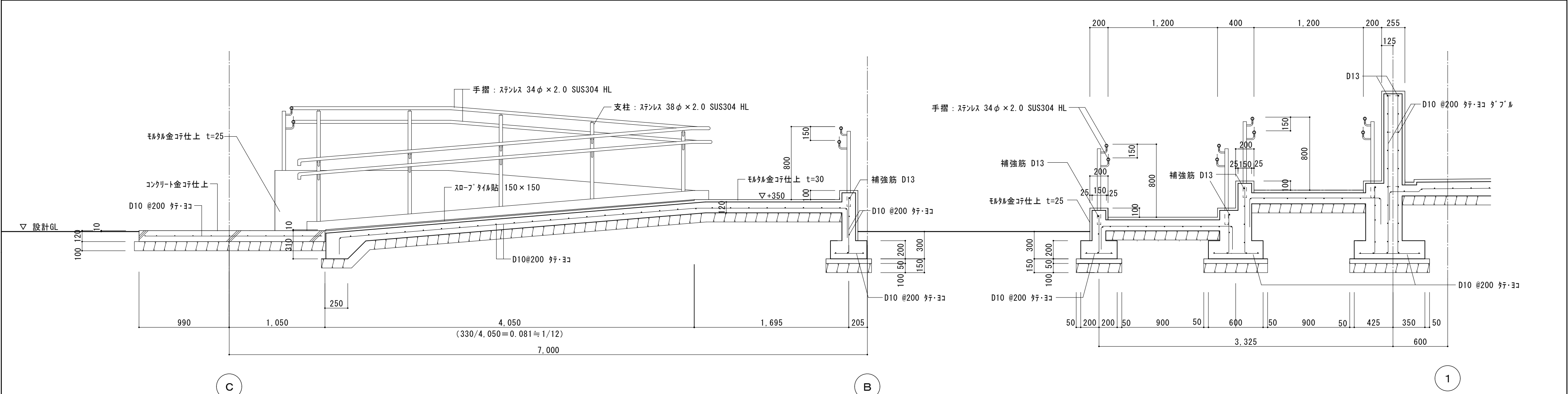
縮尺 1:20 1:3
1:5 1:2

整理No.

A-27

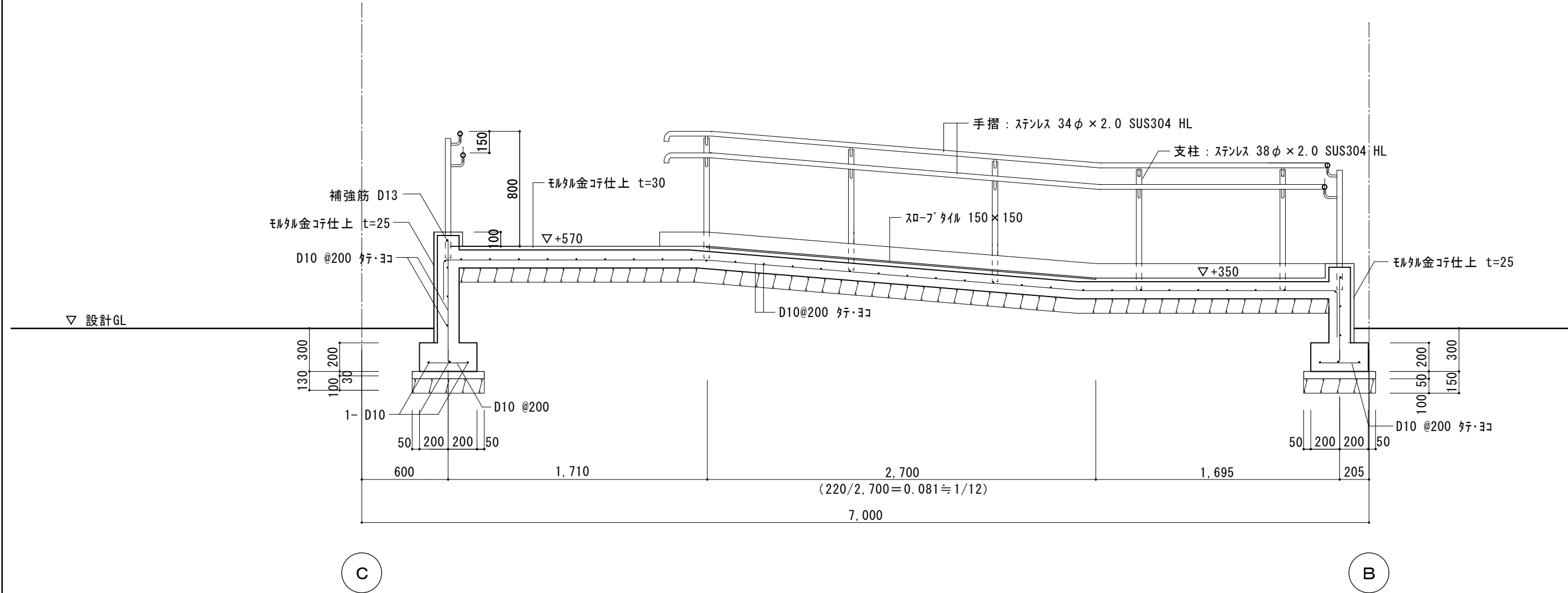
1 階 床 断 面 詳 細 図 1 : 20					腰 壁 詳 細 図 1 : 10								
<div><div><div>洋 室</div><div>畳スペース</div><div>収納スペース</div></div><div><div>複合フローリング t=12 床パネル t=20 乾式断熱二重床 (断熱材 t=30)</div><div>畳 t=55 床パネル t=20 乾式断熱二重床 (断熱材 t=30)</div><div>敷居 : 桧 55×110</div><div>三方枠 : 桧集成材 t=25 CL塗</div><div>複合フローリング t=12 床パネル t=20 乾式断熱二重床 (断熱材 t=30)</div></div><div>開口部</div></div>					<div><div><div>畳スペース</div><div>収納スペース</div></div><div><div>石膏ボード t=12.5下地 杉羽目板 t=12 CL塗</div><div>LGS-65</div><div>石膏ボード t=12.5下地 ビニルクロス貼</div><div>ソフト巾木 H=60</div><div>畳寄せ : 桧 55×32</div><div>システム根太</div></div><div>壁部</div></div> <div><div>石膏ボード t=12.5 面取加工</div><div>見切 : 杉20×60 CL塗</div><div>腰壁 : 石膏ボード t=12.5下地 杉羽目板 t=12 CL塗</div><div>面取加工</div><div>巾木 : 桧 20×100 CL塗</div><div>出隅 : 杉45×45 CL塗</div><div>端部見切 : 杉45×33 CL塗</div><div>三方枠 : 110×25</div><div>開口</div></div>								
2 階 床 断 面 詳 細 図 1 : 20					ピクトサイン参考図 1 : 5								
<div><div><div>洋 室</div><div>畳スペース</div><div>収納スペース</div></div><div><div>複合フローリング t=12 発砲プラスチック系断熱下地材 t=33 セルフレベルリング t=5~10</div><div>畳 t=55 床パネル t=20 乾式断熱二重床 (断熱材 t=30)</div><div>敷居 : 桧 55×110</div><div>三方枠 : 桧集成材 t=25 CL塗</div><div>複合フローリング t=12 床パネル t=20 乾式断熱二重床 (断熱材 t=30)</div></div><div>開口部</div></div>					<div><div><div>畳スペース</div><div>収納スペース</div></div><div><div>石膏ボード t=12.5下地 杉羽目板 t=12 CL塗</div><div>LGS-65</div><div>石膏ボード t=12.5下地 ビニルクロス貼</div><div>ソフト巾木 H=60</div><div>畳寄せ : 桧 55×32</div><div>システム根太</div></div><div>壁部</div></div> <div><div>ステンレス取付ビス</div><div>200</div><div>200</div><div>10</div><div>10</div><div>アクリル板 t=5.0 シルクスクリーン印刷</div></div>								
訂 正	月	日			<div><div><div><div></div><div>街に緑を</div></div><div>設計・監理 株式会社 東海建築設計</div></div></div>	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図 : A 2	
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	部分詳細図 3	縮尺 1:20 1:5 1:10	整理No.	図面No.
						一級建築士 第128604号 山 岡 寛							A - 2 8

1 階・2 階 収 納 ス ペ ー ス 棚 詳 細 図 1 : 30					1 階 階 段 下 物 入 棚 詳 細 図 1 : 30				
※ 平面形状については平面詳細図参照。					※ 平面形状については平面詳細図参照。				
手 洗 詳 細 図 1 : 30					足 洗 詳 細 図 1 : 30				
訂 正	月 日				設計・監理 株式会社 東海建築設計				
					作成 承認 担当 名称 南が丘地区放課後児童クラブ新築工事				
					製図 部分詳細図 5 縮尺 1 : 30				
原図: A 2					整理No. A - 3 0				

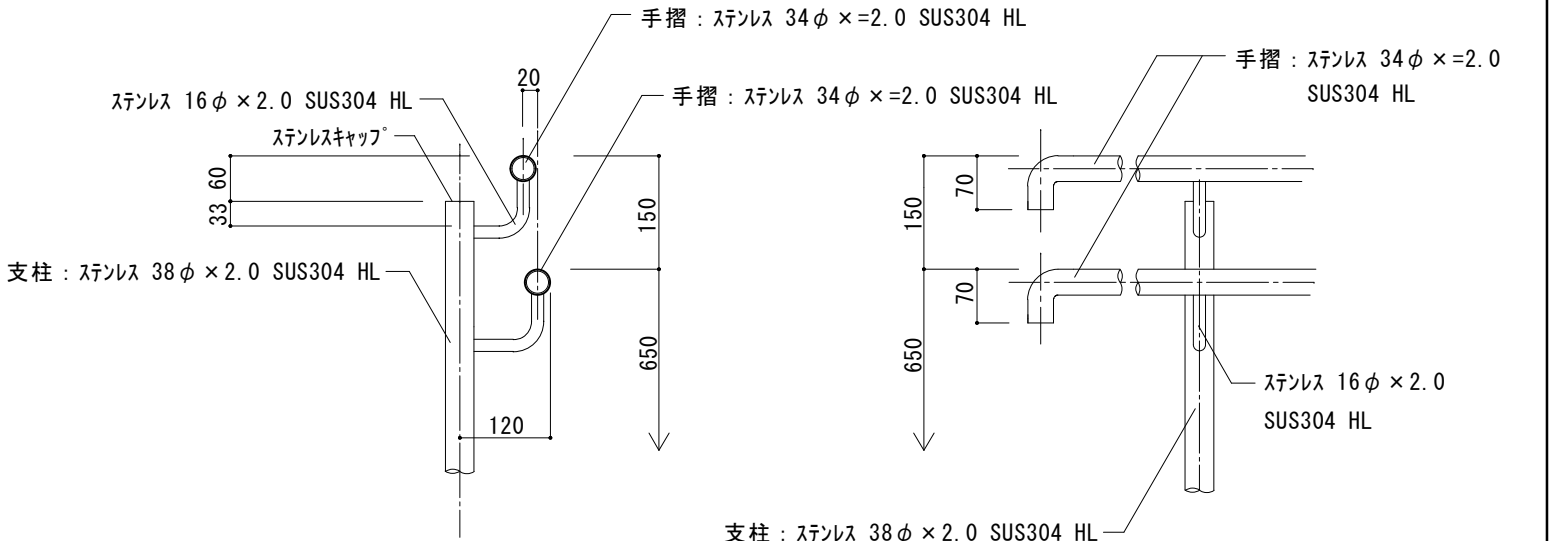


スロープ イーイ 断面詳細図 1：30

スロープ ハーフ 断面詳細図 1：30

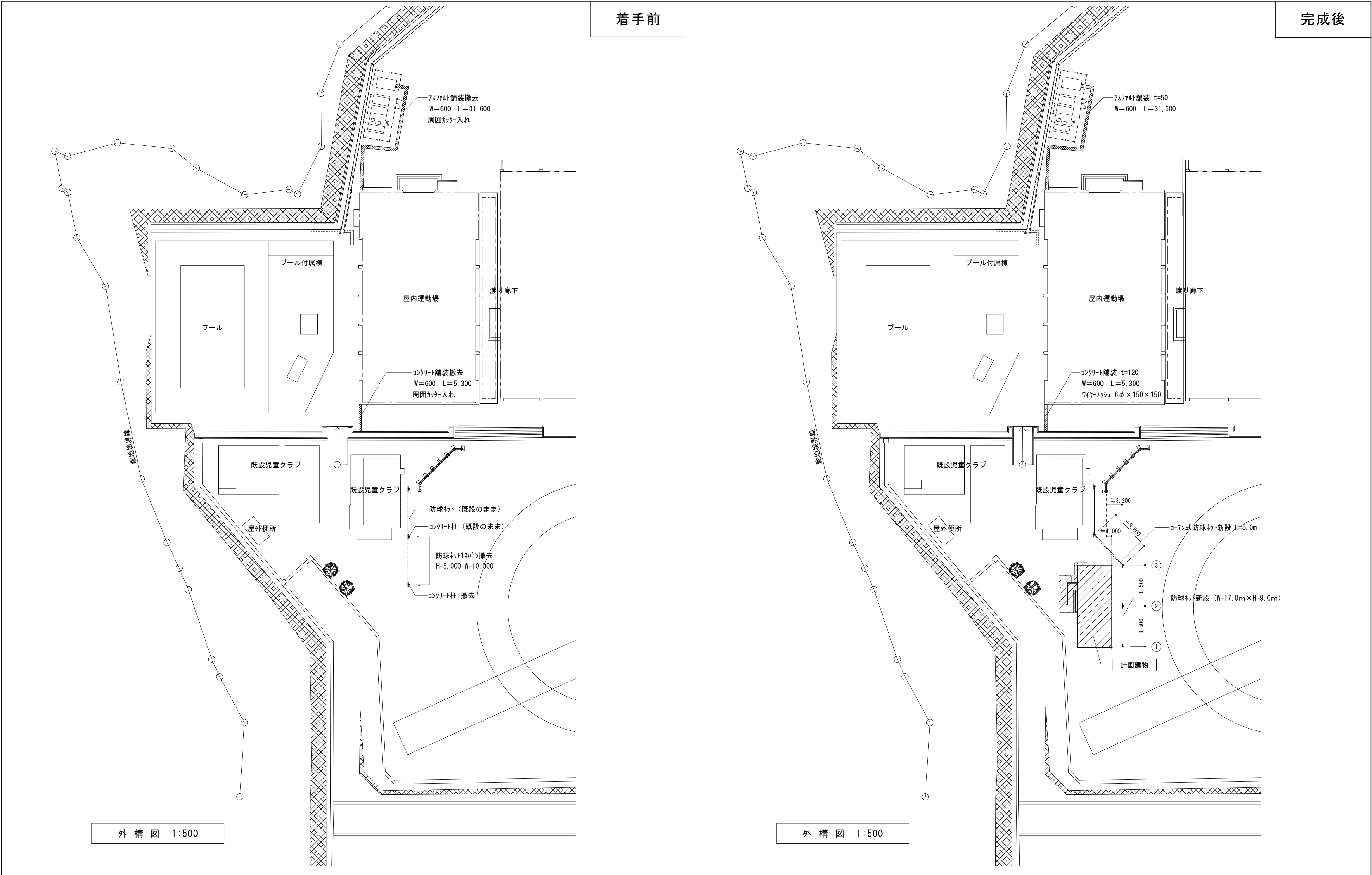



スロープ ローロ 断面詳細図 1：30

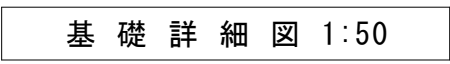
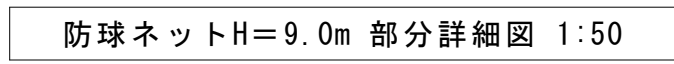
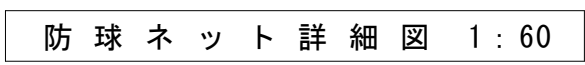



手摺 詳細図 1：10

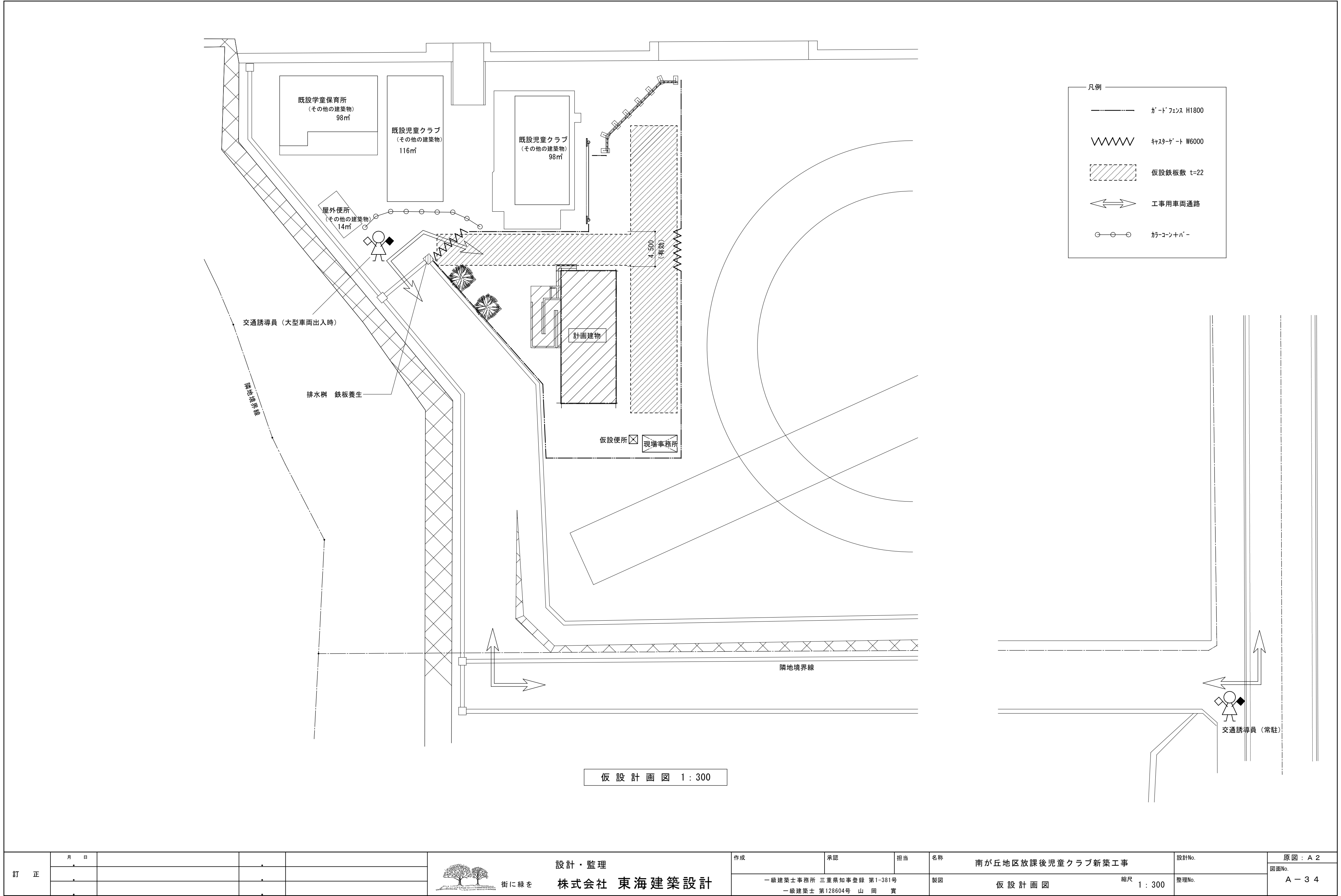
訂 正	月 日			 街に緑を 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2	
					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛			製図	部分詳細図 6	縮尺 1：30 1：10	整理No.	図面No. A - 3 1




訂正	月	日			<div><div></div><div>街に緑を</div></div>	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	設計No.	原図：A 2 図面No. A - 3 2
			一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	
			一級建築士 第128604号 山岡 寛			外構図	縮尺 1:500	整理No.



訂 正	月 日			 設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図：A 2	
					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	防球ネット詳細図	縮尺 1:60	整理No.	A - 3 3
					一級建築士 第128604号 山 岡 寛							



訂正	月	日			<div> 街に緑を 設計・監理 株式会社 東海建築設計</div>	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図：A 2
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	縮尺 1：300	整理No.	図面No.
						一級建築士 第128604号 山岡 寛			仮設計画図			A - 3 4

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）２０２０年度版

1-1
基礎

1-2
その他

2-1
鉄筋の表示記号

2-2
鉄筋の折り曲げ

2-3
鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5（2015）」に準拠

§ 1 一般事項

1. 仕様材料、工法等は構造特記仕様書による。

2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。

また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5（2015）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。

3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。

4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	・	×	∅	●	○	⊗	⊙	⊕	⊖	※	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

○フックのない場合

○フックのある場合

○本数に差がある場合

○機械式継手表示

○溶接継手表示
(ガス圧接、付き合せ溶接)

多い

少ない

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径 (D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋	SD295	D16以下	3d 以上
135°		帯筋 あばら筋 スラブ筋	SD345	D19～D41	4d 以上
			SD390	D41以下	5d 以上
90°		壁筋	SD490	D25以下	5d 以上
				D29～D41	6d 以上

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ	定着の長さ		
			一般	小梁・床スラブ	
準強度	上段 直線 L ₂ 下段 フック付き L ₂ h, La	上段 直線 L ₂ 下段 フック付き L ₂ h, La	上端筋	下端筋	
SD295 SD345 ①はSD345を示す	18	45d (50d) 35d	40d 30d, 20d	15d (20d)	L _a =20d L ₃ h=10d 床スラブの場合 L _a =10d かつ 150以上
	21	40d (45d) 30d	35d 25d, 15 (20)d		
	24～27	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20 (25)d, 15 (20)d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d, 15d		
	39～45	30d (35d) 20d (25d)	25d (30d) 15d (20d), 15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d, 15d		
SD390 (SD490) ①は適用外	21	50d (－) 35d (－)	40d (－) 30d (－), 20d (－)	20d (－)	SD490は適用外
	24～27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30 (35)d, 20 (25)d		
	30～36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25 (30)d, 20 (25)d	15d (－)	
	39～45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25 (30)d, 15 (20)d		
	48～60	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20 (25)d, 15 (20)d		

一般定着の直線L₂またはフック付のL₂h, La, Lbの図

直線定着

90°フック付き定着

135°フック付き定着

180°フック付き定着

1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL₂hは仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。

2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

2-4
継手一般

2-5
鉄筋のフック

2-6
鉄筋のあき

2-7
かぶり厚さ

3-1
主筋の継手

3-2
主筋の定着

3-3
帯副帯筋

3-4
補助筋

3-5
柱のコンファインド補強

4-1
主筋の継手

4-2
主筋の定着及び余長
外柱

中柱

4-3
あばら筋副あばら筋

補強する柱は設計図書による。(柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。)

a スパイラル帯筋 @60～75 (有効間隔50程度)

b 溶接閉鎖型帯筋 @60～75 (有効間隔50程度)

§ 4 梁

○印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平12第1463号 使用基準参照) 溶接継手の場合でも柱面より500以上はなすこと。

○定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

○第一帯筋 (D13以上使用の事) は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。

○帯筋の加工は下図による。

○第一帯筋 (D13以上使用の事) は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。

○帯筋の加工は下図による。

○スパイラル筋の末端処理及び継手は下記の通りとする。

1. 末端は1.5巻き以上の添巻きをし、図aのフックをつける。

2. 重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。

○第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。

○あばら筋の加工は下図による。

② ③ ⑤ ⑥ ⑨ は同時打込みのスラブ付の場合に限る。

○⑨ ⑩ は梁成の大きい場合。

○① はピッチ2pで交互配置とする。

○135°フックは180°フックでも可とする。

○溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL₂とする。

⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。

※柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

訂正

月

日

設計・監理

株式会社 東海建築設計

作成

承認

担当

名称

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

設計No.

原図：A 2

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号

一級建築士 第128604号 山岡 寛

製図

縮尺

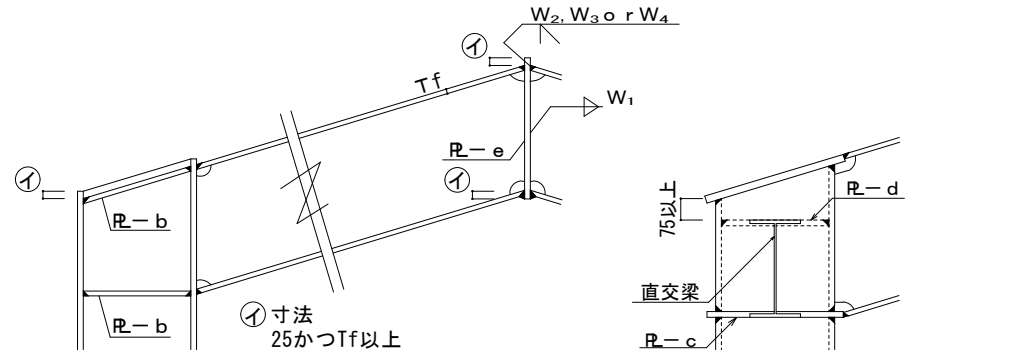
整理No.

S-02

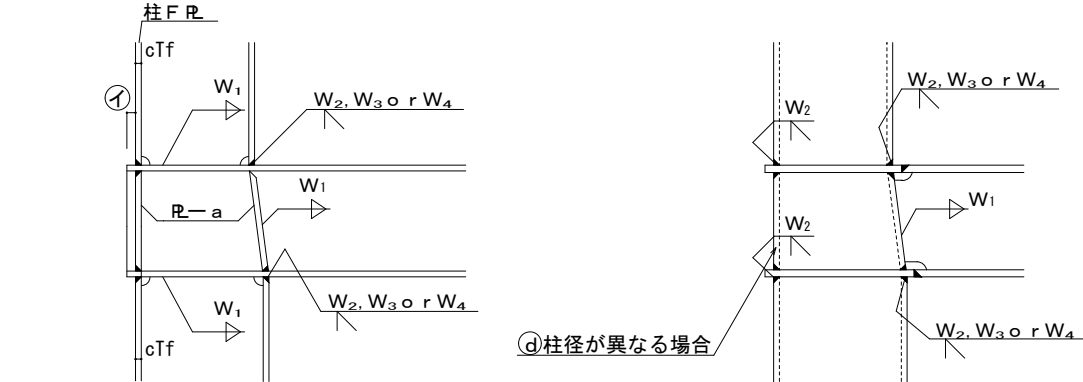
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） 2020年度版													
4-4 補助筋													
4-5 小梁及び片持梁													
a) 小梁継手													
定着													
b) 片持梁定着継手													
4-6 基礎梁及び基礎小梁													
a) 基礎梁の継手及び定着													
b) 基礎小梁の継手及び定着													
4-7 梁の貫通補強													
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着													
5-2 継手													
5-3 片持ちスラブ													
5-4 補強筋													
6-1 定着及び継手													
6-2 壁配筋													
6-3 補強筋													
7-1 独立基礎													
7-2 杭基礎													
7-3 べた基礎継手及び定着													
7-4 基礎と基礎梁													
8-1 階													
8-2 土間コンクリート													
8-3 打増し補強													
8-4 増築予定													
§ 8 その他													
§ 5 スラブ													
§ 6 壁													
§ 7 基礎													
§ 8 その他													
訂正													

§ 6 柱梁接合部および継手

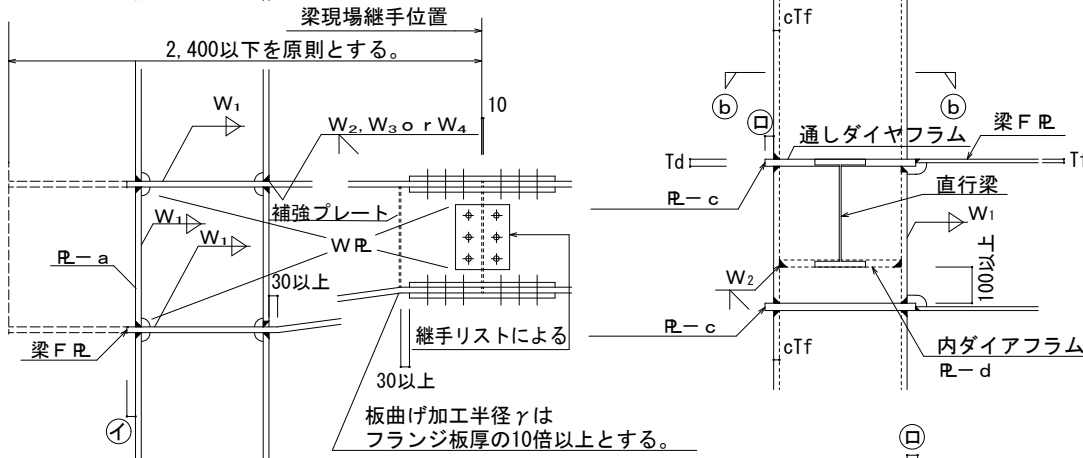
6-1
勾 配 屋 根



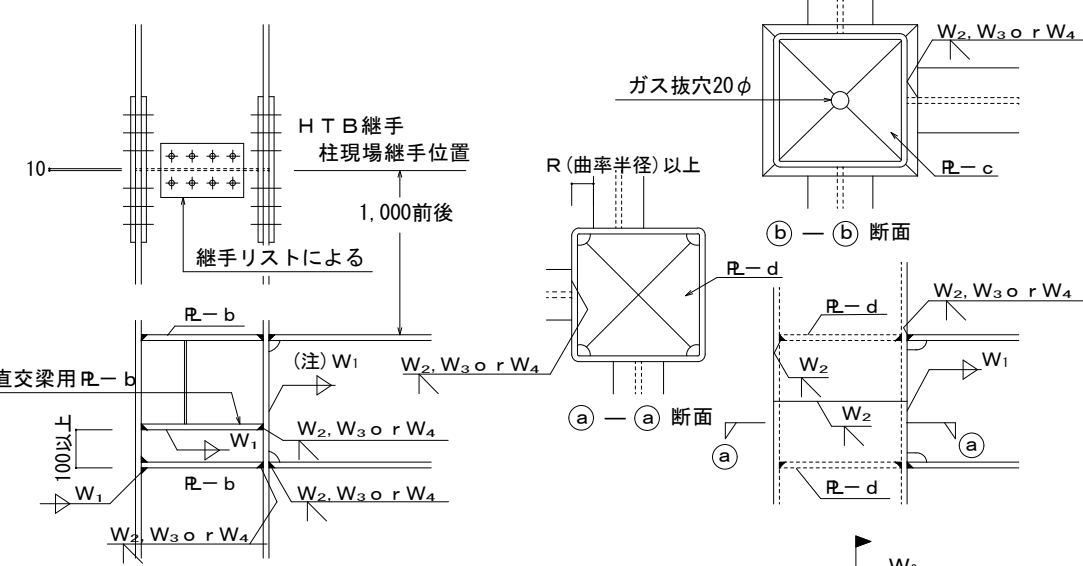
6-2
梁 通 し



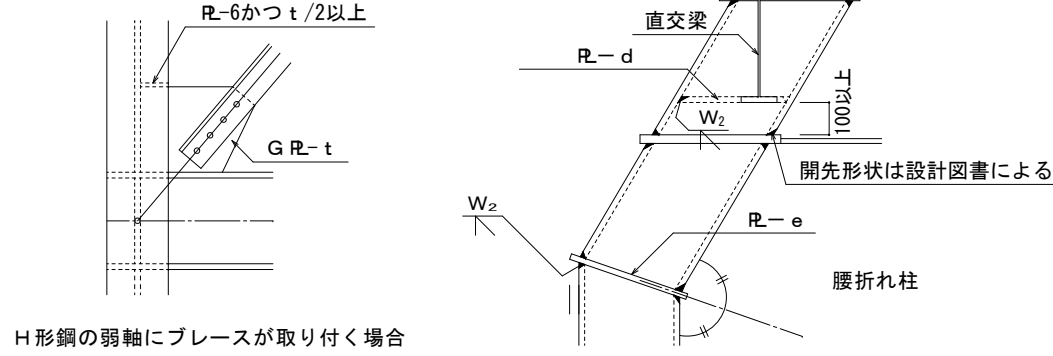
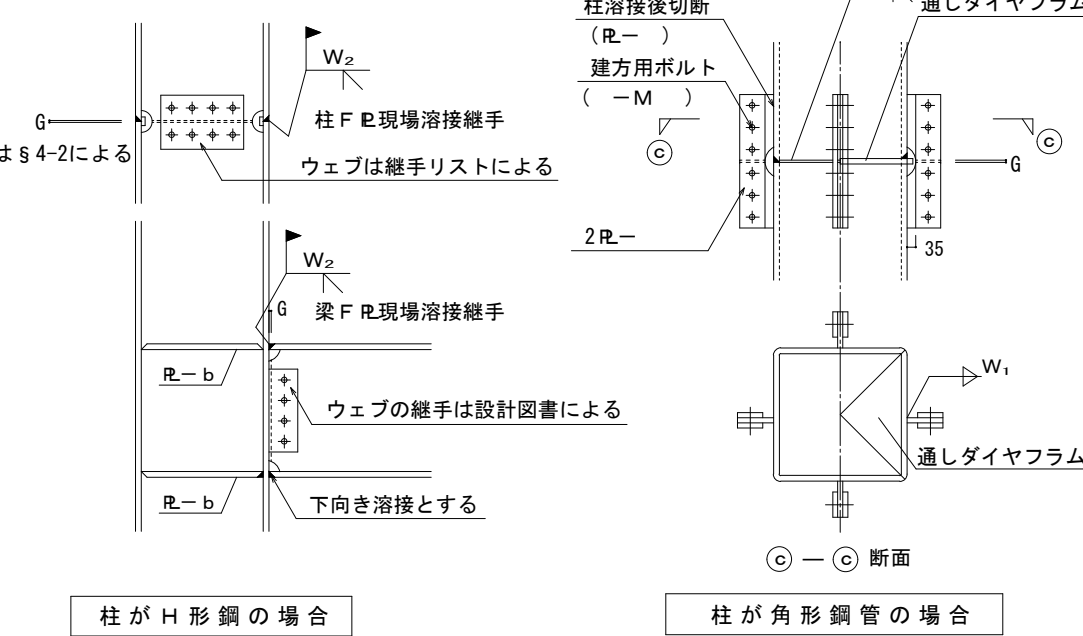
6-3
仕 口 と 継 手



6-4
柱 通 し



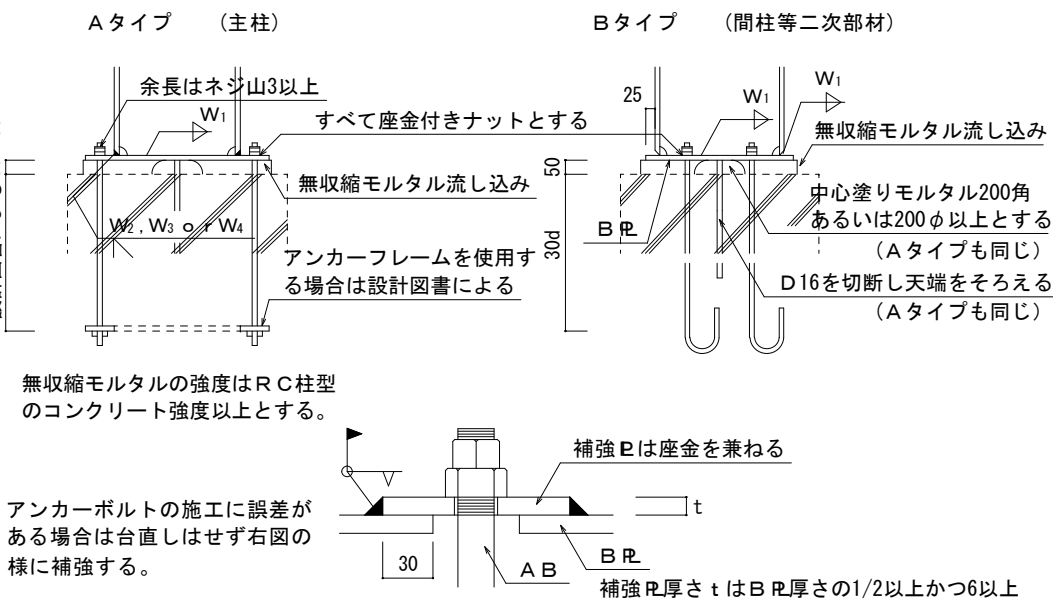
6-5
現場溶接継手



柱がH形鋼の場合 柱が角形鋼管の場合

- 1) パネルゾーンのRの厚さ
1. R-a (鉛直スチフナ)
 2. R-b (水平スチフナ)
 3. R-c (通しダイヤフラム)
 4. R-d (内ダイヤフラム)
 5. R-e (折れ曲がり部)
- 上下柱のF Rの厚い方より1サイズUP以上
仕口部に集結する梁の最大F Rより1サイズUP以上
仕口部に集結する梁の最大F Rより2サイズUP以上かつ柱のF R以上
仕口部に集結する梁の最大F Rより2サイズUP以上
梁(柱)のF Rより1サイズUP以上
- 2) 出寸法
- ① 25mmかつcTf以上
② cTf ≤ 25の場合 25
cTf ≥ 28の場合 30
- 3) 注記
1. ダイヤフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。
 2. d (6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
 3. ハンチ部でF Rを折曲げる場合はR ≥ 10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 4. ダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイヤフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
 5. 現場溶接を行う場合は工事監理の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

§ 7 柱 脚

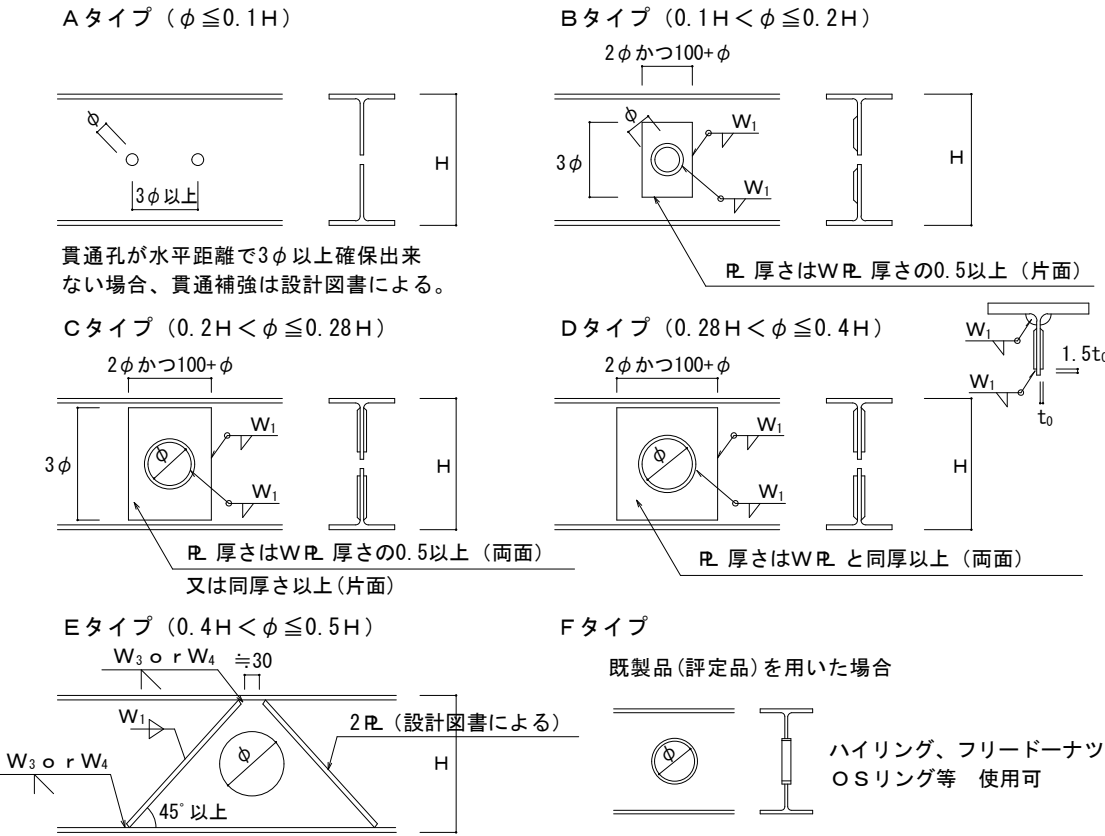


§ 8 壁面ブレース

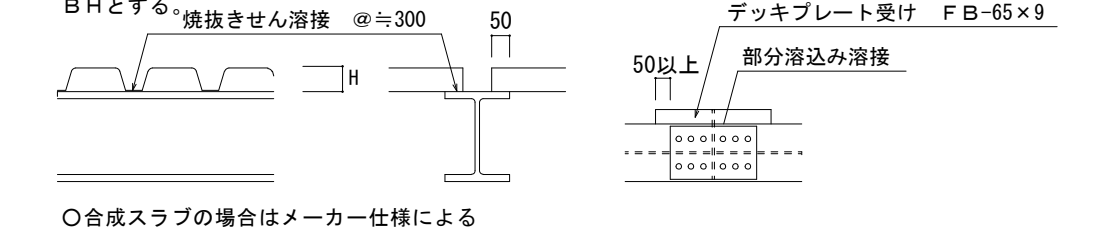


§ 9 その他

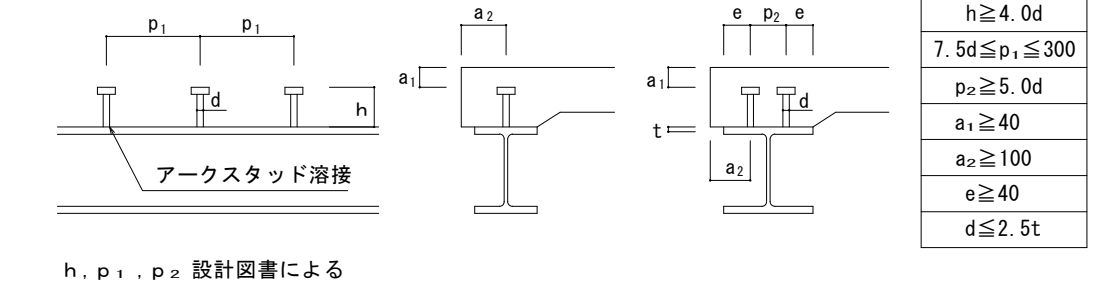
9-1
貫 通 補 強



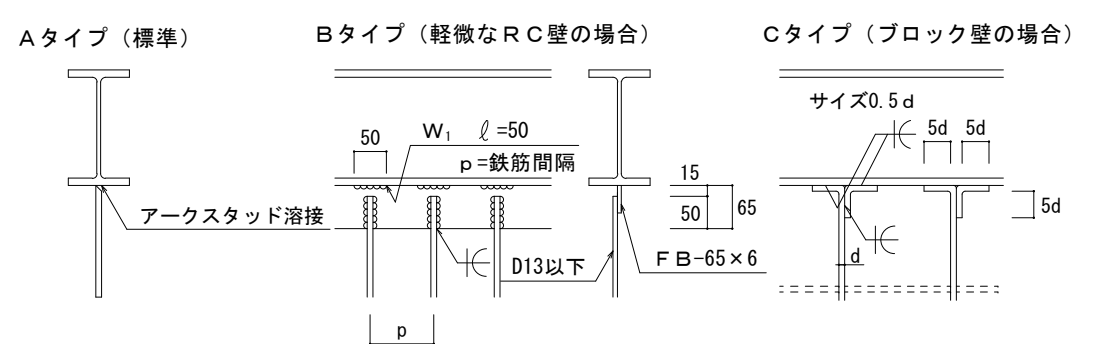
9-2
デッキプレート



9-3
スタッドジベル



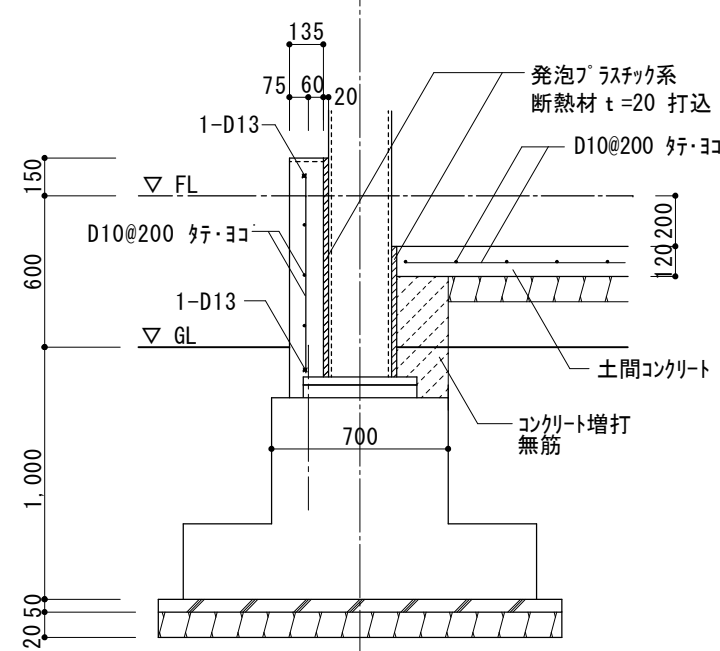
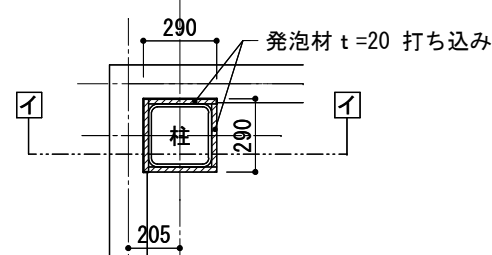
9-4
壁 筋 の 溶 接



9-5
そ の 他

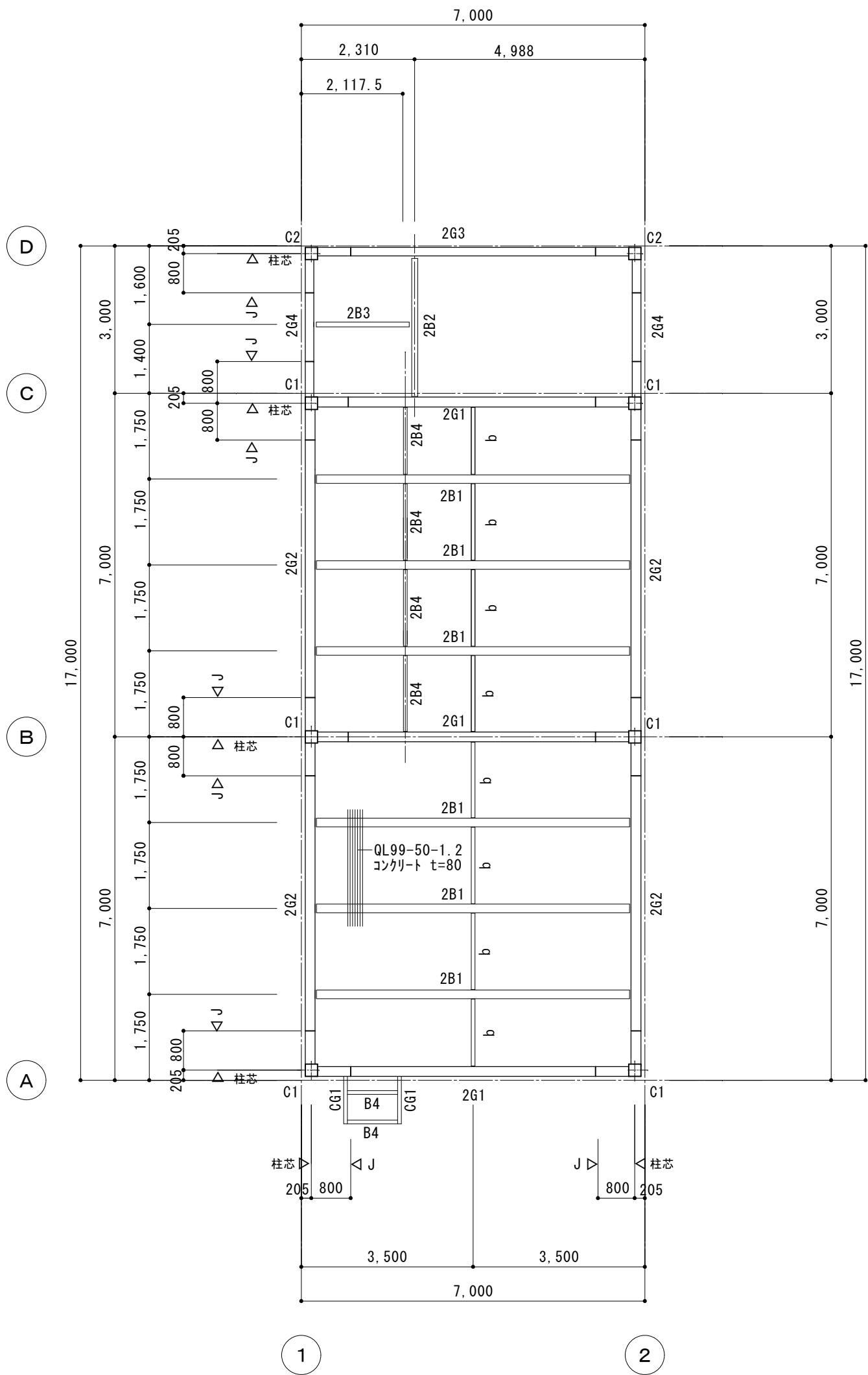


設計地耐力 $=f_e = 200\text{kN/m}^2$ (長期)

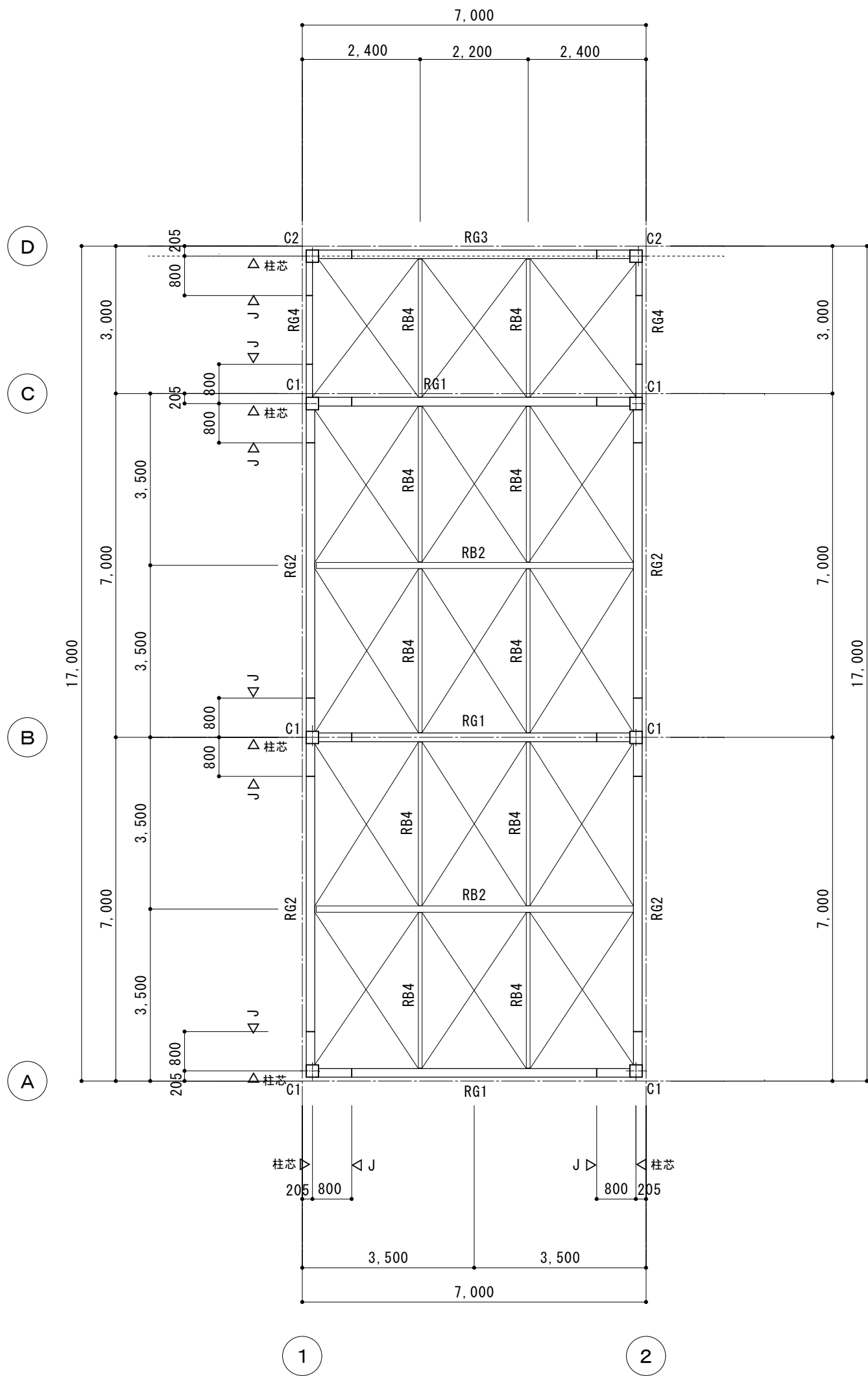


基礎立上り断面図 1 : 30

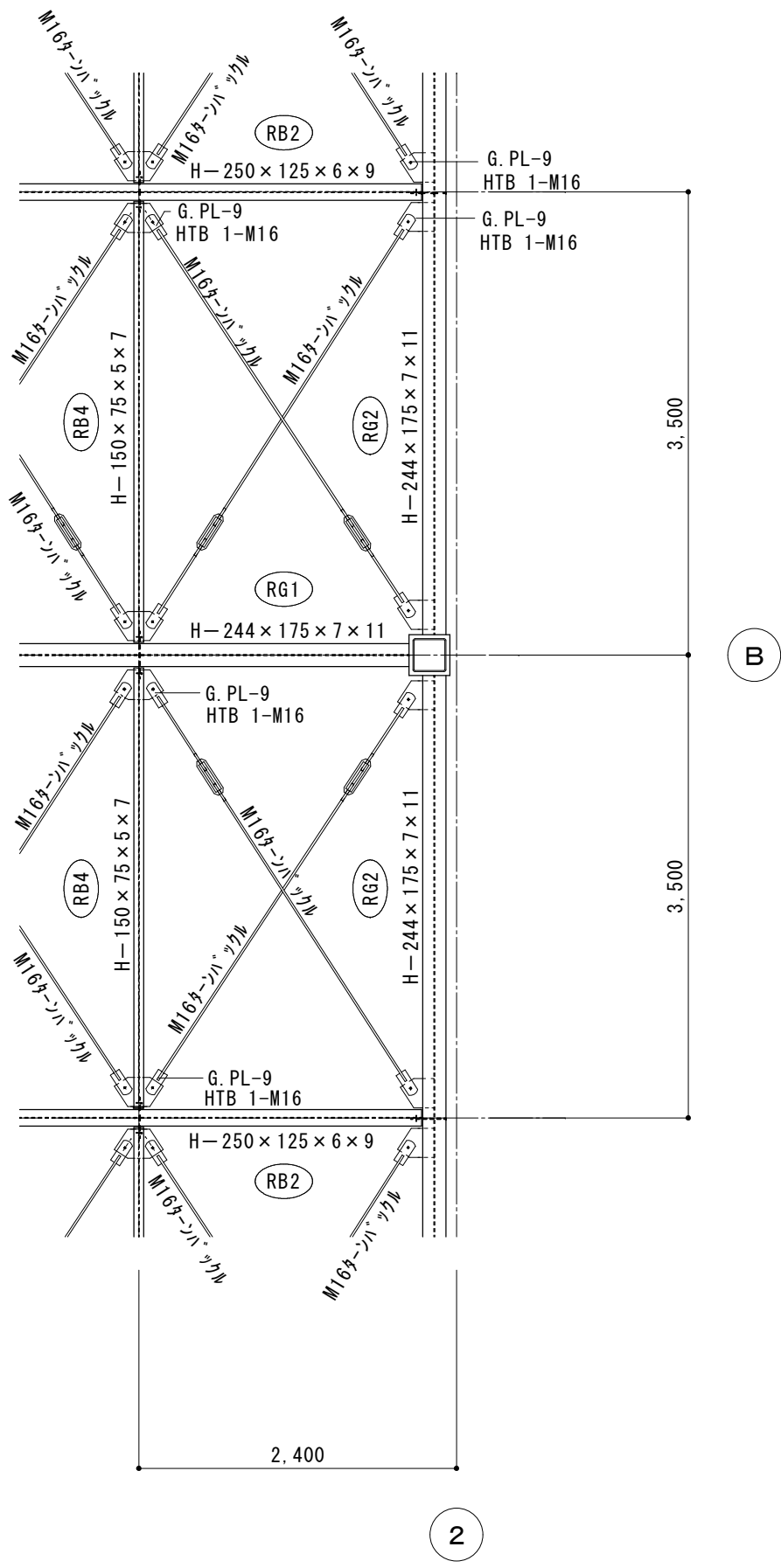
イ - イ 断面図 1 : 30



2 階 伏 図 1 : 100




R 階 梁 伏 図 1 : 100



屋根ブレース詳細図 1 : 50

共 通 事 項


※<J…ジョイント位置を示す。

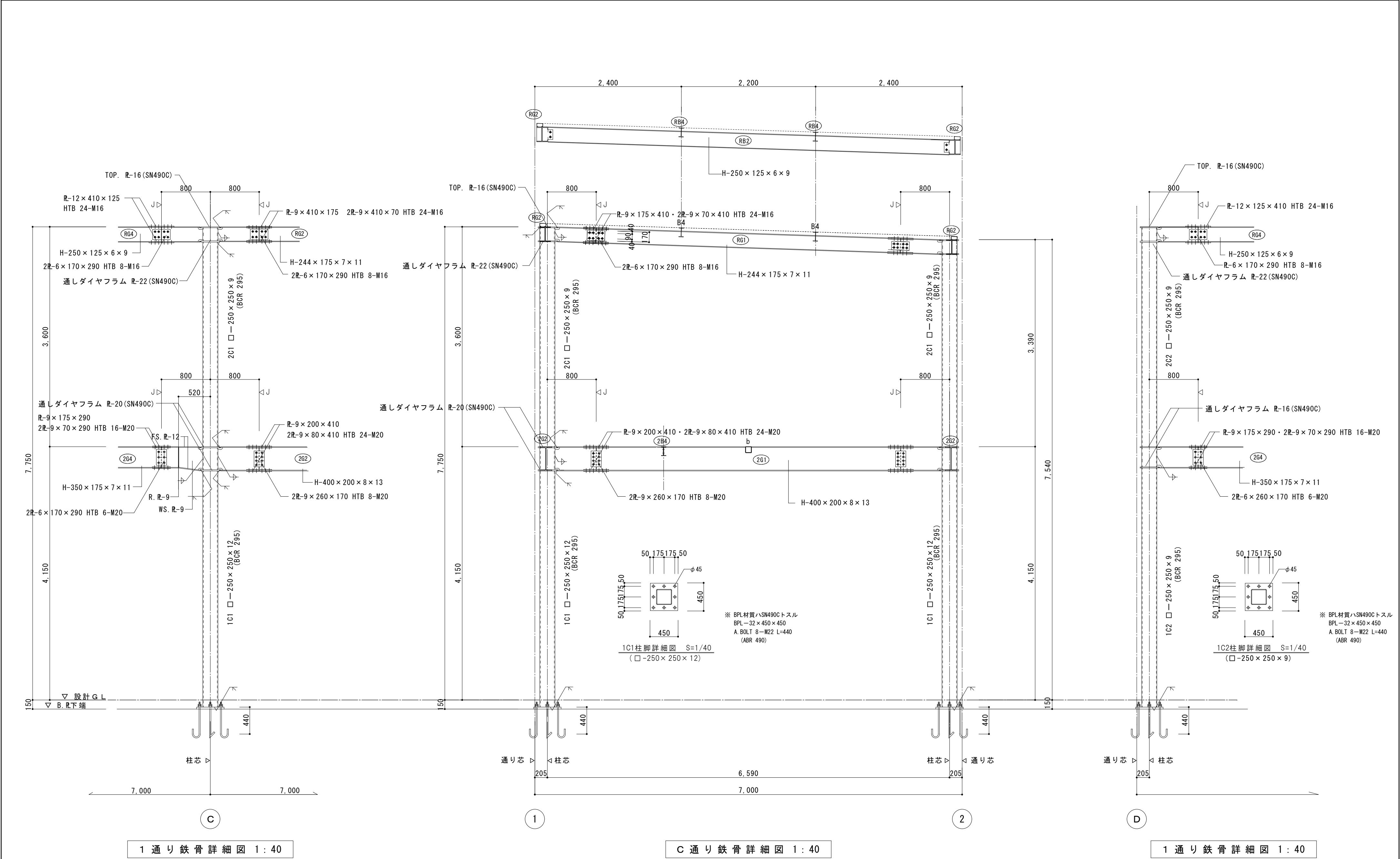
訂 正	月 日				<div> 街に緑を</div>	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図：A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	縮尺 1 : 100	整理No.	図面No.
							一級建築士 第128604号 山 岡 寛			梁 伏 図	1 : 50		S - 0 8

継手詳細図 S=1:30																			
2G1, 2G2 : H-400×200×8×13		フランジ 外添板	PL-9×200×410 (2枚)	HTB 24-M20	2G3, 2G4 : H-350×175×7×11		フランジ 外添板	PL-9×175×290 (2枚)	HTB 16-M20	RG1, RG2, RG3 : H-244×175×7×11		フランジ 外添板	PL-9×175×410 (2枚)	HTB 24-M16	RG4 : H-250×125×6×9		フランジ 外添板	PL-12×125×410 (2枚)	HTB 24-M16
		フランジ 内添板	PL-9×80×410 (4枚)				フランジ 内添板	PL-9×70×290 (4枚)				フランジ 内添板	PL-9×70×410 (4枚)				フランジ 内添板		
		ウェブ添板	PL-9×260×170 (2枚)				ウェブ添板	PL-6×260×170 (2枚)				ウェブ添板	PL-6×170×290 (2枚)				ウェブ添板	PL-6×170×290 (2枚)	

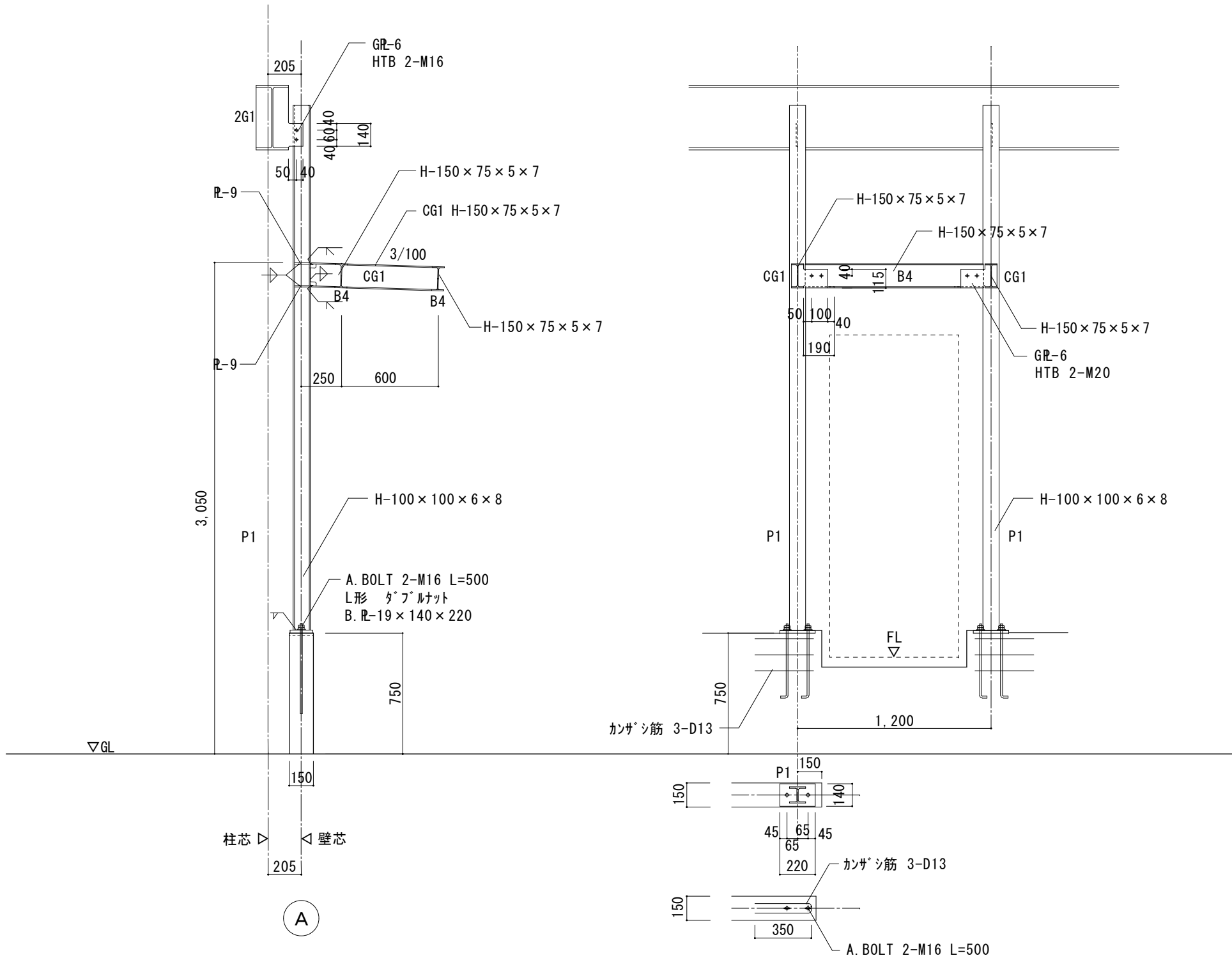
部 材 リ ス ト		※新JIS規格品とする			
符 号	部 材	備 考	符 号	部 材	備 考
1 C 1	□-250×250×12 (BCR295) (細長比 λ=57.2)	B. PL-32×450×450 (SN490C) A. BOLTS 8-M22×440 ^t (ABR490)	P 1	H-100×100×6×8 (SS400)	B. PL-19×140×220 (SS400) A. BOLT 2-M16 L=500 (SS400)
1 C 2	□-250×250×9 (BCR295) (細長比 λ=59.5)	B. PL-32×450×450 (SN490C) A. BOLTS 8-M22×440 ^t (ABR490)			
2 C 1	□-250×250×9 (BCR295) (細長比 λ=54.7)		CG1	H-150×75×5×7 (SS400)	
2 C 2	□-250×250×9 (BCR295) (細長比 λ=58.2)				
2 G 1	H-400×200×8×13 (SS400)	2FS. PL-9×200×410・9×80×410 HTB 24-M20			
2 G 2		2WS. PL-9×260×170 HTB 8-M20			
2 G 3	H-350×175×7×11 (SS400)	2FS. PL-9×175×290・9×70×290 HTB 16-M20			
2 G 4		2WS. PL-6×260×170 HTB 6-M20			
R G 1	H-244×175×7×11 (SS400)	2FS. PL-9×175×410・9×70×410 HTB 24-M16			
R G 2		2WS. PL-6×170×290 HTB 8-M16			
R G 3					
R G 4	H-250×125×6×9 (SS400)	FS. PL-12×125×410 HTB 24-M16 2WS. PL-6×170×290 HTB 8-M16			
			土台	C-100×50×20×2.3 (SSC400)	A. BOLT M12 L=400 (SS400)
2 B 1	H-350×175×7×11 (SS400)	G. PL-9 HTB 4-M20	縦胴縁	C-100×50×20×2.3@505以内 (SSC400) C-75×45×15×2.3@505以内 (SSC400)	
2 B 2	H-250×125×6×9 (SS400)	G. PL-6 HTB 2-M20	屋根ﾌﾞﾚｰｽ	M16 ターンバックル (SS400)	G. PL-9 HTB 1-M16
2 B 3	H-200×100×5.5×8 (SS400)	G. PL-6 HTB 2-M20	開口補強	縦・横 □-100×100×2.3 (SS400)	
2 B 4	H-150×75×5×7 (SS400)	G. PL-6 HTB 2-M20			
R B 4 b					

小梁接合部詳細図 S=1:30			
<p>2G2-2B1 接合部詳細図</p> <p>H-350×175×7×11 H-400×200×8×13 R. PL-9 G. PL-9 HTB 4-M20</p>	<p>2G1-2B2 接合部詳細図</p> <p>H-250×125×6×9 H-400×200×8×13 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>2G3-2B2 接合部詳細図</p> <p>H-250×125×6×9 H-350×175×7×11 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>2G1-2B4・b 接合部詳細図</p> <p>H-150×75×5×7 H-400×200×8×13 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p> <p>※G. PL成はϕ11群芯での寸法値とする。</p>
<p>2G4-2B3 接合部詳細図</p> <p>H-350×175×7×11 H-200×100×5.5×8 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>RG1-RB4 接合部詳細図</p> <p>H-150×75×5×7 H-150×75×5×7 H-244×175×7×11 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p> <p>※G. PL成はϕ11群芯での寸法値とする。</p>	<p>RG2-RB2 接合部詳細図</p> <p>H-244×175×7×11 H-250×125×6×9 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>RG3-RB4 接合部詳細図</p> <p>H-244×175×7×11 H-150×75×5×7 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p> <p>※G. PL成はϕ11群芯での寸法値とする。</p>
<p>2B2-2B3 接合部詳細図</p> <p>H-200×100×5.5×8 H-250×125×6×9 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>2B1-2B4・b 接合部詳細図</p> <p>H-150×75×5×7 H-150×75×5×7 H-350×175×7×11 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p> <p>※G. PL成はϕ11群芯での寸法値とする。</p>	<p>RB2-RB4 接合部詳細図</p> <p>H-150×75×5×7 H-150×75×5×7 H-250×125×6×9 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p>	<p>1C2-B2（階段桁受け） 接合部詳細図</p> <p>H-250×125×6×9 R. PL-6 G. PL-6 HTB 2-M20</p> <p>※G. PL成はϕ11群芯での寸法値とする。</p>

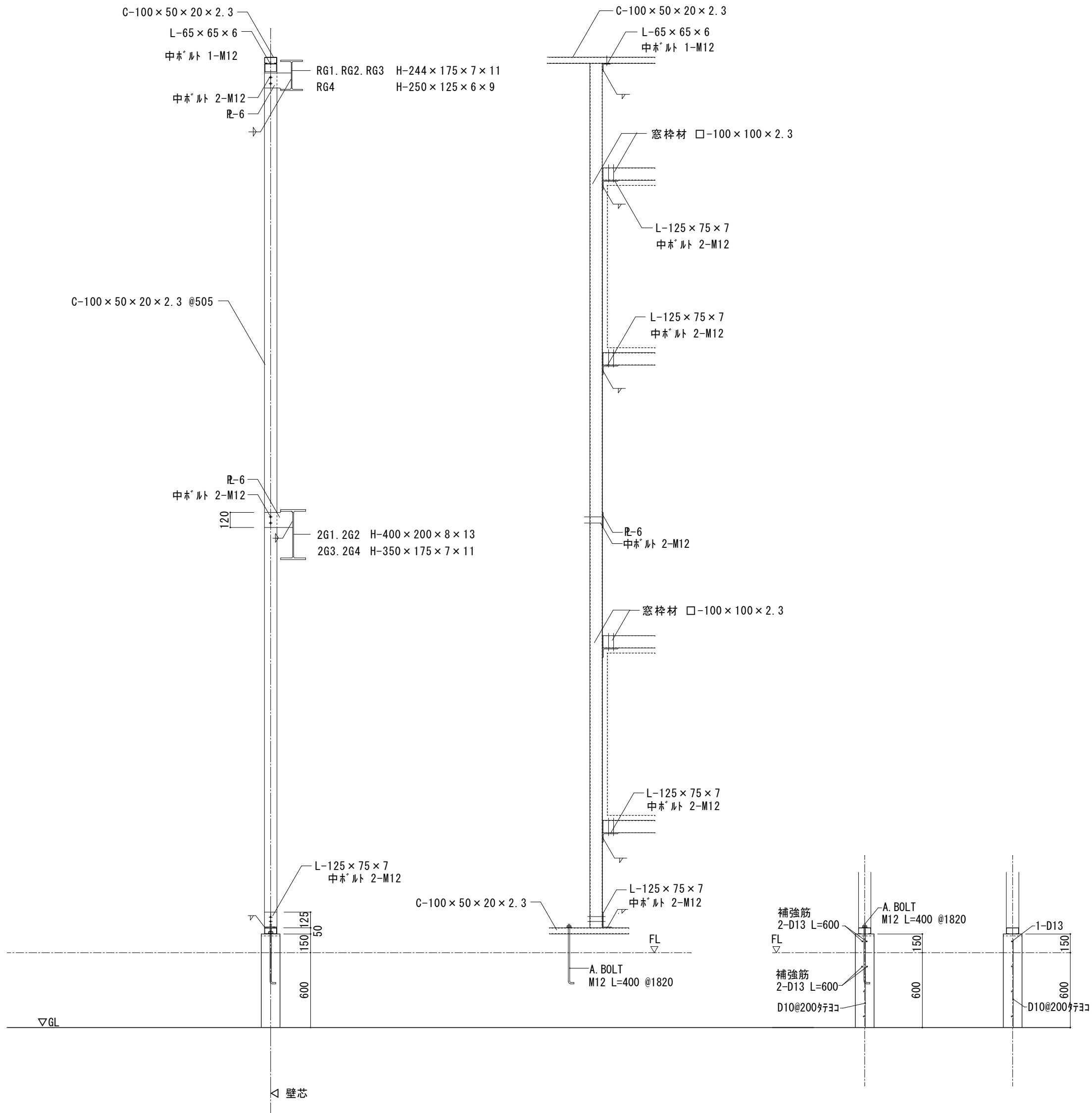
訂 正	月 日			 設計・監理 株式会社 東海建築設計 <small>〒464-0802 愛知県名古屋市中区錦2-1-10 東海ビル3F</small>	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2
	.		.		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	縮尺 1 : 30	整理No.	図面No.
	.		.		一級建築士 第128604号 山 岡 貴						S - 0 9



訂 正	月	日			 <div>街に緑を</div>	設計・監理 株式会社 東海建築設計		作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2	
													図面No.	S - 1 0	
								一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 寛		製図		鉄 骨 詳 細 図 1	縮 尺 1 : 40	整理No.	




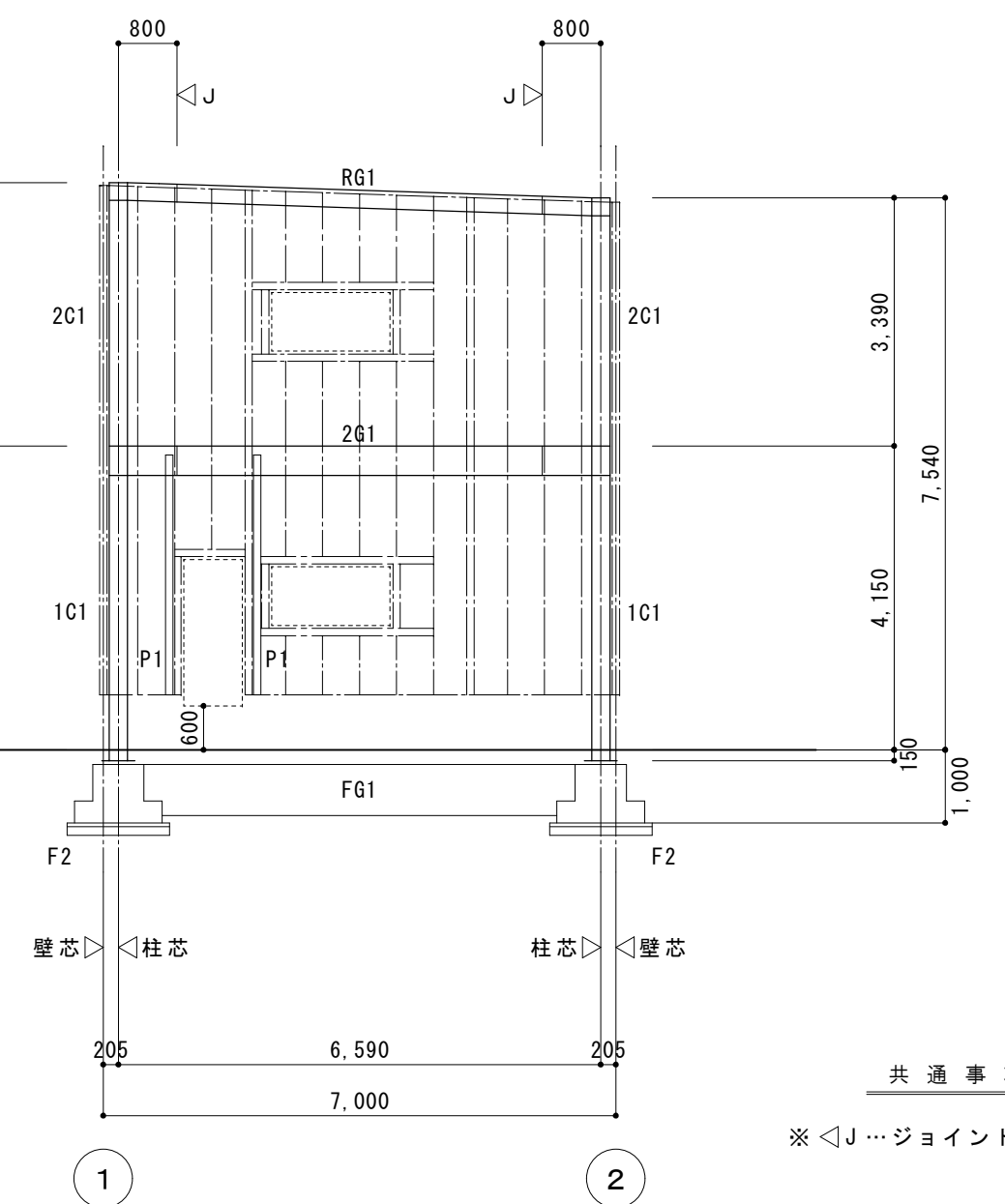
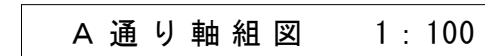
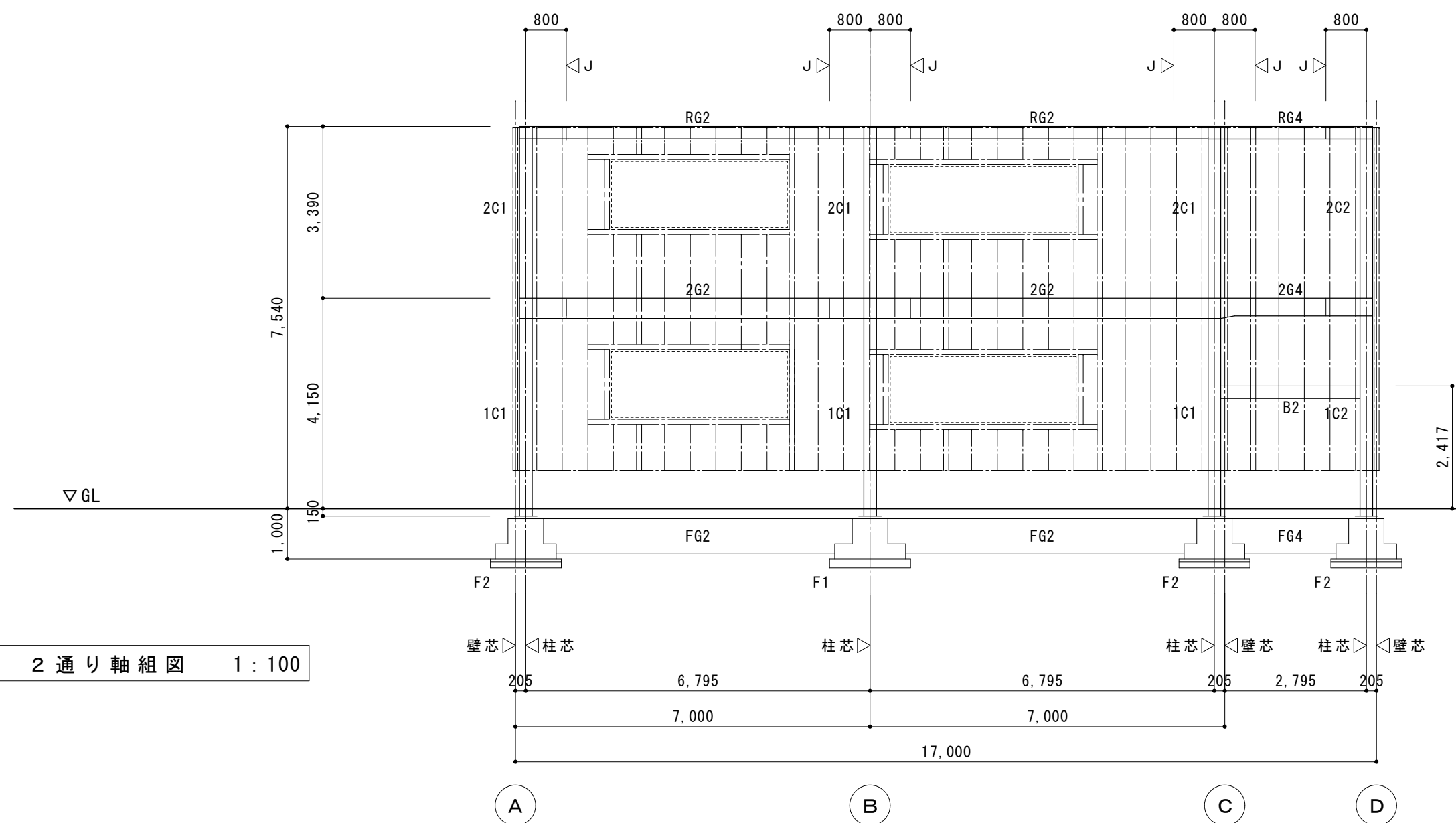
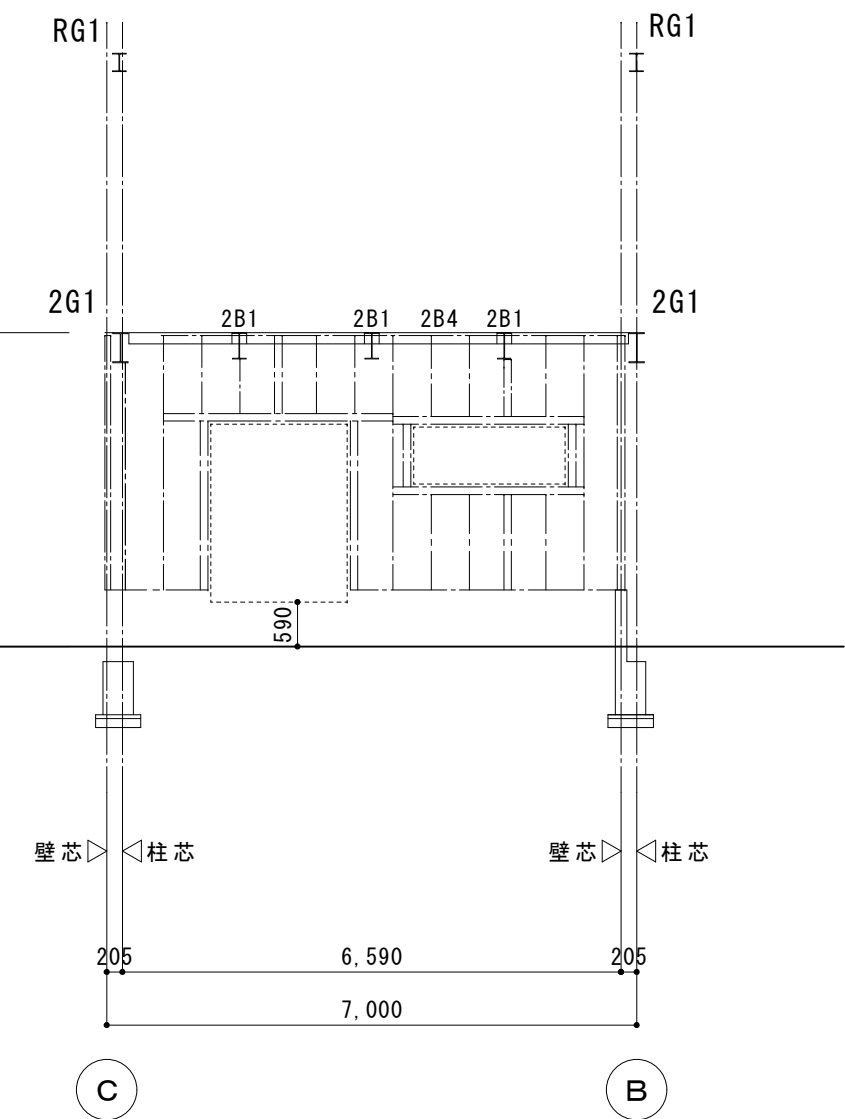
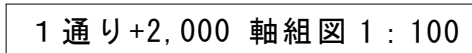
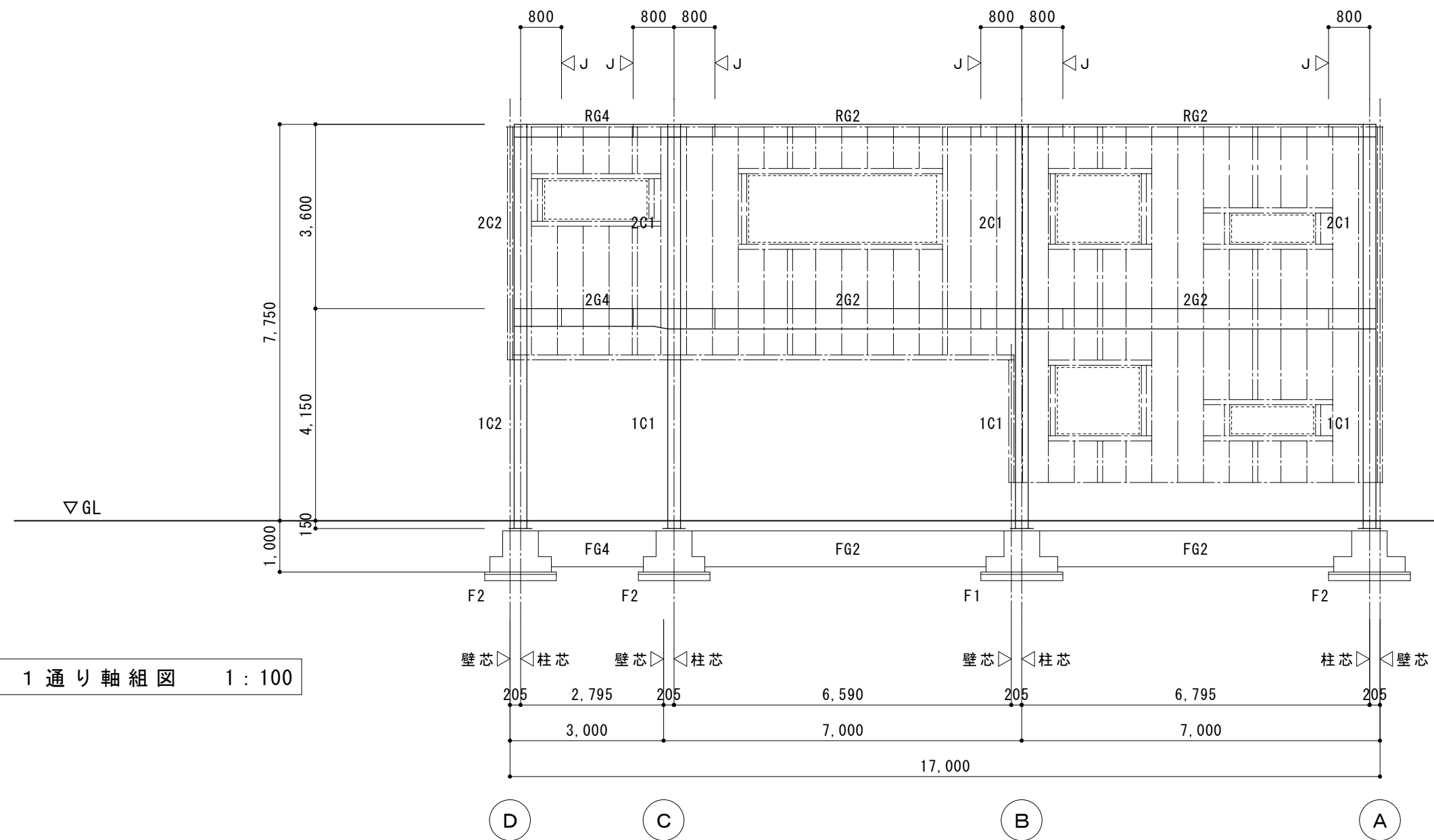
勝手口鉄骨詳細図 1 : 30



タテ胴縁部分詳細図 1 : 30


タテ胴縁部分鉄筋詳細図 1 : 30

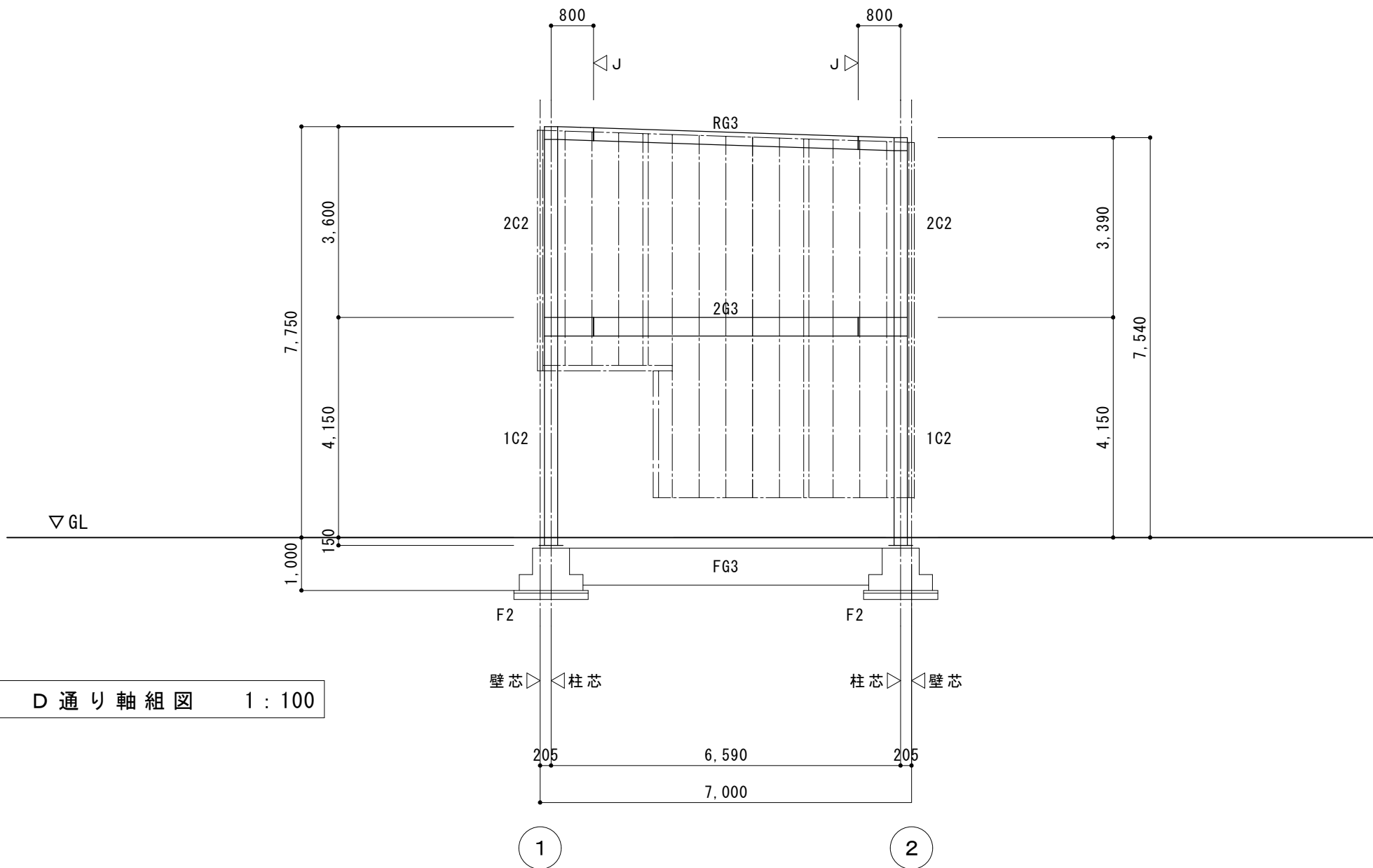
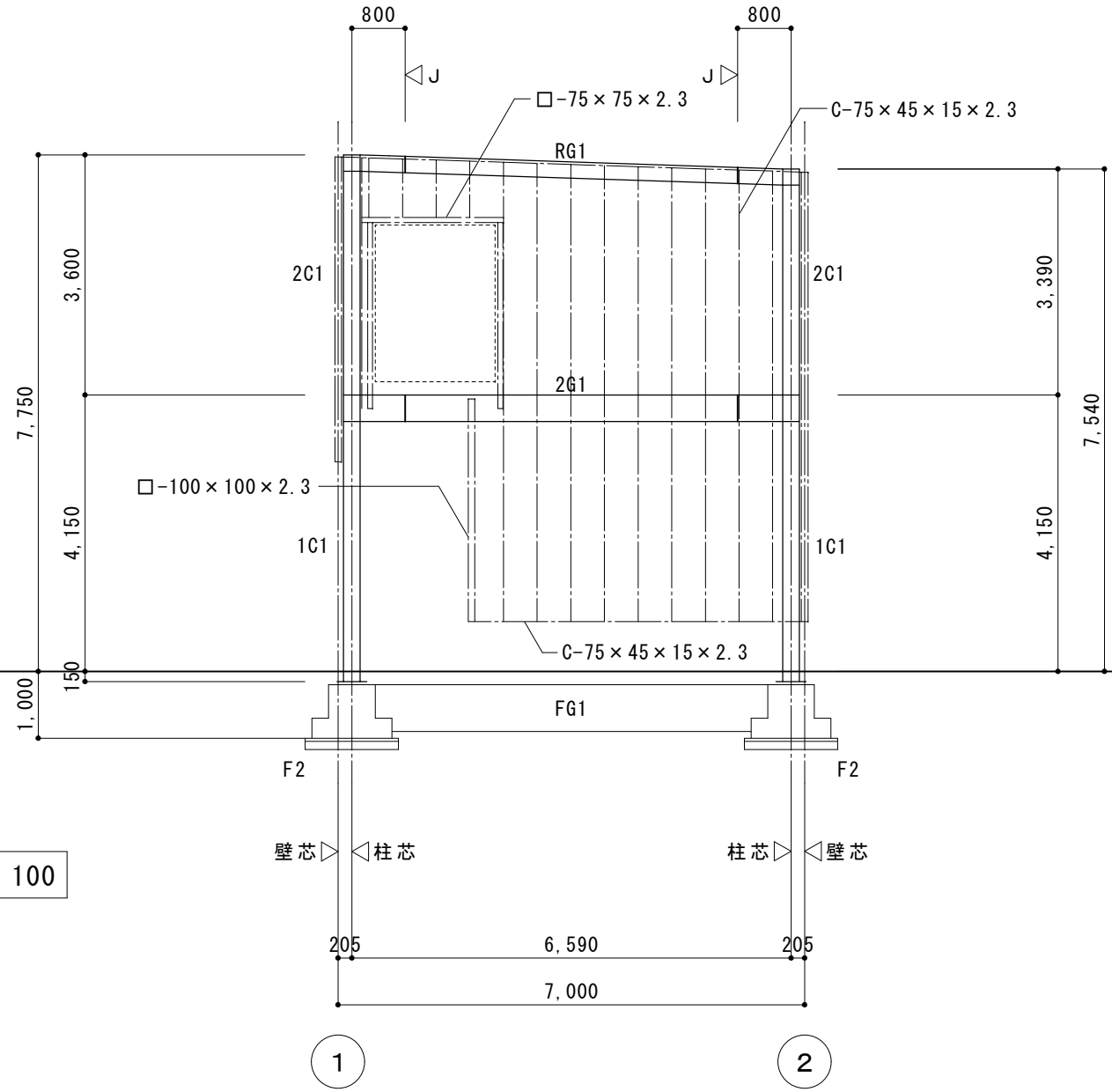
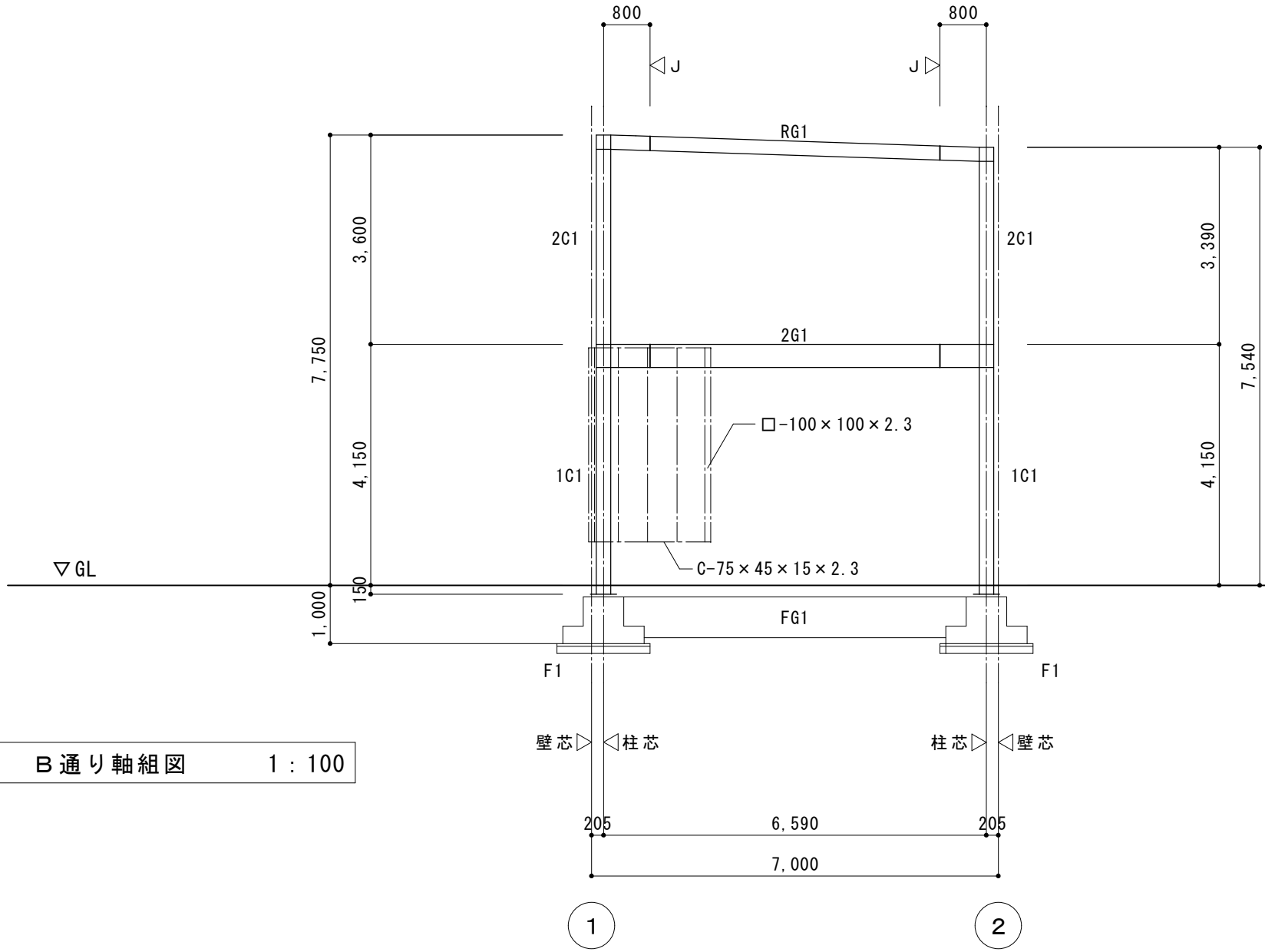
訂正	月	日				設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図 : A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	鉄骨詳細図 2	縮尺	図面No.
							一級建築士 第128604号 山岡 寛					整理No.	S - 1 1



共 通 事 項

※ ◁J…ジョイント位置を示す。

訂 正	月 日			 設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原因：A 2	
					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	軸組図 1	縮尺 1：100	整理No.	S - 1 2
					一級建築士 第128604号 山 岡 寛							





電気設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

南が丘地区放課後児童クラブ新築工事

2. 工事場所

津市 垂水 地内

3. 建物概要

児童クラブ4号棟 延べ面積 238.00㎡

S造2階建 用途区分（7）項

用途区分は消防法施行令別表第一による表記

4. 工事種目

下記において●印を付した工事を対象とする。

●電力設備

・受変電設備

・電力貯蔵設備

・発電設備

●通信・情報設備

・中央監視制御設備

・医療関係設備

・構内配電線路

・構内通信線路

・その他

Ⅱ. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各平成31年版）

「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各平成31年版）

「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各平成31年版）

・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）

・電気事業の業務の適正化に関する法律

・電気工事士法

・労働安全衛生法

・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）

・電力会社供給約款

・その他関連法令、関連諸基準

Ⅲ. 特記仕様

1. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項

(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に一念かつ誠実に施工すること。

(2) 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合・図面上の誤記及び記載漏れ等にて起因する問題点及び疑義、設計図書のとりに施工することと将来不具合が発生しようと予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。

なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講ずること。

(3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意図的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 足場

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。

1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第9条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者

2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者

3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検についての、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

3. 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を越えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフストの数量の集計）を越えて請求することはできない。

4. 電気工作物の種類

・一般電気工作物

●自家用電気工作物

5. 電気工事士

電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

6. 電気事業の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

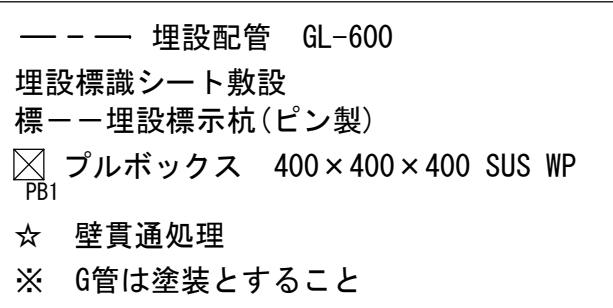
7. 電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。

なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。

20. ケーブル及び配線	3. 機器仕様	【受変電設備】	【発電設備】
(1)表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分 ⑤ ブルボックス内 ⑥ 屋外の共同溝等の直線部分は、5 0 mごと ⑦ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑧ マンホール及びハンドホールごと	下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については図面による。	5. 受変電設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)盤類 (4)交流遮断器 (5)断路器 (6)負荷開閉器 (7)変圧器 (8)進相コンデンサ (9)直列リアクトル (10)キュービクル等 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	10. 燃料式発電設備 (1)用途 (2)設置場所 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
(2)ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ● 2 箇所 ● 4 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ● 2 箇所 ● 4 箇所	【電力設備】 1. 電灯設備 (1)既設等との取り合い (2)機器類 (3)一般照明器具 (4)照明制御器 (5)外灯 (6)コンセント等 (7)分電盤、制御盤等 (8)動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
21. 配線器具の設置 (1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を未装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
22. 照明器具の設置 (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。 (2)天井下地利より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
23. 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度等の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所（ ＊ ＊ ＊ ＊ ） 測定回数 前後各（ ＊ ）回	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
24. 分電盤、制御盤、キュービクル等 (1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
25. 受変電設備、発電設備の設置場所 (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通してせない。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
26. 発電設備の燃料配管 (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
27. 非常放送設備のスピーカ設置 (1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1 0 m以内とする。 (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1 5 m以内とする。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
28. 土工事 (1)埋戻しの材料及び工法 ● B 種（材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め） ● その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (3)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備
29. 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 直線部分では3 0 m程度に1 個（3 0 mに満たない部分はその間に1 個）	2. 動力設備 (1)既設との取り合い (2)機器類 (3)負荷設備 (4)負荷設備への接続 (5)電動機等の接地 (6)分電盤、制御盤等	1)形式 2)引外し方式 3)接地方式 4)接地抵抗測定 5)照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 1)センサ類 2)調光方式 3)制御方式 1)照明用ボールド ①材質 ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2)基礎 3)灯具 4)電源 5)制御 6)接地 (7)進相コンデンサ (8)直列リアクトル (9)キュービクル等 (10)基礎 (11)基礎 (12)配線ビット及び蓋 (13)設置場所	1)用途 (2)区分 (3)機器 (4)発電装置 (5)燃料 (6)燃料槽 (7)給油ボックス (8)燃料移送ポンプ (9)基礎 (11. その他発電設備 【通信・情報設備】 12. 構内情報通信網設備 13. 構内交換設備 (1)機器 (2)交換装置 (3)電話機 (4)端子盤類 (5)アウトレット 14. 情報表示設備 (1)設備 (2)サイン装置 (3)出退表示装置 (4)時刻表示装置 (5)警報等表示装置 15. 映像音響設備

[illegible]

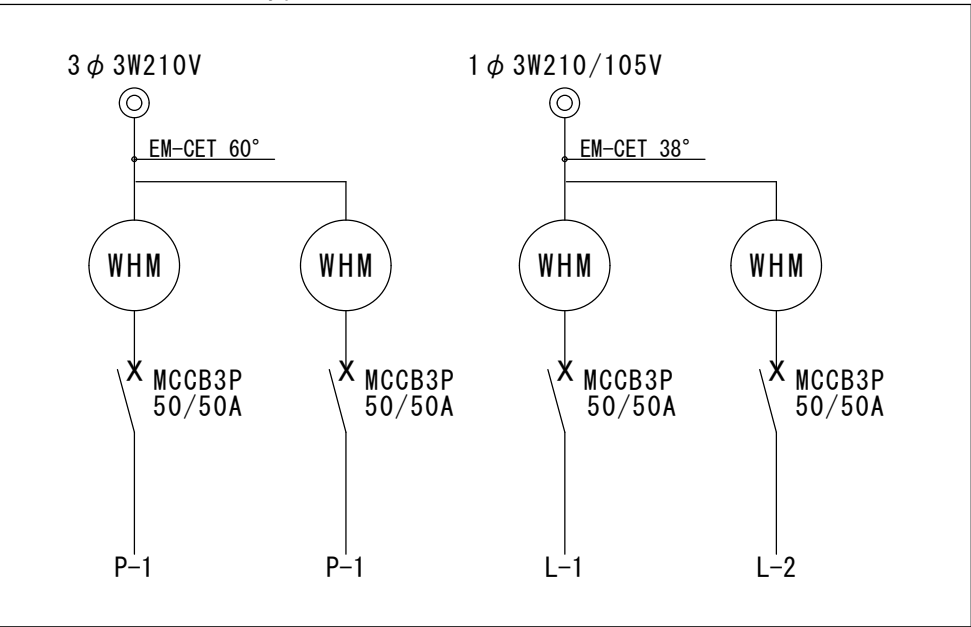


作成	承認	
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号 一級建築士 第128604号 山 岡 實		

縮尺 1:600

原図 : A 2
図面No. E - 0 4

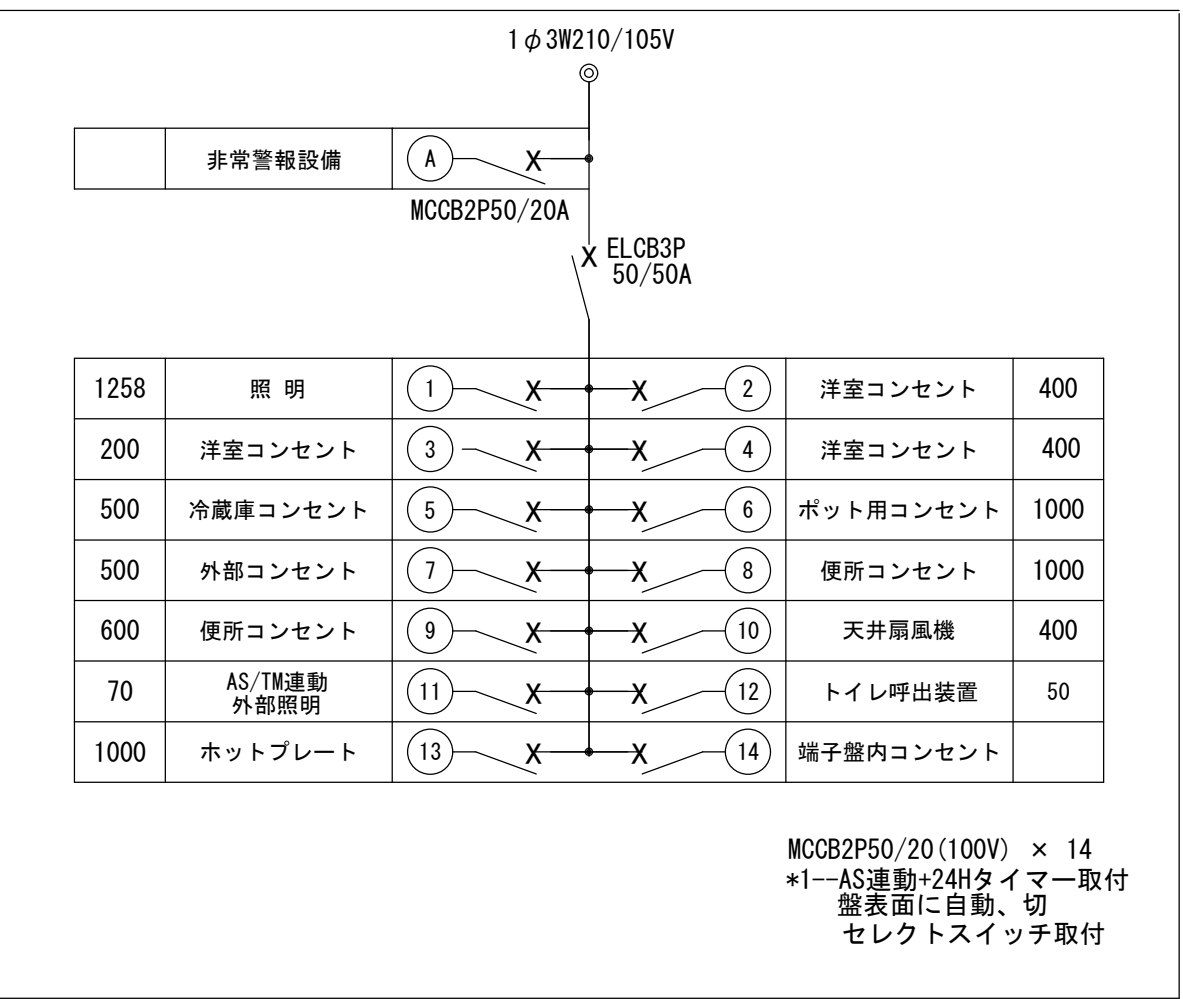
引込盤 S-1 屋外壁掛型 SUS WP



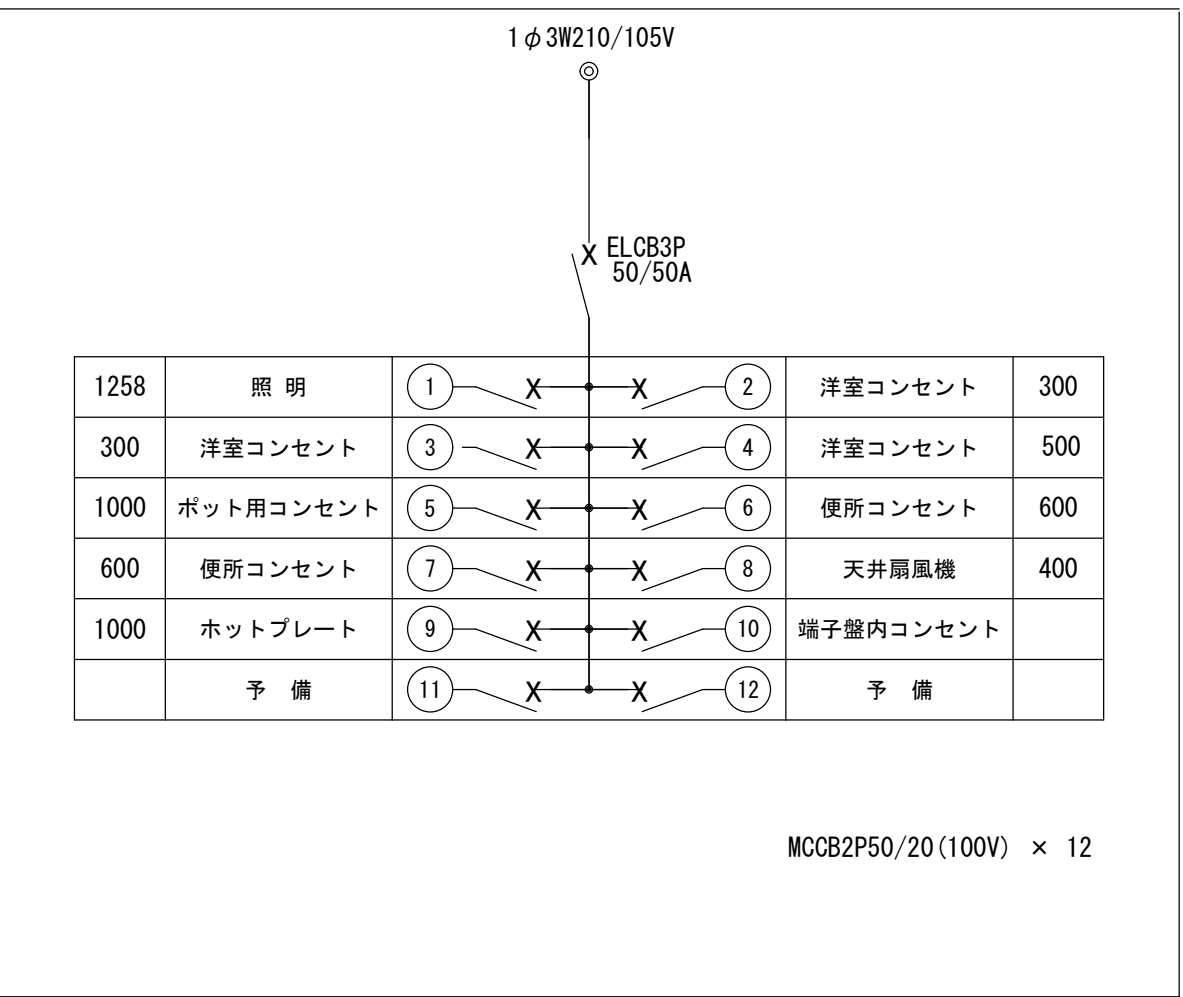
動力盤 P-1 (屋外壁掛型 SUS WP)



電灯盤 L-1 屋内壁掛型 銅板製



電灯盤 L-2 屋内壁掛型 銅板製

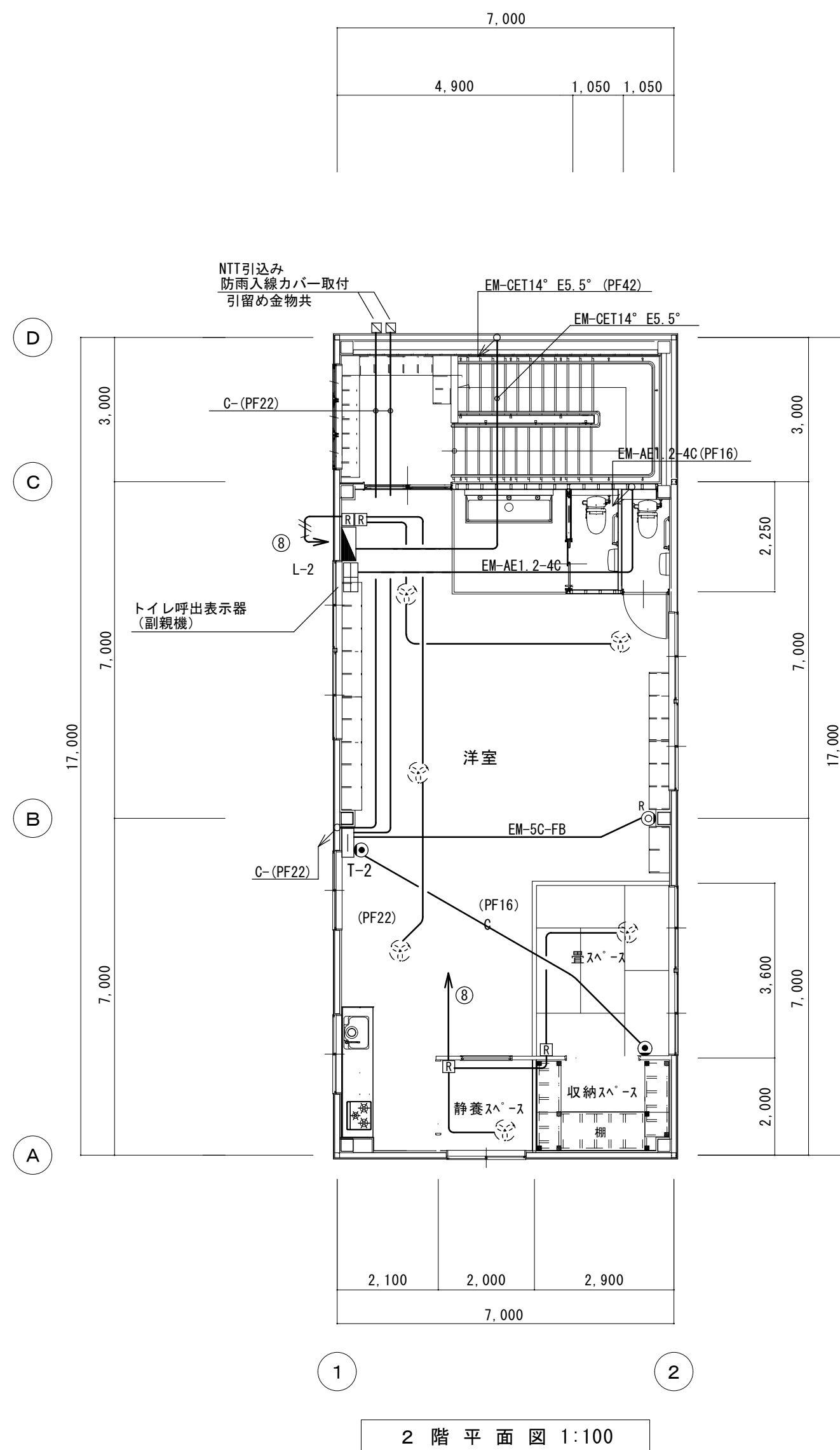
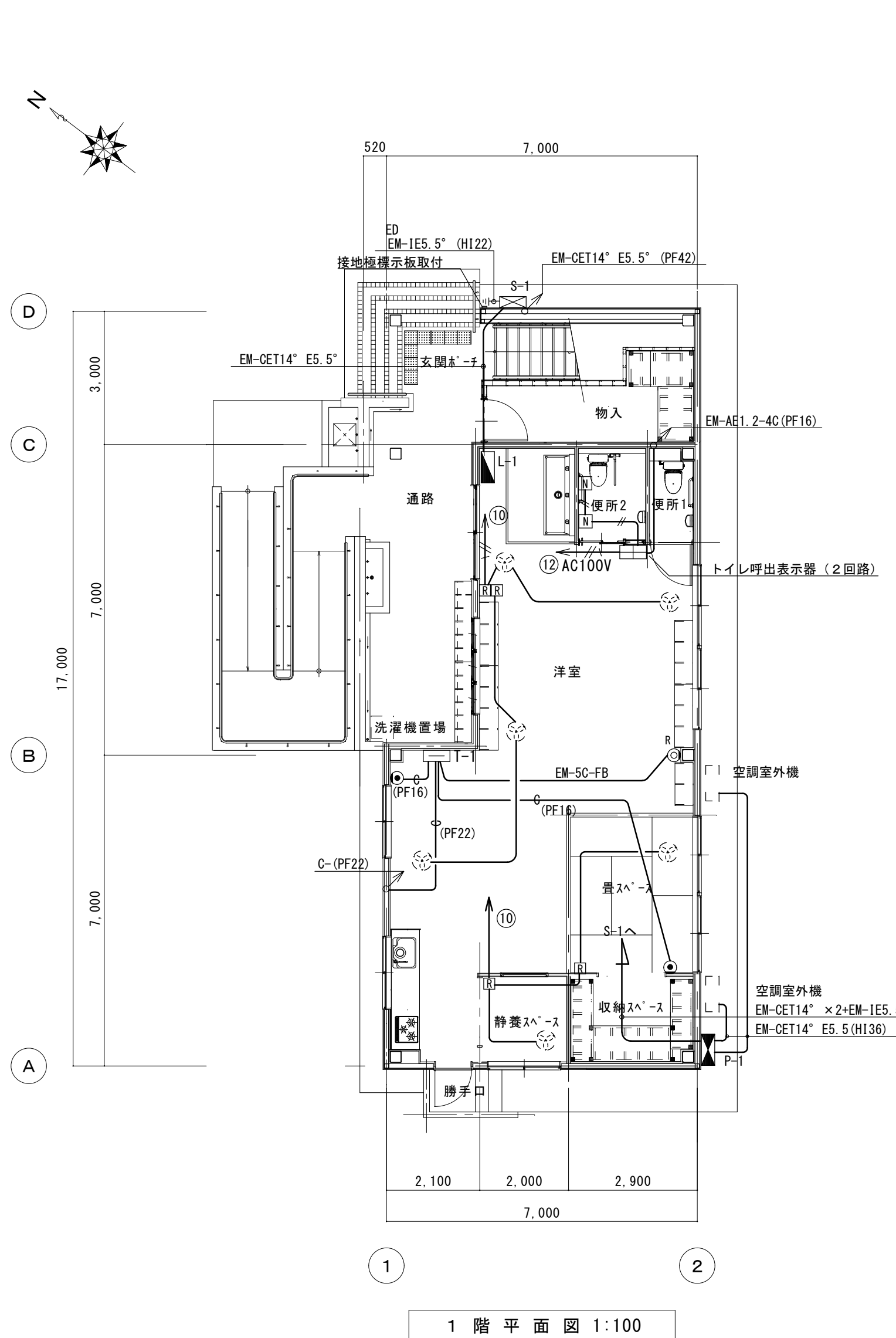


照明器具姿図 (参考)

A215	LEDベースライト	公共型番 : LSS9-2-15	A230	LEDベースライト	公共型番 : LSS9-2-30
		FL20W×2 定格出力相当 本体 : 銅板 (白色粉体塗装) 消費電力 : 11.9W (AC100V時)			HF16W×2 高出力相当 本体 : 銅板 (白色粉体塗装) 消費電力 : 21.6W (AC100V時)
A430	LEDベースライト	公共型番 : LSS9-4-30	A465	LEDベースライト	公共型番 : LSS9-4-65
		HF32W×1 高出力相当 本体 : 銅板 (白色粉体塗装) 消費電力 : 20.6W (AC100V時)			HF32W×2 高出力相当 本体 : 銅板 (白色粉体塗装) 消費電力 : 43.0W (AC100V時)
B430	LEDベースライト	公共型番 : LSS9MP/RP-4-30	C17	LEDダウンライト	公共型番 : LRS1-17
		HF32W×1 高出力相当 本体 : ステンレス 消費電力 : 20.6W (AC100V時)			FHT42W×1 定格出力相当 消費電力 : 15.0W (AC100V時)
D13	LEDポーチライト	参考型番 : DWP-40622Y	E40	LED流し元灯	参考型番 : DCL-40597A
		電球色 (2700K) 、Ra83 器具光束360 l m、消費電力6.8W、電圧100V 防雨型、明るさセンサ付			昼白色 : 3500K 消費電力 : 24.0W (AC100V時) 器具光束 : 2390 l m

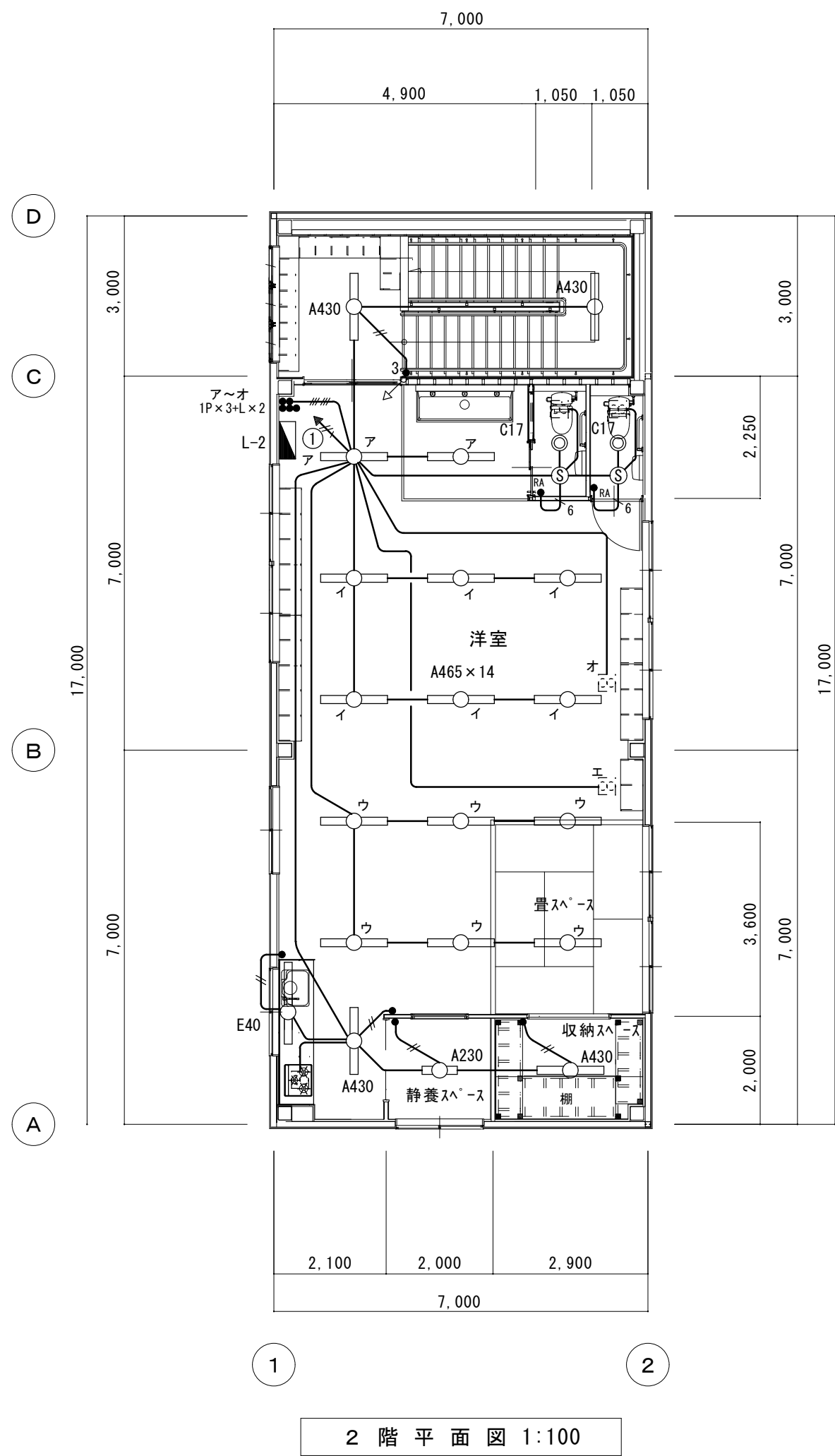
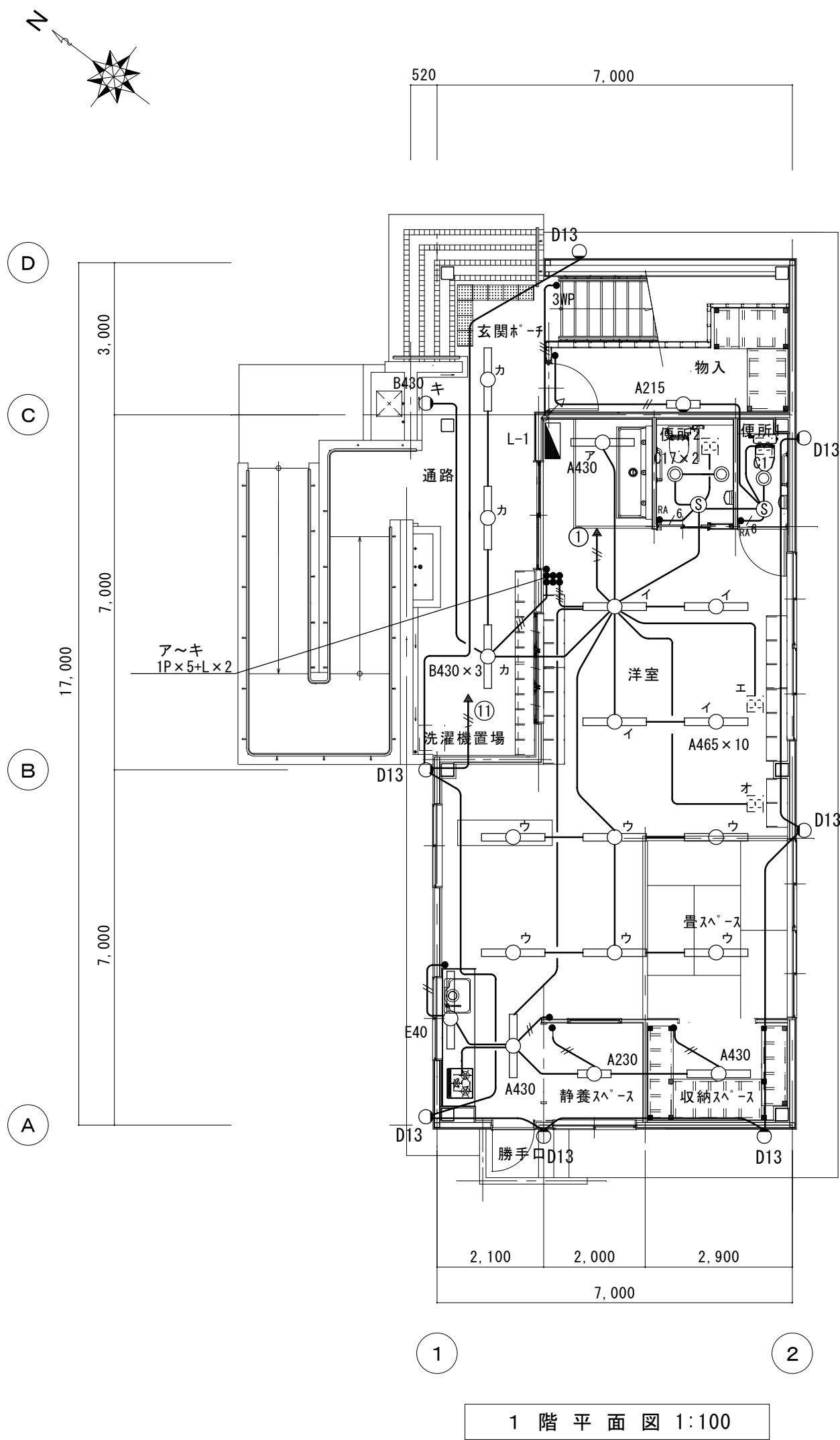
弱電機器姿図 (参考)

トイレ呼出表示器 (2回路)	
定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 : 3W以下 最大時 : 5.5W以下
形状	埋込型 (適合ボックス 2個用スイッチボックス (深型))
参考型番 : WQ4302K	
トイレ呼出表示器 (副親機)	
定格	電源電圧 DC12V (親機より供給)
形状	埋込型 (適合ボックス 2個用スイッチボックス (深型))
参考型番 : WQ4402K	
トイレ呼出ボタン (プルスイッチ付) (ON保持・微少電流対応形) (パイロットランプ・防沫形プレート・リード線付)	
定格	微少電流形 (30mA 12V)
参考型番 : WS6677Z	

[illegible]

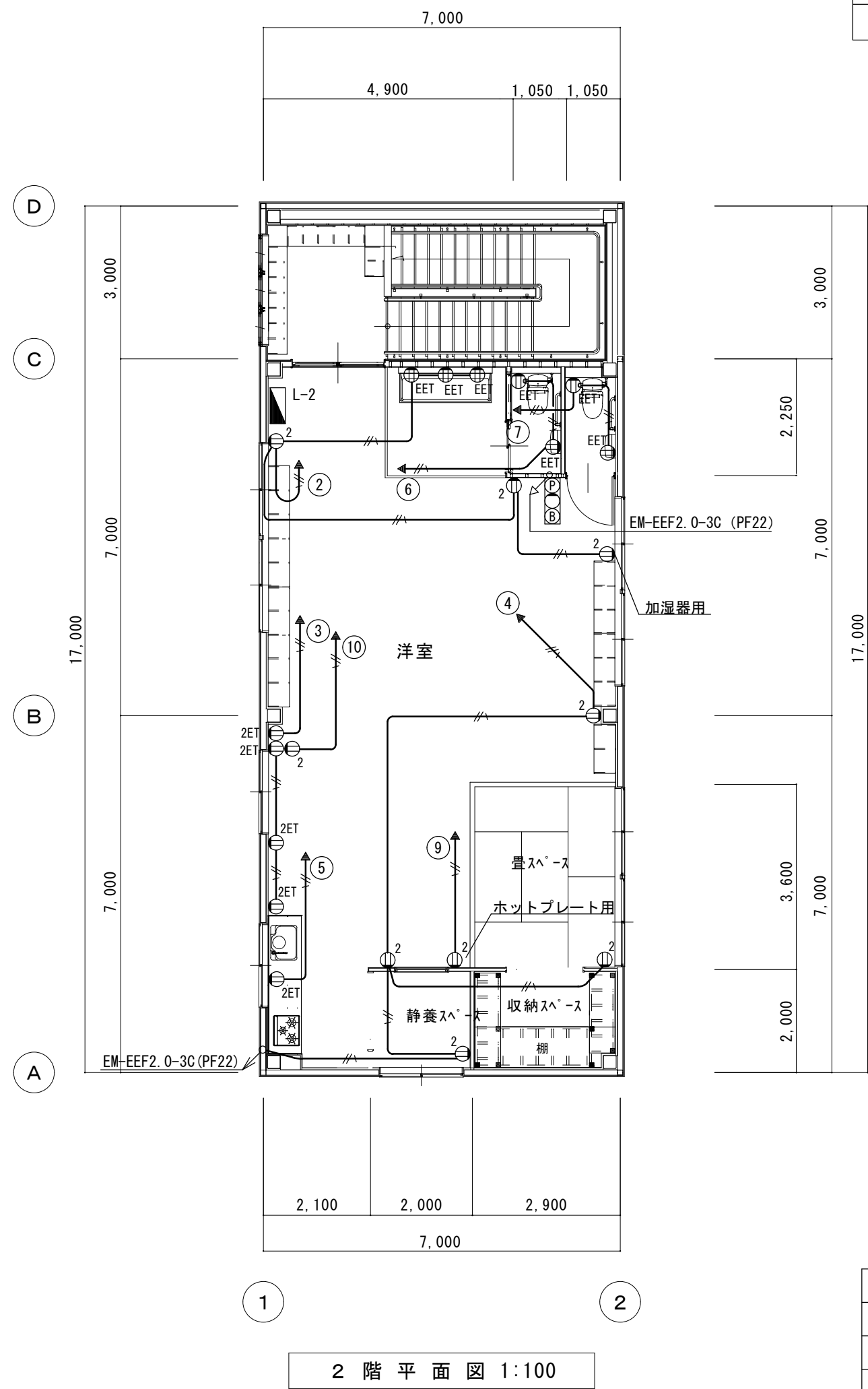
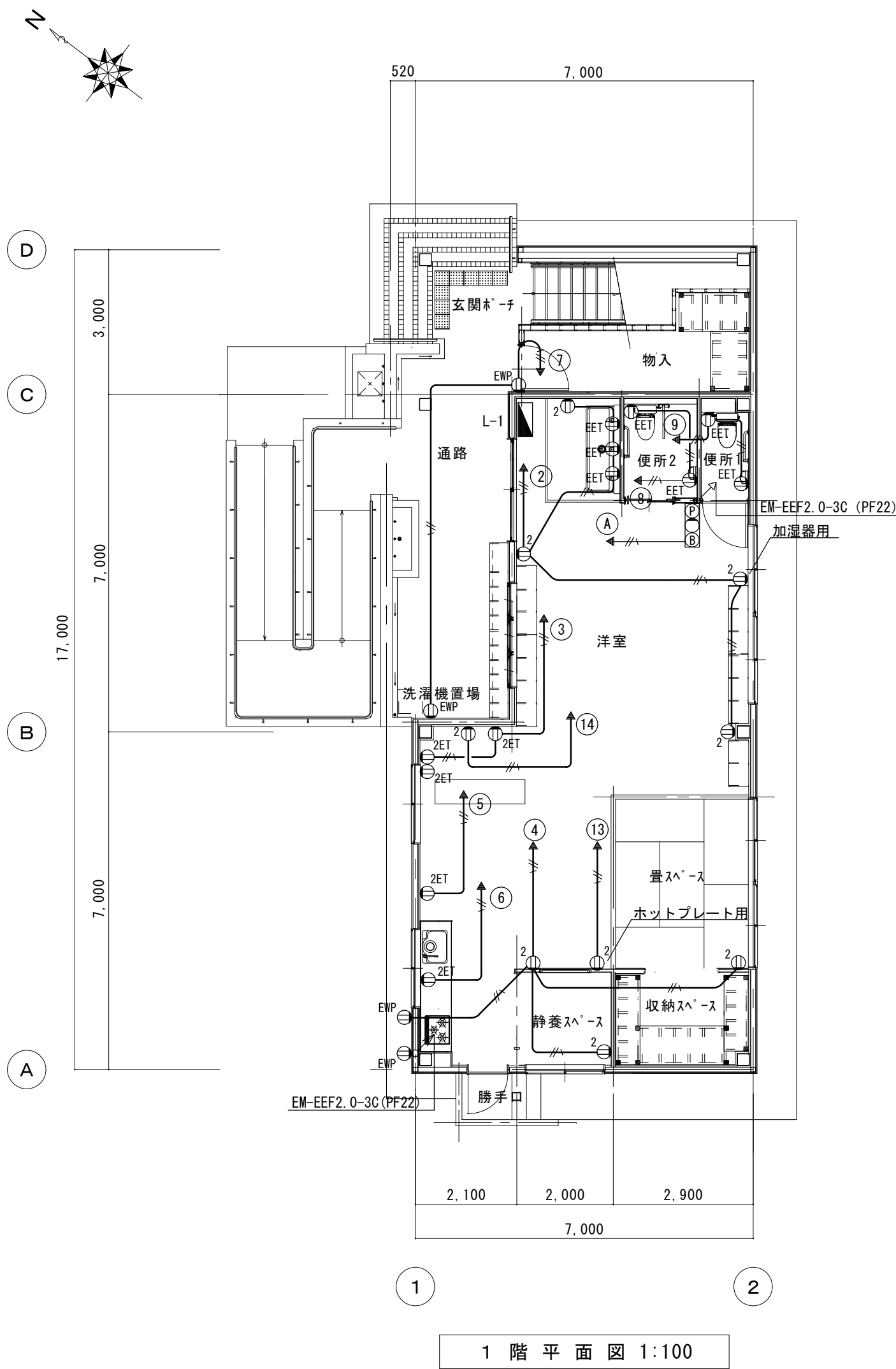
端子盤リスト	
T-1	光接続装置取付スペース HUB取付スペース 盤内露出コンセント2口
T-2	光接続装置取付スペース HUB取付スペース 盤内露出コンセント2口

注記	
1. 図中記入なき配線は下記とする。	保護管
——//—— A E 1. 2-2 C	(P F 1 6)
———— E M- E E F 1. 6-3 C	(P F 1 6)
——//△—— E M- E E F 2. 0-3 C	(P F 2 2)
二重天井内はケーブル用がし配線とし、コンクリート部及び	
壁内立下り部はP F 管にて保護とする	
盤、機器への接続は金属製可とう電線管（ビニル被覆・防水）を使用すること	



凡例表		
記号	名称	備考
	照明器具 天井付 LED	
	照明器具 壁付け LED	
	照明器具 埋込用 LED	
	タンブラスイッチ(新金属プレート共)	1P15A×1
	タンブラスイッチ(新金属プレート共)	1P15A×2
	タンブラスイッチ(新金属プレート共)	3W15A×1
	タンブラスイッチ(防滴プレート共)	3W15A×1
	熱線センサー(親器)	参考型番:WTK2604
	操作ユニット 2回路	参考型番:WTC5822W
	電灯分電盤	

注記			
1. 図中記入なき配線は下記とする。			
	EM-EEF2. 0-3C	(1E)	(PF22)
	EM-EEF1. 6-3C	(1E)	(PF22)
	EM-EEF1. 6-2C×2	(1E)	(PF22)
	EM-EEF1. 6-2C+3C	(1E)	(PF22)
	EM-EEF1. 6-2C		(PF16)
	EM-EEF1. 6-3C		(PF22)
	EM-EEF1. 6-2C×2		(PF22)
	EM-EEF1. 6-2C+3C		(PF22)
	EM-EEF1. 6-3C×2		(PF22)
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はPF管にて保護とする。			



凡例表		
記 号	名 称	備 考
①2	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2
①EET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×1E+ET
①2ET	壁付コンセント(新金属プレート共)	2P15A×2+ET
①EWP	防水コンセント	2P15A×2E+ET
ⓅⓧⓅ	非常警報複合装置 (埋込型)	電池内蔵
■	電灯分電盤	

注記		
1. 図中記入なき配線は下記とする。		
——//——	EM—EEF2. 0—3C (1E)	(PF22)
——//——	EM—EEF2. 0—2C	(PF16)
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び		
壁内立下り部はPF管にて保護とする。		

機械設備工事特記仕様書		(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる		(22) その他		9 工事細目	
1 工事名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	1) 引渡しを要するもの() 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。		1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。		(1) 配管材料	
2 工事場所	津市 垂水 地内	2) 特別管理産業廃棄物() 処理方法() なお施工に際して廃石綿等特別管理廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。		2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。		部分的に配管種類を変更する場合は、図面に明記すること。	
3 建築概要	S造 2階建 消火令の適用 項	3) 現場内において再利用を図るもの □発生土 □その他()		3) フロム回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。		■ 給水管	
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」 「公共建築設備工事標準準図(電気、機械設備工事編)平成31年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。	4) 再資源化を図るもの (□ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材)		(23) 現場での安全確保(自主施工の原則) 1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図面に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じうえて、工事を実施すること。		■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 (一般: SGP-VB 地中: SGP-VD) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O11 (一般: SGP-FVA、FVB 地中: SGP-FVD) ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。 ■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般・地中: HIVP) □ 水道配水用ポリエチレン管 JWNA K 144 (地中: PE) □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。	
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書を他用、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生すると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であつても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 ■建築工事に準じる 1) 工事書類: ・施工計画書 ・打合記録 ・施工要領書 ・機器使用願 ・機器明細図 ・工程表 ・施工图等 2) 工事完成図書: ・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真(安全・訓練実施記録 ・竣工図【製本4(原寸 2部、A3見開き)2部】 ・機器完成図(ファイル等1部) ・保守に関する説明書(取扱説明書・保証書) 2部 ・機器性能試験成績書 1部 ・総合調整測定表(試験結果・測定結果等) 1部 ・官公署届出書類控、検査済証 1部 ・出来形確認書類 1部 等 ※ 竣工図・施工図はC A Dにより作成すること。 ※ 工事写真は當精工事写真撮影要領(国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版))に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。	(12) 電気保安技術者 □ 配置する ■ 配置しない		(24) 建設副産物 情報交換システムの利用 受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。		■ 雑排水管	
		(13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 ■建築工事に準じる 1) 施工可能日 () □一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □指定なし () 2) 施工可能時間帯 □指定なし □指定あり (時 ~ 時)		6 工事種類 給排水衛生設備工事 ■ 屋外給水設備工事 ■ 屋内給水設備工事 ■ 屋外排水設備工事 ■ 屋内排水通気設備工事 ■ 衛生器具設備工事 □ 消火設備工事 ■ 給湯設備工事 ■ 屋外ガス設備工事 □ 厨房機器設備 空調設備工事 ■ 機器設備工事 ■ 配管設備工事 ■ 換気設備工事		■ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M.D継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
		(14) 概成工程 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態で完了していること。 ■建築工事に準じる □指定なし □指定あり (令和 年 月 日)		7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 給水設備工事 本工事は図示のごとくを工事範囲とし、高架水槽方式により所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道規格品JIS 10K を使用する。 (2) 屋外排水設備工事 本工事は、既設の汚水管に接続する。 配管、樹を勾配に十分留意し敷設するものとする。 樹は公団型、現場打ちまたはプラスチック樹とする。 (3) 屋内排水通気設備工事 本工事は汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流する。 (4) 衛生器具設備工事 衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。 (5) 給湯設備工事 ガス給湯器による局所給湯方式とし、図示の各所に給湯する。 (6) LP ガス設備工事 LPG集合装置により図示の各所に配管供給する。 ホースコックは、過流出防止機構(ヒューズ)付きとする。		■ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ■ 同上M.D継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般: 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
		(15) 仮設工事 構内既存の施設 ■建築工事に準じる 1) 便所 □利用できる □利用できない 2) 工用水 □利用できる(有償) □利用できる(無償) □利用できない 3) 工用電力 □利用できる(有償) □利用できる(無償) □利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。		空調設備工事 ■ 機器設備工事 ■ 配管設備工事 ■ 換気設備工事		■ 排水・通気用鉛管 SHASE-S203	
		(16) 足場 ■建築工事に準じる 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 足場(つり足場、張出し足場又は高さが1.0m以上の足場で、組立から解体までの期間が6.0日以上のものに限る)の組立て後、主監督員ら含いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とす。 1) 足場の組立て等作業主任者であつて、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第8.1条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第8.8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参加者」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者				■ 給湯管 ■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140 (一般: SGP-HVA 地中: WHTLP 内外面耐熱性硬質塩化ビライニング鋼管) □ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448	
		(17) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名:) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名: ・間伐材加工工用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板 ())				■ ガス管 ■ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 土間: 塩化ビニル被覆鋼管(黒) ■ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中: PE) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる	
		(18) 三重県産業廃棄物税 本工事はに産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数値の集計)を超えて請求することはできない。				□ 消火管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VS は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。	
		(19) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。				■ 屋外埋設排水 ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (1類水路用速心力鉄筋コンクリート管)	
		(20) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上り共、既設にならい復旧すること。				□ 冷水水管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140 (一般: SGP-HVA)	
		(21) 不正軽油の使用の禁止 1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。 また、受注者は下請負者等不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。				□ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 (一般: SGP-VA、VB) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O11 (一般: SGP-FVA、FVB)	
						■ ドレン管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)(屋外 カラー=VP) ■ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPIは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
						■ 冷媒管 □ 銅及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。 製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断断厚さは8mmとしてよい) とする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。	
						□ 油管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合	
						□ 蒸気管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452	
						□ プライン管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452	
						※ 弁類 揚水ポンプ(二次側)、消火ポンプ(二次側)、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5Kとする。 塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。	

訂正	月	日				設計・監理	作成	承認	担当	名称	設計No.	原図: A 2
	株式会社 東海建築設計	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	図面No.	図面No.
						街に緑を	一級建築士 第128604号 山岡 貴			機	整理No.	M-O 1
										械設備工事特記仕様書 1		

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m以下
鉛管	1.5m以下		
鋳鉄管	標準図による		

※ 横走り管形銅振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
銅管	—	50A～100 A	125A～
鋳鉄管			
ビニル管			
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
銅管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形銅振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- ☐ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
- ☐ ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- ☐ アングルフランジ工法
- ☐ 共板フランジ工法
- ☐ スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- ☐ 山形鋼 JIS G 3101 ☐ SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- ☒ スパイラルダクト
- ☐ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等)		保温筒	JIS A 9504 2号 40K
■ 給水管	■ 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/>
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット (防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504		保温板、保温帯	JIS A 9504 2号 40K
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号		保温筒	JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2～4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(屋外等)			
■ 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 合成樹脂調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種 (露出)			
<input type="checkbox"/> 給水管	■ 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
■ ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管
<input type="checkbox"/> ダクト (亜鉛鉄板製)	<input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製)		

□ さび止めベイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めベイント) 2種 (露出)			
□ 蒸気管 (往)	□ ダクト (鋼板製)		

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	～80A	100～150A	—	200A～	—
膨張・温水・消火管					
蒸気管	～25A	—	32～50A	65A～	—
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	—	—	—	—
冷水・冷温水管	—	—	～25A	32～200A	250A～	—
冷水管 (冷水温度2～4℃)	—	—	～20A	25A～100A	125A～	—
プライン管	—	—	—	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出【機械室、書庫、倉庫】、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出【一般居室、廊下】)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙導(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7A51g 5A202仕上
天井内・P S 内	7A51g 5A化紙保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7A51g 5A202
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。

※ 2) サヤ管工法：架構ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。

※ 3) 消火管の屋外露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S 内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別

☐ 保温化粧ケース仕上 ☒ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ				カラー亜鉛鉄板 (屋内)	
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
		機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S 内		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 [SUS鋼板]
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
		機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 [SUS鋼板]
サブライチャンパー			紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンパー、エルボ			紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	排煙ダクト円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
煙道			ブランケ	鉄線	カラー鉄板	

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。

※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55

の金網又はRWA S02による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。

※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	合成樹脂調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
2. E A
- ☐ 保温あり ☒ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
3. R A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
4. O A
- ☒ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

チャンパー内貼施工

☐ 内貼あり (mm) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む)

より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。

箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。

2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、

つば付き鋼管とする。

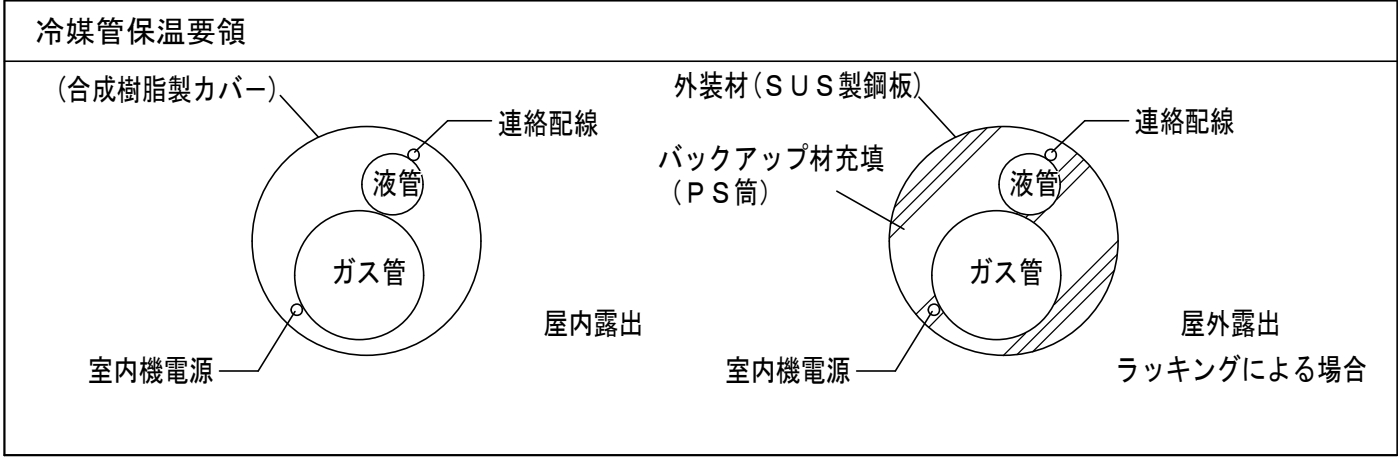
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、

配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S 内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
- ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。


凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	防露塗装仕様
—— R ——	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋外露出：ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
—— D ——	ドレン管	保温付VP ※屋外はｶｰVPとする	

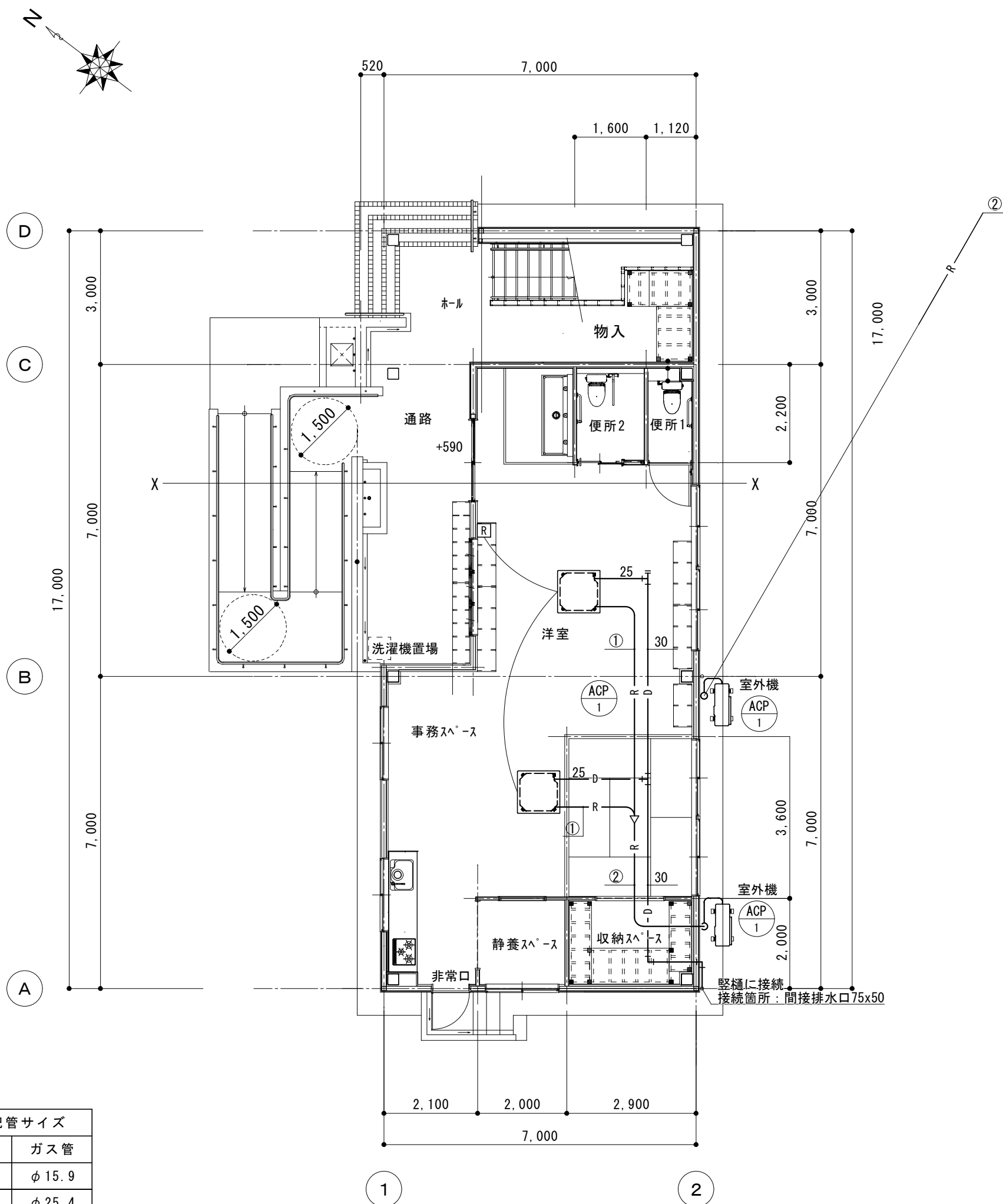


空調機器表				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力：25.0(6.3～28.0)Kw 暖房能力：28.0(7.0～35.0)Kw	2	標準ﾊﾟﾈﾙ, ﾏｲﾔｰﾄﾞﾘﾓﾝ
	天井カセット型（4方向）	3相200v 冷房定格消費電力：8.48kW 暖房定格消費電力：7.49kW 暖房低温最大消費電力：9.60kW		防護ﾜｯﾄ, 転倒防止金物
	ツイン同時運転			防振ｺﾞﾑ, 既成ｺﾝｸﾘｰﾄ架台
特記事項：運転特性、能力はJ I S条件による。 電源容量値、インバーター能力は参考とする。				
空調機トップランナー基準改定仕様とする。 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。				
室外機－室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。				
リモコン配線共本工事とする。 室外機・室内機は必要に応じて耐震振れ止め、転倒防止を施す事。				
機器は同等品以上とする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様による。				

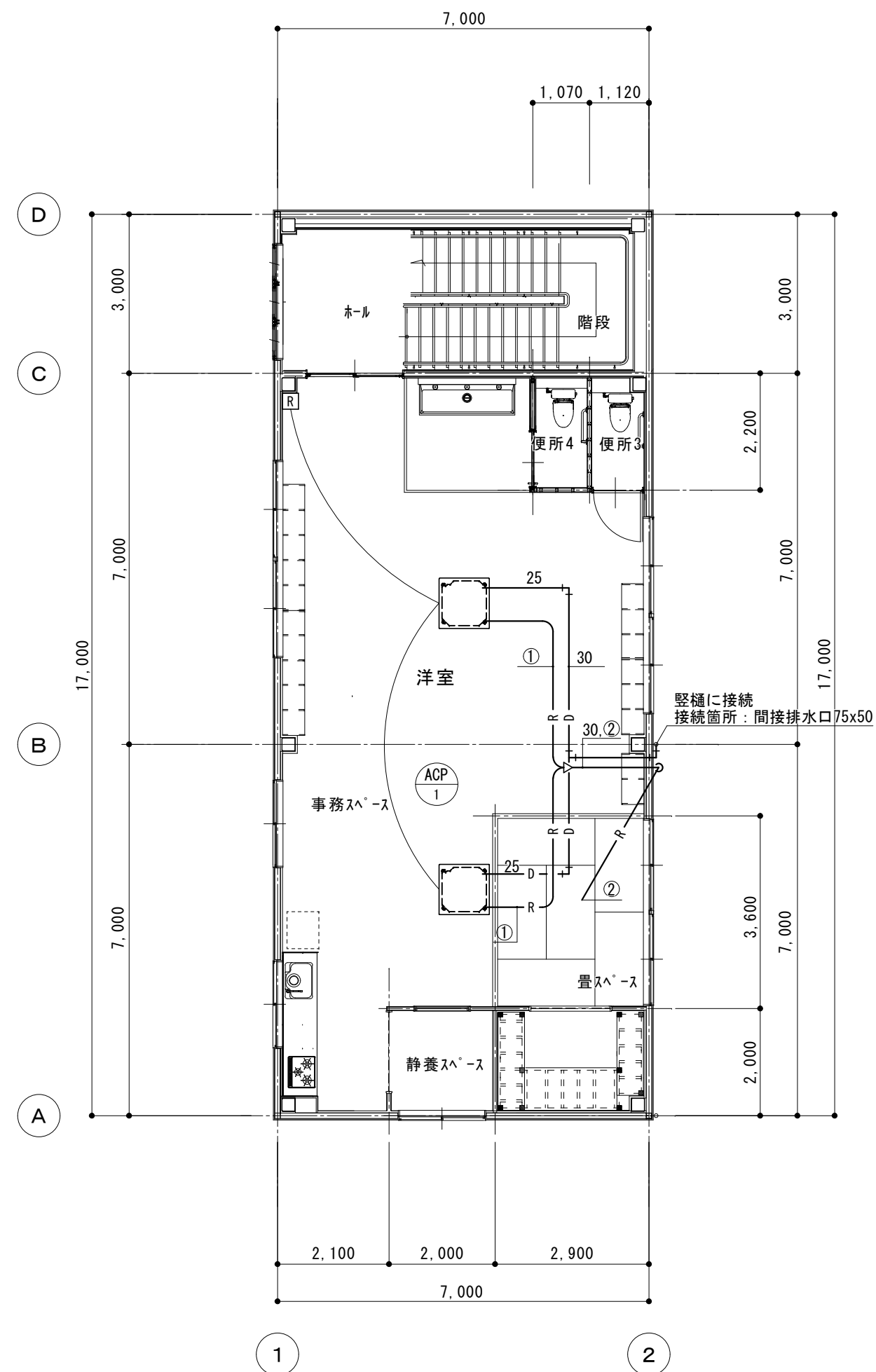
換 気 機 器 仕 様								
記 号	形 式	風 量 CMH	機 外 静 圧 Pa	電 源	消 費 電 力 kW	備 考	参 考 型 番	数 量
VF-1	天井扇 （低騒音）φ100	80	40	単相100V	0.0155	天吊金具, SUS製深型ﾌｰﾄﾞ ｶﾞﾗﾘ付	VD-13Z12	3
VF-2	天井扇 （低騒音）φ100	100	40	単相100V	0.0155	天吊金具, SUS製深型ﾌｰﾄﾞ ｶﾞﾗﾘ付	VD-15Z12	1
VF-3	天井扇 （低騒音）φ200 24H運転対応	500 100(24H)	120	単相100V	0.049	天吊金具, ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(電気工事に支給) 急速/強/弱運転対応, SUS製深型ﾌｰﾄﾞ ｶﾞﾗﾘ付	VD-25ZXV5-C	4
	レンジフード φ150					SUS製深型ﾌｰﾄﾞ ｶﾞﾗﾘ付		2
OA-1	給気グリル ﾌｨﾙﾀｰ付 φ200					ﾊﾞｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ φ200(SUS製, 防虫網)	P-23GSF3	4
SF-1	サイクル扇 φ400 天井付			単相100V	0.047		CY40-WG	12
	サイクル扇2台運転用 コントロールスイッチ					（電気工事に支給）		4
	サイクル扇1台運転用 コントロールスイッチ					（電気工事に支給）		4
特記事項 1、消費電力は参考値とする。 2、フードは指定色塗装とする。								

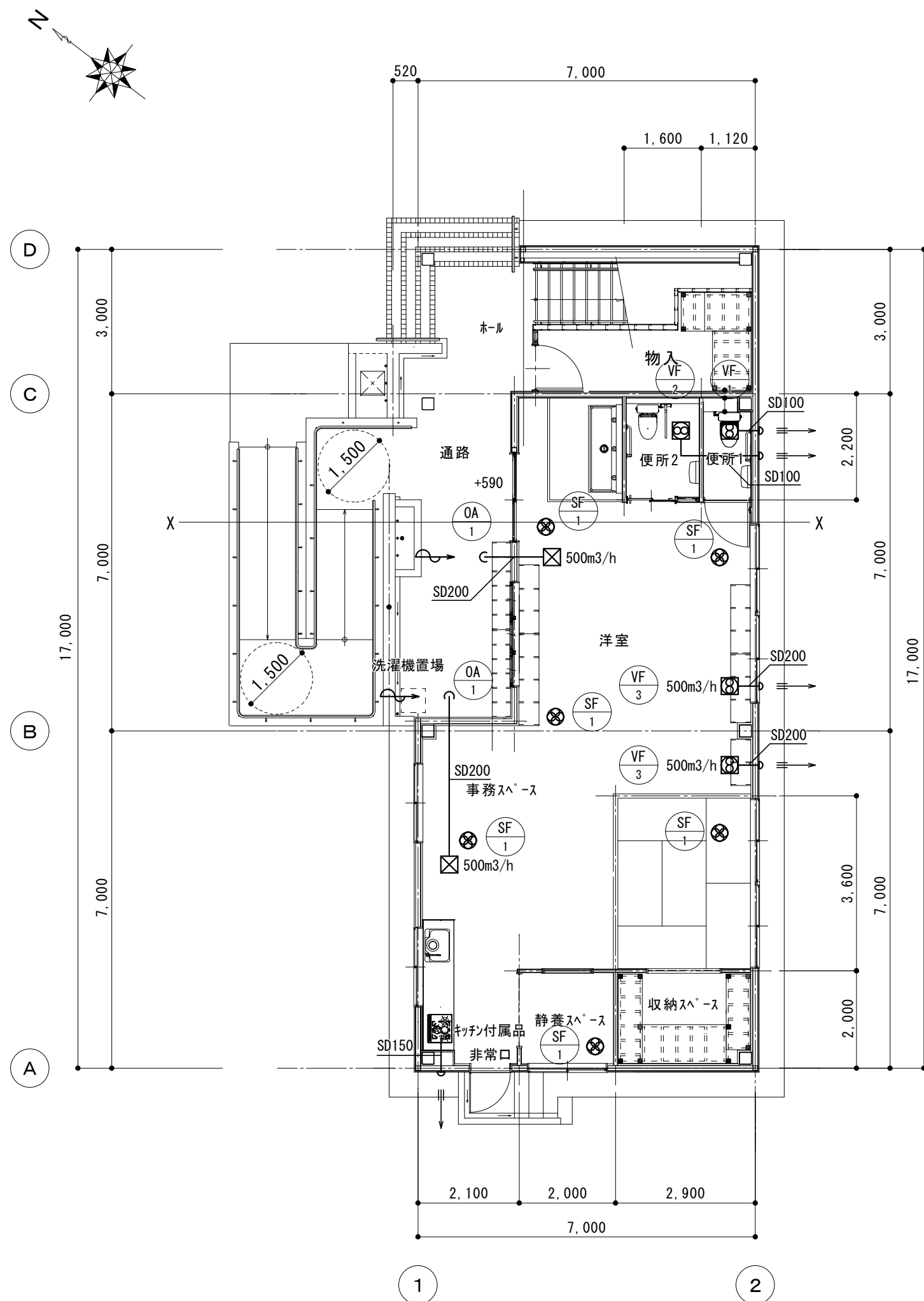
建築基準法に基づく24時間換気										
放課後児童クラブ										
階	部屋名	室面積 m2	天井高 (又は平均高さ) m	気積 m3	エリア計 m3	換気回数 回/h	必要換気量 m3/h	設計換気量 m3/h	機器記号 (機器表参照)	備考
1	洋室	72.48	2.64	191.35	191.35	0.3	58	100×2	VF-3 ×2台	
2	洋室	87.23	2.64	230.29	230.29	0.3	70	100×2	VF-3 ×2台	

訂 正	月 日		.		 <div>設計・監理 株式会社 東海建築設計</div>	作成	承認	担当	名称 南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図： A 2
	.		.			一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図 空調換気設備 凡例・機器仕様 縮尺 _____	整理No.	図面No. M - 0 3
	.		.			一級建築士 第128604号 山 岡 寛					

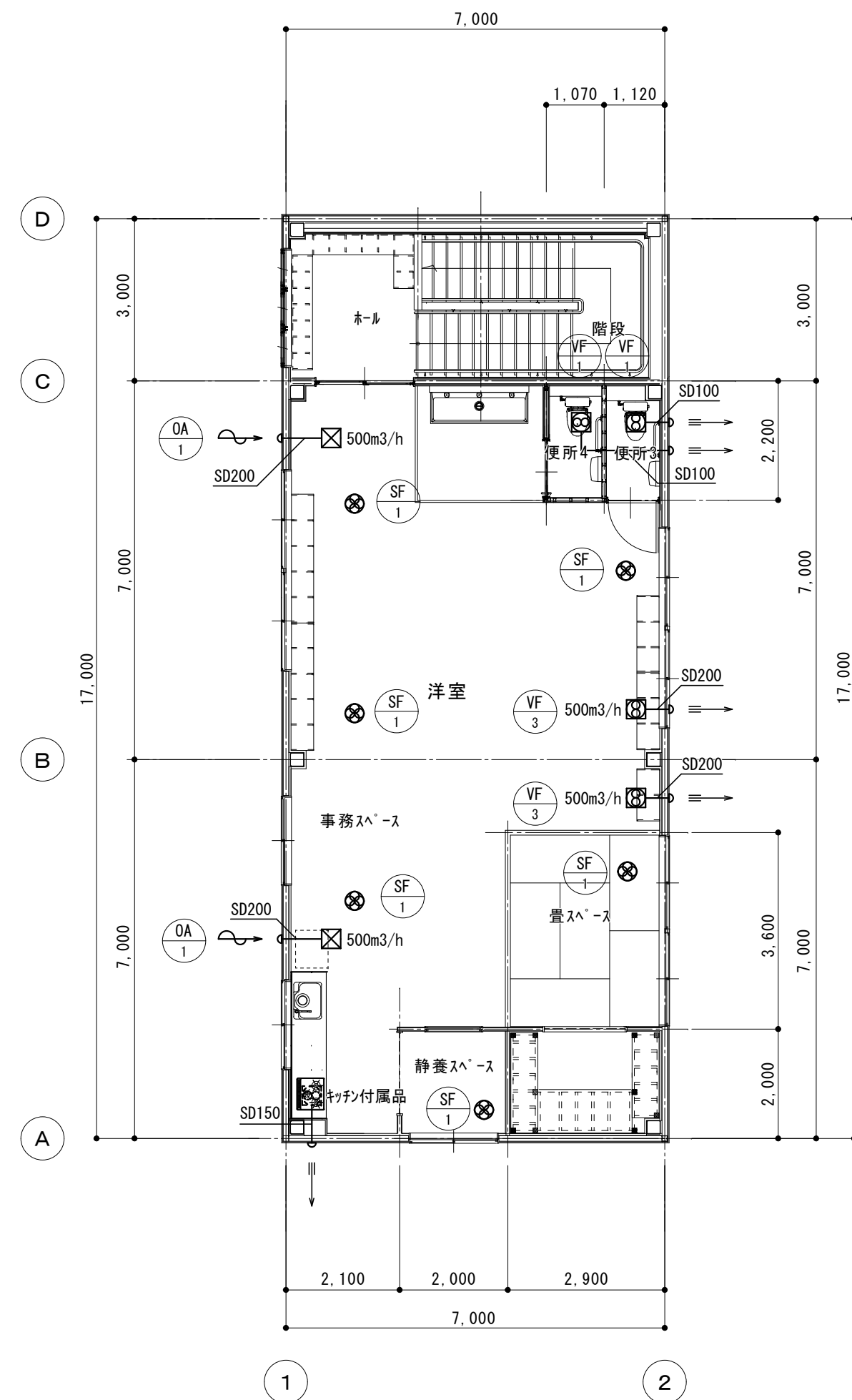


※連絡線Sは冷媒管共巻とする。
※壁内立下りはPF22にて保護すること。




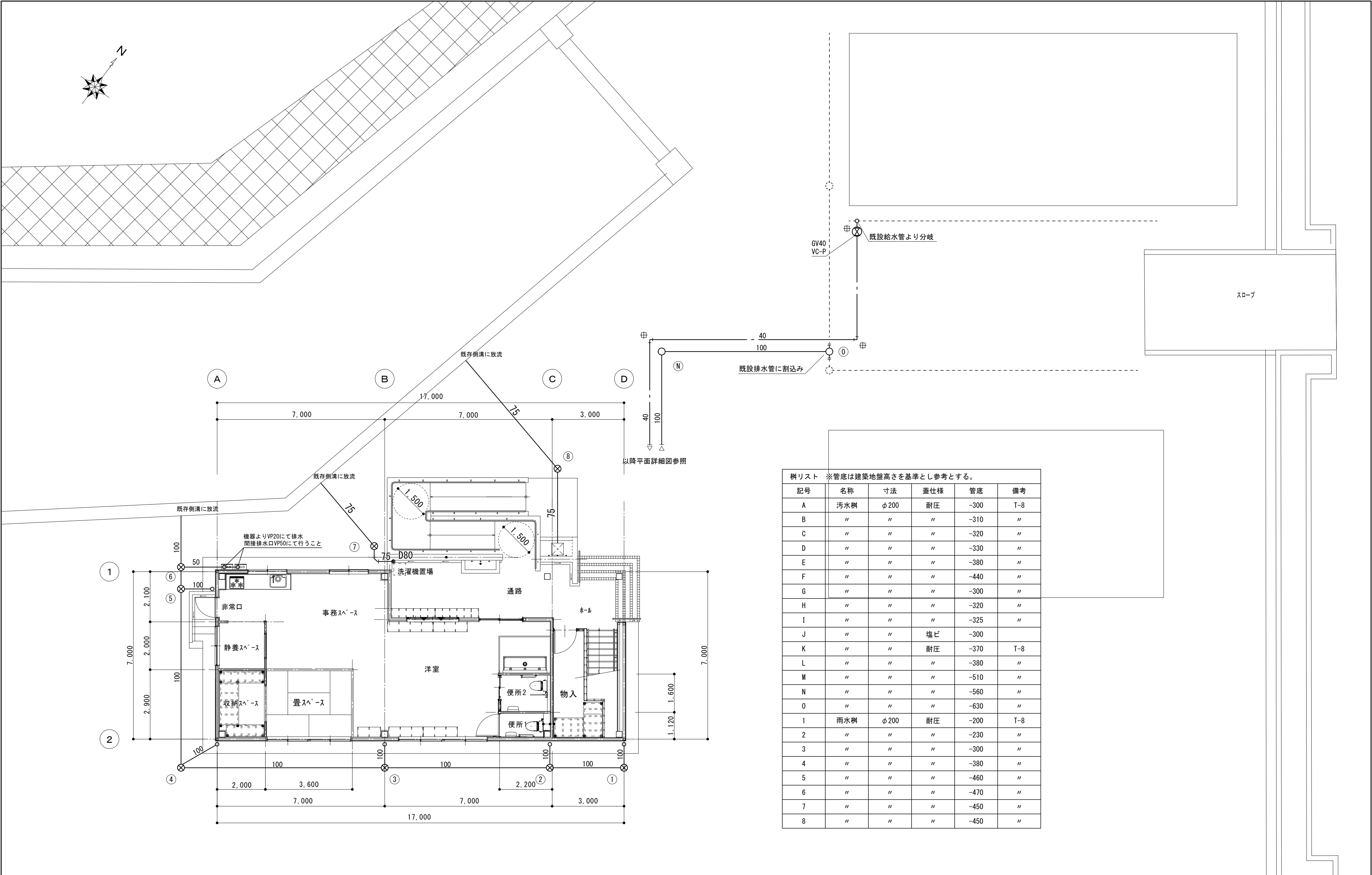


1 階 平 面 図 1:100

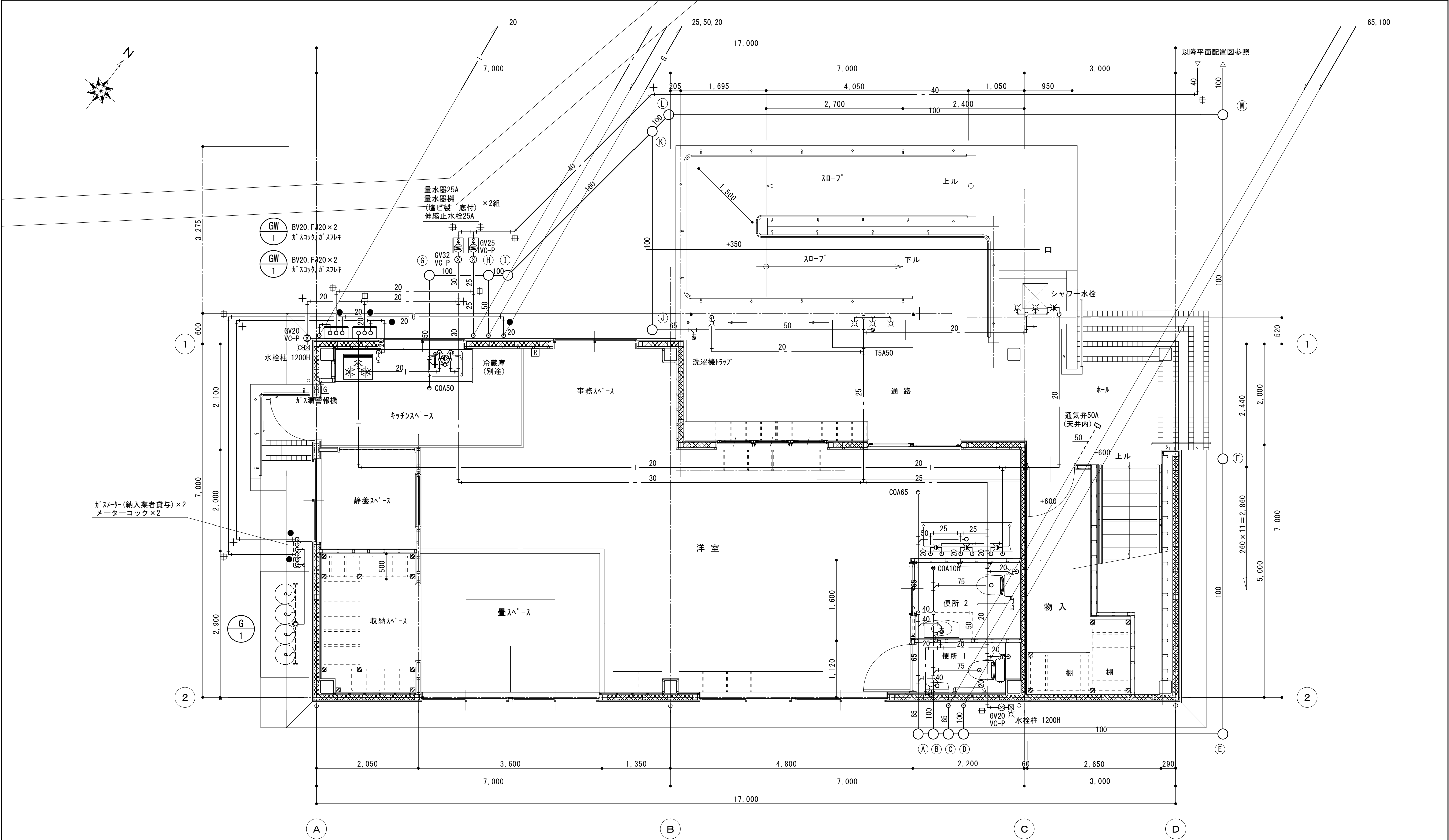


2 階 平 面 図 1:100

訂 正	月 日				 街に緑を 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原図 : A 2
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	換気設備 平面図	縮尺 1:100	図面No.
						一級建築士 第128604号 山岡 寛					整理No.	M-05



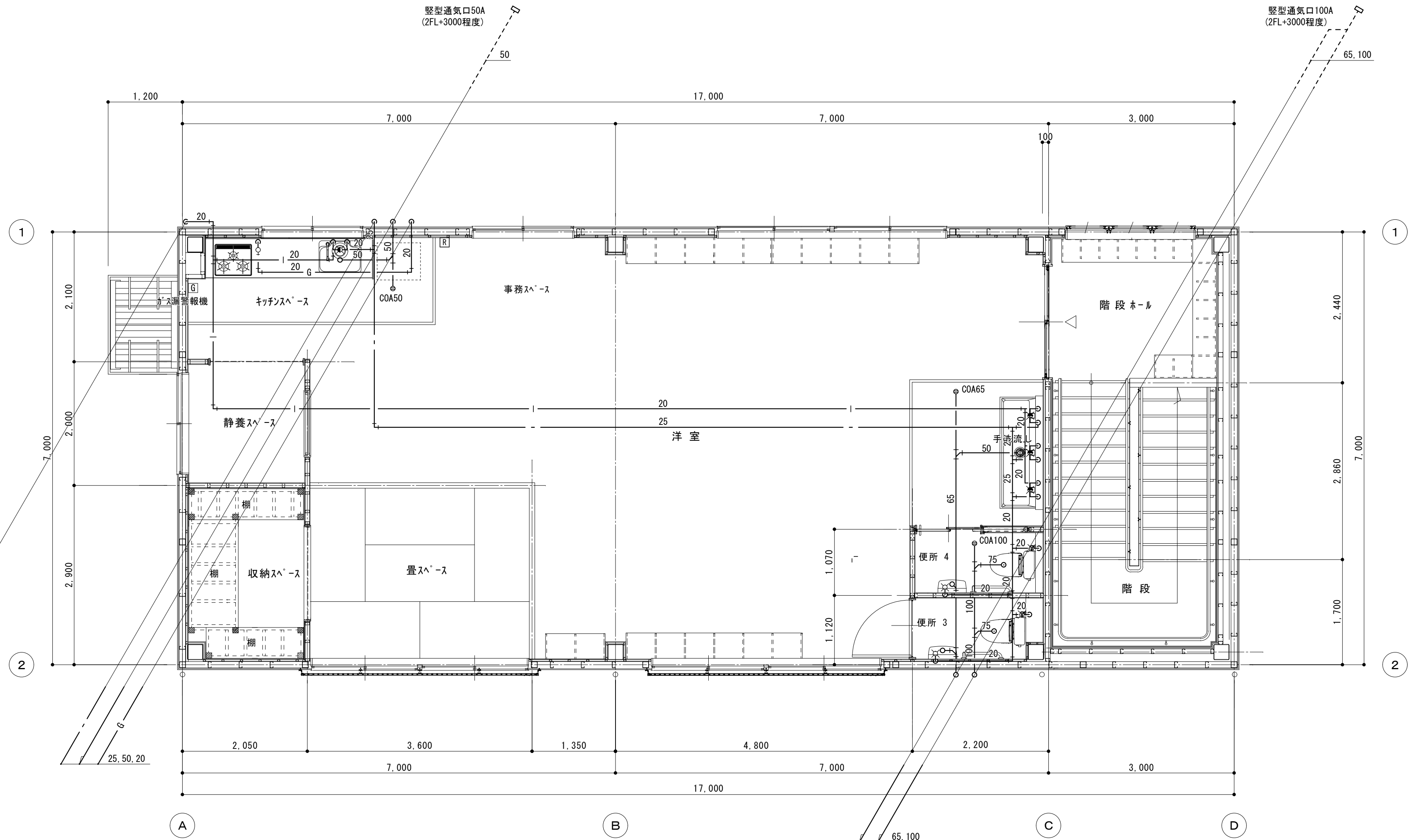
樹リスト ※管底は建築地盤高さを基準とし参考とする。					
記号	名称	寸法	蓋仕様	管底	備考
A	汚水樹	φ200	耐圧	-300	T-8
B	〃	〃	〃	-310	〃
C	〃	〃	〃	-320	〃
D	〃	〃	〃	-330	〃
E	〃	〃	〃	-380	〃
F	〃	〃	〃	-440	〃
G	〃	〃	〃	-300	〃
H	〃	〃	〃	-320	〃
I	〃	〃	〃	-325	〃
J	〃	〃	塩ビ	-300	〃
K	〃	〃	耐圧	-370	T-8
L	〃	〃	〃	-380	〃
M	〃	〃	〃	-510	〃
N	〃	〃	〃	-560	〃
O	〃	〃	〃	-630	〃
1	雨水樹	φ200	耐圧	-200	T-8
2	〃	〃	〃	-230	〃
3	〃	〃	〃	-300	〃
4	〃	〃	〃	-380	〃
5	〃	〃	〃	-460	〃
6	〃	〃	〃	-470	〃
7	〃	〃	〃	-450	〃
8	〃	〃	〃	-450	〃




※ 厨房設備（ガスコンロ）については津市火災予防条例に定める離隔距離を確保の事。
上方100cm. 前方、後方、側方15cm以上。

1 階 平 面 詳 細 図 1 : 50

訂 正	月 日				 街に緑を	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	設計No.	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事 給排水衛生設備 1 階 平 面 詳 細 図 縮尺 1:50	原図 : A 2
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号				整理No.		図面No.
							一級建築士 第128604号 山 岡 寛						M-08



2 階 平 面 詳 細 図 1 : 50

訂 正	月 日			 街に緑を	設計・監理 株式会社 東海建築設計	作成	承認	担当	名称	南が丘地区放課後児童クラブ新築工事	設計No.	原 図 : A 2	
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-381号			製図	給排水衛生設備	縮尺	図面No.
							一級建築士 第128604号 山 岡 寛				2 階 平 面 詳 細 図	1 : 50	整理No.